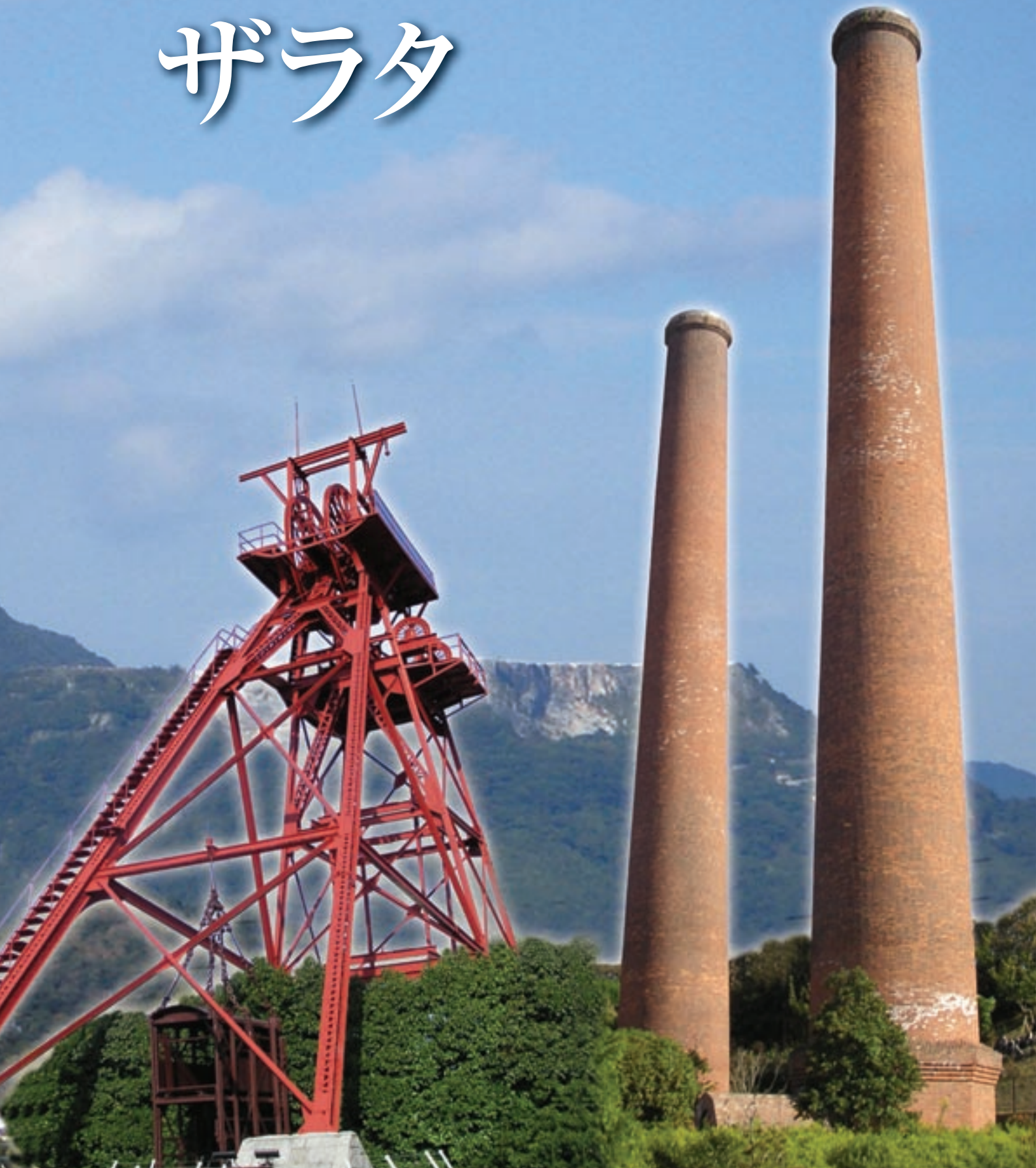


Lions Clubs International District 337-A JAPAN

THE LIONS TIMES

2008 Vol.167

ガラタ





奉仕で奇跡を

国際会長のメッセージ



アルバート F. ブランデル
2008～2009 年度国際会長



Profile

1975 年以來のウエスト・ヘムステッド・ライオンズクラブの会員、及びメルビル・ライオンズクラブの準会員であり、クラブ会長、地区ガバナーを含む数々の役職を国際協会に歴任。米国/カナダ・ライオンズリーダーシップ・フォーラムに発表者兼討論者として出席した他、ロングアイランド・ライオンズ・アイバンクでは運搬担当としても従事。ユニセフへのライオンズ代表を 10 年間務め、2001 年 9 月 11 日直後には、世界貿易センター跡における LCIF による援助活動のためにライオンズのコーディネイトに尽力した。

協会への貢献が認められ、これまでに 100% クラブ会長賞、100% 地区ガバナー賞、シュープリーム・エクステンション賞、15 回の国際会長賞、ならびに協会より会員に与えられる最高の賞、親善大使賞を含む数々のアワードを受賞。累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンとしての活動に加え、リトルリーグではボランティアとして活躍し、自らが通う教会では聖餐式の司祭も務めている。さらに、米国国連協会理事も歴任。

麻酔医でありライオンでもあるモーリーン・マーフィー夫人は地元の病院に勤務中。

ライオンズの皆さんへ～

9 月 11 日のことは絶対に忘れません。そして 9 月 12 日、それからの何日ものことについても決して忘れることはないでしょう。2001 年 9 月 11 日に何が起きたかを知らない人はいません。ですが、同様に強烈な印象を残したのはその後に起こったことです。何ヶ月にもわたって毎日ライオンズは、グランドゼロ（世界貿易センター跡地）の復旧作業用物資が保管されたニューヨークの中央倉庫で援助をしました。一日として休むことなくライオンズは、このひどい大惨事から可能な限り最良の結果を引き出すことができるよう活動を続けたのです。

9 月 11 日のテロ事件発生直後にニューヨーク、ワシントン市、その他の地域において始まった活動は、犠牲者の遺族を助けるための長期の活動計画へと発展しました。遺族が家計の遣り繰りに困ることのないよう、大勢のライオンズが援助しました。そして家の修復を行ったり、遺族を医者に連れていったりするほか、遺族を癒すための活動を手配したり、就職相談や子供達のメンタリングを支援しました。

これらは親切心からのありきたりの行いでした。こういった活動はライオンズが普段から行っていることです。とは言え、ライオンズのこうした奉仕の積み重ねが奇跡を起こしたのです。重荷を背負っていた遺族にとってその荷は軽くなり、足取りも軽やかになったのです。ライオンズが人々の生活を良い方向へと変えたのです。

これらのライオンズはどういった人たちだったのかというと、彼らは極端に困った事態に応じた、ライオンズクラブに属する普通の会員でした。時々私は旅先で、ライオンズとは一体どのような人たちなのか、尋ねられることがあります。そのような時私は、あまり自慢げにならないように、ライオンズは日々奉仕を行うエブリデー・ヒーローだと答えています。私たちライオンズは普通に奉仕を行うことにより、特に称賛されることも世間の注目を浴びることもなく、困っている人々の暮らしを豊かなものに行っているのです。（以下略）



ライオンズクラブ国際協会
337-A地区 地区ガバナー

原 吉徳

ガバナー提言

愛

「人類愛・郷土愛・家族愛」

メルビンジョーンズがライオンズの灯をともして90余年、世界のそして日本のライオンズクラブも大きく成長してまいりました。然し、この数年の会員数は衰微の一途をたどり、337-A地区においても先輩各位のご努力も空しく5,000名の大台を割り込んでおります。

今こそ調和のとれたクラブ運営、地域社会に共感を得る質の高い奉仕、これ等を実践し、クラブを活性化することによって会員の増強を達成しなければならないと思います。

ガバナー提言に「愛」を掲げました。ライオンズクラブのモットー「We Serve」は心のこもった愛の積み重ねであると信じます。人道的な人類愛、地域社会に密着した郷土愛、そして奉仕ができる喜びを与えて頂ける社員、家族に感謝する家族愛、このことを共有する会員の力と地域社会の皆様方との力の結集こそ、「われわれは奉仕する」、そのモットーの本質ではないでしょうか。そこで運営方針の中で次の様に提案します。



地区ガバナー 原 吉徳のプロフィール

- 生年月日 1933年7月3日
- 住 所 田川市川端町西2組 電話 0947-44-1796
- 職 業 有限会社田川チャンスセンター 代表取締役
- 所 在 地 田川市伊田町 5-13 電話 0947-42-1580

ライオン歴

1975.3	田川 LC 入会
1978～1979	田川 LC テールツイスター
1980～1981	// 幹事
1981～1982	// 会計
1982～1983	// 2年理事・財務委員長
1983～1984	// 1年理事
1985～1986	// 2年理事・PR委員長
1986～1987	// 第3副会長
1987～1988	// 2年理事
1988～1989	// 第2副会長 337-A地区3RYE 委員
1989～1990	田川 LC 第1副会長
1990～1991	// 会長
1991～1992	// 前会長
1995～1996	337-A地区 PR 委員長
2000～2001	337 複合地区青少年指導委員 355-G地区結縁 20年記念式典実行委員
2001～2002	337-A地区ライオンズ情報委員長
2002～2003	337-A地区キャビネット幹事
2003～2004	田川 LC 顧問
2004～2005	// 顧問
2005～2006	337 複合地区会計監査副委員長 田川 LC 顧問・国際親善特別委員 // 財務委員長
2006～2007	田川 LC 顧問 // 指導力育成委員長
2007～2008	337-A地区副地区ガバナー

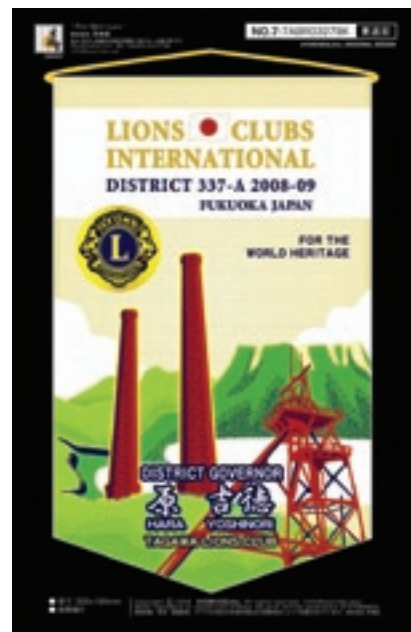
アワード受賞

1986	メルビン・ジョーンズ・フェロー会員 LCIF 1,000 ドル献金 (37 回目)
1981	100%クラブ幹事賞
1991	100%クラブ会長賞
1993	大会記念式典出席賞 150 回
1995	20年モナーク シェブロン賞
1996	ガバナー感謝状
2002	国際会長感謝状 J.Frank Moore III
2003	国際会長リーダーシップ賞 Kay K.Fukushima
2004	複合地区年次大会特別功労賞



シンボルマーク

田川のシンボルとして広く地域に親しまれている二本煙突と堅坑櫓は 2007 年国の有形文化財に登録され全国的にも貴重な産業遺産として世界遺産登録を目指している。二本煙突は 1908 年に建設され 100 周年を迎える。「月が出た出た……、あんまり煙突が高いので、さぞやお月さんけむたかろ」と炭坑節で唄われ全国的に親しまれている。又、香春岳も炭坑節に登場する田川を象徴する山である。この香春岳を背景とした二本煙突と堅坑櫓は炭坑節発祥の地、『田川』を象徴するに相応しく、このシンボルマークにのせて全国および世界に発信したい。



バナー

キャビネットの紹介



キャビネット会計
竹志田 勝
(田川 LC)

- ★会計業務の統括
- ★キャビネット月次計算書の作成、ガバナー経費の請求
- ★キャビネット予算並びに決算書の作成
- ★各クラブ財政状況の把握
- ★各クラブの出納監査と指導

地区ガバナー
原 吉徳
(田川 LC)

キャビネット幹事
小金丸滋勝
(飯塚 LC)

- ★地区運営全般
- ★国際本部との連絡業務
- ★事務局管理業務
- ★日本ライオンズ連絡事務所との連絡
- ★ライオン誌日本語版事務所との連絡

キャビネット副幹事
佐竹 信介
(田川 LC)

- ★ LCIF に関する業務
- ★ザラタ編集会議に関する業務

キャビネット副幹事
大庭英次郎
(田川 LC)

- ★キャビネット運営全般・レオ・青少年育成業務支援
- ★地区委員長会議並びに全ての委員会に関わる関係業務
- ★地区年次大会開催運営業務

キャビネット副幹事
宇都宮 誠
(田川 LC)

- ★キャビネット会議議事録作成
- ★視聴力保護福祉・環境保全・献血・献腎に関わる業務

キャビネット副幹事・副会計
松尾 静二
(下田川 LC)

- ★会計業務の支援
- ★レオ・ライオネスクラブ研修会関係業務
- ★355-G地区に関する業務

キャビネット副幹事
多賀谷 通
(飯塚 LC)

- ★会則・会員・エクステンション委員会業務
- ★YCE 活動に関する業務

キャビネット事務局職員
麻生 明子
才木 瞳

2008～2009年度
地区運営方針・重点項目

1. クラブの健全運営と愛ある奉仕

心のこもった愛ある奉仕の実践には、地域社会と一体となった本当の意味での「We Serve」を目指す事である。その為にもクラブの健全運営が必要であり、地域社会と共に活性化されたクラブには退会を考える会員は存在しないはず。また、活性化された元気なクラブには崇高な精神の持主を招請することにより、会員の増強に必ず繋がるものと考えます。

クラブの活性化により、期末1名以上の会員純増を確保。

2. 青少年の健全育成

レオクラブの育成と同時に地域の青少年団体との交流を深め、青少年健全育成に繋がるクラブ事業を計画する。

3. 献血・献眼運動の推進

人道的で崇高な奉仕として献血・献眼運動を強く推進する。

4. 緊急災害に対応する組織づくり

緊急災害時にライオンズクラブが実践できる援助活動を模索し、地区内各クラブの組織を活用して体制を整備する。

5. 地球温暖化対策の推進

「We Serve」の精神を生かし、クラブ会員と地域住民のひとりひとりが意識を高める努力をすると共に、その対策についてあらゆる機会を通じて推進する。

2008～2009年度
地区委員会とその重点施策

(1) 地区会則・会員・エクステンション委員会

- ① MERL の推進
- ② ゾーンレベル会員委員会の年間3回開催し、各クラブ期末1名以上の増員を確保する。
- ③ 新会員研修会の開催は研修内容を精査する事により、新会員を資質豊かに育てる。

(2) 地区PR・IT・ザラタ編集委員会

- ① ザラタの編集、発行（年2回発行）
- ② 地域への積極的な広報活動
- ③ クラブ事務合理化のためライオン誌日本語版事務所のサバンナの導入
- ④ サバンナ導入によるITネットワークシステムの推進

(3) 地区国際協調・LCIF委員会

- ① LCIF（寄贈と運用）
- ② 海外クラブとの姉妹提携の支援
- ③ 355-G 地区（韓国）との交流・友好

(4) 地区YCE委員会

- ① YCE 事業のマニュアルの実行推進
- ② 受入及び派遣はクラブの申し出を基本として、調整及び推進を図る。レオクラブとの連絡強化を図る。
- ③ 複合地区及び地区内受入の公平化推進

(5) 地区ライオンズ情報・大会参加・指導力育成・アラート委員会

- ① 各クラブへのライオンズ情報の提供（IT ネットワークを利用）
- ② 次代のライオン・リーダーの指導育成
- ③ 世界大会、東洋東南アジアフォーラムへの参加奨励
- ④ ライオンズクラブ原点の再認識促進
- ⑤ 福岡県災害ボランティア連絡会との連携

(6) 地区視聴力保護福祉・環境保全・献血・献腎委員会

- ① 献血運動の推進
- ② 献眼、献腎運動の推進
- ③ 自然保護、環境保全活動の支援
- ④ アイバンク講習会の開催

(7) 地区レオ・ライオネス・青少年育成・クエスト委員会

- ① レオ夏季研修会の開催（韓国 355-G 地区レオクラブが参加して実施）「レオ夏季研修終了後 355-G 地区へホームステイ」に派遣
- ② レオ事業の推進～道徳心の健全育成～
- ③ 覚醒剤、シンナー乱用防止運動の推進（覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会への参加）
- ④ ライオンズクエストプログラムの研究・推進
- ⑤ ライオネス活動の支援

(8) 地区年次大会委員会

- ① 地区大会費をもって開催する。
- ② 代議員分科会の充実



タイ・バンコク国際大会旅行記

『微笑みの国・タイランド』と呼ばれるタイ王国は、豊かな運河の流れにも恵まれた農産物も豊富な緑と様々なフルーツの国でした。

首都のバンコクは、全人口の約10%が集まり、市内中心地には高層ビル群が林立し、ここ10年で目覚ましく変貌し、今や東南アジアを代表する随一の国際都市としての姿を呈するほどです。

また、国内には約3万のお寺があり、その中でも、バンコクには華麗で有名なお寺・王宮が集まり、ワットプラケオ（エメラルド寺院）・ワットアルン（暁の寺）ワットサケット（黄金の丘）などなど一日では到底廻りきれません。

気候風土・町並み・タイ料理・親切な人々・ワニや像・etc まさにどれを取ってもエキゾチックでなんとも言えないほど、タイは期待していた以上に魅力的な国でした。



第36回地区レオ夏季研修・335-G地区馬山ホームステイを終えて

8月3～5日、福岡県立英彦山青年の家に於いて、地区内60名のレオメンバー、韓国馬山レオクラブの20名のレオメンバー、ライオン約80名の参加を戴き、大きな怪我や病気も無く、無事夏季研修が終了出来ました事に感謝申し上げます。飛行機便の関係で、韓国のレオ・ライオンメンバーが開会式・閉会式に出席できなかったことと、2日目の朝の雨で、メイン行事の英彦山登山が予定の半分のコースで催されたことは、少し残念でしたが、当初の目的でありましたレオメンバーの精神的身体的修養と日韓交流・親善は充分に達成され、意義ある3日間であったと思います。



また、8月17～19日の馬山でのホームステイも、参加者が5名と少し淋しかったものの、現地で大歓迎を受け、それぞれの家庭でも大変親切にして戴き楽しかったという事で、それなりの成果を得たものと信じます。今後は当地区も馬山よりのホームステイを受け入れ、交流・親睦をより大きなものにならねばと考えます。

最後に、お忙しい中、研修に御参加くださったガバナー以下ライオンズメンバー・大会の企画運営を主導してくださった田川レオクラブ・田川ライオンズクラブの皆さん、御登録に気持ちよく応じて戴いた各クラブの皆様深く御礼申し上げます。

1R・1Z 北九州ライオンズクラブ

会長 L 中野 新嗣▶



幹事 L 濱田 輝夫

会計 L 安部 秀喜

会長提言 「たのしく なかよく あかるく」

会長方針

本年度より合併し、新生北九州 LC としてスタートしました。この 1 年間で本当の 1 つのクラブになる基礎作りをしていきます。例会、アクト、趣味の会、他クラブとの交流などすべてにおいて「たのしく なかよく あかるく」をモットーにとりくんでいきます。

北九州 LC と北九州小倉南 LC が合併し 7 月より新生北九州 LC がスタートしました。それぞれ 50 年と 31 年という長い歴史を刻み続けた 2 つのクラブですので、小さな意味での文化の違いがあると思いますが、それを乗り越えて新しい歴史を作り上げていこうと思います。ライオンズクラブの多くは会員の減少に悩んでいます。私たちの合併の出発

点もそれでありました。折角一緒になったのですから、これから 1 年間 1 + 1 が 2 以上になるような活動を続けていきたいと思えます。

北九州 LC は青少年の健全育成を柱に障害者施設や地元の少年の家などに対してのアクトを続けてきました。そして 3 年ほど前から若松児童ホームの支援を行っています。昨年は 50 周年記念にかぐめよし少年自然の家に贈呈したパン焼き機を使い、児童ホームの子供たちとパンを焼いて楽しい昼食のひと時をすごし



ました。今年は 9 月にソーセージ作りとバーベキューをやります。ソーセージ作りは 1 昨年に続き 2 度目で今年は子どもたちからのリクエストで決まりました。合併した北九州小倉南 LC は長年聾学校を支援していますので、今年のクリスマス例会は児童ホームの子どもたちに聾学校の子どもたちも加わり、楽しいクリスマスになりそうです。子供たちの笑顔を励みに、私たちも「たのしく なかよく あかるく」クラブを運営してまいります。



1R・1Z 北九州中央ライオンズクラブ

会長 L 笛田庸之助▶



会長提言 「大海の一滴」

今期重点目標

- 一、 会員増強！
- 一、 共同で次代を育てる！

幹事 L 服部 武典▶



今期は会員の増強に特に力を入れる！！

会計 L 野口 光法▶



1R・1Z 北九州紫水ライオンズクラブ

会長 L 由衛 幸男▶

幹事 L 久留主 猛

会計 L 合原 真司



会長提言 「まことの奉仕」

奉仕は友愛と相互理解の上に立つ純粋なものであります。

私たちは「生」を受け周囲の人たちにはぐくまれ、多くの恩恵を受けて成長し現在があります。自分の能力、才覚そして努力のみでは今の自分は存在しない。私達ライオンズは生命の尽きるまで、受けた恩恵を倍返し人生を終わりたいものである。この恩返しこそ「We Serve」の原点であり無限の奉仕に繋がるものであります。

クラブ内同志の仲間と共に手を携え「気持ちよく・楽しく」出来る奉仕活動こそ我々ライオンマンが違わなければなりません。そして「感動」。感動は人に与える最高の活力…感動のないところには喜びも、意欲も沸きません。

奉仕活動の原点は感動を共有す

ることで意義が大きくなります。社会奉仕はライオンズの生命線・アクティビティはクラブに求心力と活力を与える〈源〉活力のあるクラブには人が集まる。アクティビティは季

節感のあるもの「春には躍動が、秋にはライオンズの収穫と活力が」。我がクラブは結成 30 周年を目前に控え、現在の活力を倍化し行動の準備をしよう。

○クラブアクティビティ (2008 年度)

・釜山釜慶ライオンズクラブ
子弟 4 名
ホームステイ受入れ
期間 8 月 1 日～8 日

・献血 ACT
場所 ベルクラシック小倉
日時 8 月 21 日
9 時 30 分～16 時

・きく工芸舎 餅つき大会
毎年恒例の ACT



1R・1Z 北九州小笠原ライオンズクラブ

会長 L 後藤 創一▶

幹事 L 山口 猛

会計 L 福田 豊年



会長提言 「仁 (友愛と奉仕)」



1R・2Z 北九州小倉ライオンズクラブ

会長 L 松井 四郎▶

幹事 L 受川 清則

会計 L 大庭 省二



会長提言 「みんなの力で成功させよう 45周年」

会長方針

がんばれ日本・^{はばた}翔け小倉

1963年、北九州市の誕生とともに産声を上げた当クラブは今期結成45周年を迎えます。オリンピックイヤーでもある今年、“会員相互の飛躍の場”にしたいと「がんばれ日本、^{はばた}翔け小倉」をスローガンに、全員一丸となって、45周年記念アクティビティや式典の準備に取り組んでおります。

近年、多くの新会員に恵まれ、当クラブの特徴でもある「三年会」(*1)を中心に活発な活動を進めておりますが、45周年の記念事業でもその役目を立派に果たしており、近隣他クラブの例会へ式典の招待状を持参し積極的な交流を図ったり、事

業資金獲得のためのチャリティバザーを主催する等、当クラブの重要な“牽引力”となっております。

また昨年来、クラブの活動を積極的にPRするべくホームページの充実を図ってきました。決して多くはありませんが、月間約2000ユーザーの来訪をいただき、例会や委員会の報告だけでなく、クラブのスケジュール等を会員間で共有すること



地元障害児劇団「チャンチャン劇団」の芋畑も毎年大収穫。

が出来、会員の情報ツールとしても意味を持つようになってきました。

*1 = 入会3年未満の新会員に多くの経験を積んでいただくために、積極的にアクティビティを推進し、ライオンズ精神をいち早く習得していただいております。2008年8月末日現在で全会員数98名中30名を超え、クラブ活動の中核をなす存在となって参りました。



台湾の港都獅子会（姉妹クラブ）や沐蘭獅子会（友好クラブ）とも交流を深めています。

1R・2Z 北九州勝山足立ライオンズクラブ

会長 L 千代丸茂貴▶

幹事 L 小川 明博

会計 L 地頭菌智恵



会長提言 「継続」

会長方針

委員会活動を充実し地域に密着した真のアクティビティ。会員増強による活性化。

今期、会長提言として「継続」というテーマを掲げました。

わが北九州勝山足立ライオンズクラブは、現在のクラブ名になり5年が過ぎました。そして、私も入会し10年が過ぎ、ちょうど半分を旧・新のクラブで活動を行ってきました。旧クラブからでは、41年・37年を経過する歴史があり、その歴史を伝えていくのは

当然のことであり、北九州勝山足立ライオンズクラブとして今まで以上に発展し、続けていく事がクラブやメンバーの力になり、大切なことだと思っております。

そして、「心は行動となり、行動は習慣を生み、習慣は人格を作り、人格は人生を決する」という言葉があるように、意識しなくても行動できるように、習慣を根付かせることができれば、後に続く人格形成や人生改革にもつながり、協調・愛が生まれてくるようなクラブ運営やアクティビティの継続を目指したいと思っておりますのでご支

援、ご協力をお願いいたします。

今期のアクティビティとしては、特別養護老人ホームの理髪協力(月1回)、北九州子ども会駅伝大会主催(年1回)、双葉学園児童との農耕体験・遊農塾(年2回)、双葉学園幼児との一日里親(年1回)、留学生との交流餅つき大会(年1回)等の継続アクティビティに加え、今期身体障害者との交流ゴルフコンペとして北九州勝山足立LC杯、障害者との交流コンペ(年2回)を行う予定です。



双葉学園児童「遊農塾」



第1回北九州勝山足立LC杯 障害者ゴルフコンペ



北九州市子ども会駅伝大会 主催

1R・2Z 北九州小文字ライオンズクラブ

会長 L 小池 知博▶

幹事 L 中村 孝也

会計 L 手島 正之



会長提言 「広げようライオニズムと友愛の輪」

今期結成 35 周年を迎える、歴史ある北九州小文字ライオンズクラブの、会長という大役を拝命致しました。その責任の重さを、日を追う毎にひしひしと感じつつ、現在クラブ運営・事業並びに各種周年イベントに向け、会員各位のご理解と、絶大なるご協力を戴きながら、鋭意努力しているところであります。

さて、今期の会長方針として、次の3項目を掲げました。

1. 結成 35 周年イベントの成功
2. 会員純増 5 名
3. クラブグッドスタンディング入賞

何れの目標も、クラブ全員の協力が最大限に必要な事は、言うまでも御座いませんが周年に向けクラブが一致協力し、その団結力を強めるエネルギーの一助と成ります様、

希望すると共に周年が地域の方々との絆を深め、ライオニズムと友愛の輪を、広げる良き場と成ります様、一生懸命努力して参る所存で御座います。ライオン各位に於かれまして

は、今後共ご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、当クラブ結成 35 周年記念例会へのご臨席を、心よりお待ちしております。



友愛クラブ 30 周年記念例会 2008 年 4 月 25 日

1R・2Z 北九州シニアライオンズクラブ

会長 L 三上 忠人▶

幹事 L 山本 久雄

会計 L 尾郷 栄



会長提言 「11年の節目・初心に戻って」

会長方針

11 年目の節目・初心に戻って《奉仕》《会員増》を!!

「門司港名物バナナの叩き売り」共演で支援活動

当クラブの支援行事には、①各地域の市民センターでの昼食会後の訪問・慰問の実施 ②日赤・献血行事への積極参加、特に自衛隊小倉駐屯地内での献血活動は当クラブが定期的に全て専属支援 ③市内の忠霊塔公園・堺町公園など清掃活動を自衛隊 OB 会と協力して行う。の三大支援行事です。

①各所の市民センターでの昼食会、これは独居高齢者に食事の提供、家庭の主婦に対し標準カロリーによる食事作成指導などを、市・生活支援課が定期的に出張開催されて居られるものです、その食事後に当クラブ会員が「門司港名物バナナ叩き売り保存会」の清水武治会長夫妻を伴って訪問し賑わい

ます、そして会員による舞踊・童謡合唱も共演、各所の市民センターで好評を得て居るものです。クラブ創設以来 40 回近い市民センターでの訪問実績を残しております。

バナナ叩き売りの、清水保存会・会長夫妻とは、当会員の一人が旧知の仲だったものでクラブ結成時よりの昵懇の仲、会長はご夫妻での共演故に人気が高く日本全国を忙しく興業口演されます。当クラブを第一位にして戴き事ある毎に駆け付けて貰うものです、口上の文句に「昔懐かしい門司港名物バ

ナナの叩き売りの歴史・唄い文句は」センターにお集まりの高齢者各位には特に懐かしさを、そして郷愁を誘われ、ご夫妻の漫才的掛け合いの饒舌に会場一同大喝采と言うものです。

当クラブは今年、創設 10 周年の記念行事として 41 箇所の市民センターに対し「調理器具フードプロセッサー」を贈呈し、市民センターとの繋がりを益々深くし、北九州シニアライオンズクラブとしての存在と支援行事を継続するものです。(会長 三上 忠人 記)



1R・2Z 北九州小倉東ライオンズクラブ

会長 L 福村 延利▶

幹事 L 福原 寛司

会計 L 大串 一夫



会長提言 「未来に向けて」

会長方針

会員増強 出席率の向上 委員会の活性化

私達のクラブは、結成して今年で4年目を迎えました。そして来期は5周年という節目の年を迎えます。今期はこの喜ばしい大きな事業の為に地均しを行います。

会長の提言として「未来に向けて創造・感謝・奉仕」を掲げましたが、自分達の力で、未来に残すべき新しい事

業を構築し、地域の人々から感謝され、共感を得られる様なアクティビティを生みだしていきたいと思ひます。その為には、会員の皆様の協力が不可欠です。常に感謝の気持ちを持って、皆様方と共にクラブを運営していきます。

また、クラブの繁栄は、委員会の活動によって支えられていると考えています。各理事及び委員長は、魅力ある委員会の開催をお願いいたします。委員会の開催により、会員が顔を合わせる機会が増える事で、親睦を図る事が

でき、クラブがより一層楽しいものとなります。出席率の向上につながり、それによって会員の連帯感増強、および新会員の獲得にもつながります。

特に新しい若い力を入れ、クラブの活性化も図りたいと考えておりますのでよろしくをお願いいたします。また、クラブ全員で「ウィ・サーブ」の精神を持って、自分達に可能な無理のない奉仕活動を行いたいと思ひます。



1R・3Z 北九州門司ライオンズクラブ

会長 L 遠藤 隆二▶

幹事 L 安藤 俊明

会計 L 尻 孝司



会長提言 「感謝と奉仕」

会長方針

ライオンズクラブで奉仕できるのは、①自分自身が健康である。②家庭が円満である。③仕事がうまくいっている。以上のことに感謝を忘れずに!!

北九州門司ライオンズクラブは、1958年9月2日福岡県で8番目に結成され、スポンサークラブは北九州ライオンズクラブで今年11月16日に結成50周年式典が行われます。

1958年は関門国道トンネルが開通又、平成天皇が皇太子殿下の時、正田美智子様と婚約された年です。

50年の歴史のあるクラブで奉仕活動できることに又、チャーターメンバーの福井ライオンがお元気で例会出席100%を維持されていることに頭が下がり、誇りをいつも感じております。ガバナーの提言、人類愛、郷土愛、家族愛をもとに50周年記念アクティビティをさせていただきました。

①地域の町づくりの会にお世話をいただき、門司港駅前広場の一角に門司港レトロの案内板を設置

②門司の歴史を伝える案内物として数多くの日本人が、この門司港より出征された門司港出征記念碑建設の支援

③盲導犬協会への支援

④門司ヶ関学園へパソコン寄贈

⑤CS 下II \$500 全員献金（モデルクラブ）



結成50周年記念式典記念 ACT 門司港レトロ観光案内板除幕式



卓球大会

1R・3Z 北九州東ライオンズクラブ

会長 L 磯邊 雅三▶

幹事 L 榎木 善博

会計 L 山口 三男



会長提言 「創造と感動」

会長方針

1. クラブの健全運営と感動する奉仕
2. 青少年の健全育成
3. 献血運動の推進
4. 委員会活動の活発化
5. 45周年記念事業を成功させよう



創造はガバナー提言 愛から全てが生まれることから、新しいものを創り出す意味を含めて、会員増強にしろ、奉仕活動にしろ、常に目先を変えて創り出すことにチャレンジす

る精神を培ってもらいたい。

感動は、今年は北京オリンピックで数々の感動シーンも見られることでしょうか、という意味もこめて例会、各種ボランティア、卓話、一人ひと

りが行動をする中で感動を覚え本当にライオンズ会員になってよかったと思える年度にしたいと思います。

1R・3Z 北九州門司みなとライオンズクラブ

会長 L 山田 永治▶

幹事 L 森田 将昭

会計 L 山本 文泰



会長提言 「団結・協調」

この度、会長を仰せつかりました山田永治と申します。宜しく願い申し上げます。

今期の会長提言は、「団結」「協調」としました。方針は、やはり会員増強と出席率の向上です。

この目標に向かって会員が団結して取り組み、そして協調性のあるクラブ運営を目指し、積極的に奉仕活動を展開して行く所存で御座います。

厳しい経済環境の中、前期は会員がかなり減少し大変な一年でしたが、今年は幸先良く3名の若いライオンの入会式を7月の第一例会で実施する事が出来、大変有難く思う次第で御座います。これを契機にあと若干名の会員確保を呼び掛け、更なる会員増強を目指します。

今期も先輩方の作った良き伝統を

継承し、又、若い会員の新しい意見を取り入れ、バランスの取れたクラブ運営を出来る様頑張ります。

理事会や例会ではそれぞれの意見をぶつけ合い、決定した事は全員で一致団結して実行、実施して行くという、当たり前前の事を初心に戻ってしっかりと確実にやって行きたいと思えます。

又、行事や例会などは内容を充実

させると共に、欠席者には直接連絡を入れ、出席率の向上を目指します。それが、退会防止に繋がるものと確信致します。

来年はクラブ創立35周年を迎えるに当たり、会員増強こそ今期の会長の使命であると肝に銘じ、我がクラブの活性化に貢献出来る様、努力致します。



風師山遊歩道清掃奉仕



餅つき

1R・3Z 北九州ルネッサンスライオンズクラブ

会長 L 末永 光好▶

幹事 L 原田龍太郎

会計 L 平山 賢治



会長提言 「本気で「We Serve」を

ある雑誌のアンケートで、最近の若者の女性に対する好感度は、「性格」がダントツで「容貌、見た目」は20%程度だそうで、交際相手を見つけるときは、まず「見た目」で決めて、伴侶は「性格」で選ぶようです。

これを私なりに「ライオンズクラブ」におきかえてみると、「見た目」は、いかつく、近寄りたいたいのですが、「性格」は、穏やかで友好的なものがあり、中に入れば居心地のいい魅力的なものです。

私も5年ほど前になりますが、上司の紹介で、北九州ルネッサンスライオンズクラブに入会させて頂きました。何も知らないまま入会式に臨みましたが、格調高い儀式に「しまった、これからいろいろなことに縛られて好きなことが出来なくなる」と大いに心配したことを覚えています。しかし、実際にはクラブに縛られることなく、しかも今までに経験したことのない地域と一体になった奉仕活動を体験しました。私の少ない体験の中で、ライオンズクラブは「穏やかで友好的であり、やさしい心を持っている」としみじみ感じたことがあります。毎年の恒例

行事となっている門司港レトロ地区の清掃奉仕に参加して、あまりに熱中して集合時間を忘れて、ほかの会員に迷惑をおかけしたことがあります。このとき、道端のゴミを拾いながら歩いてきたひとりの足の不自由なライオンに出会いました。見ていると、歩くにも不自由なのに、一生懸命にゴミを拾っている姿を見て、思わず自分のゴミ袋を広げていました。ライオンズクラブの「We Serve」の心を目の当たりにして、久しぶりに心が晴れ晴れといたしました。

当クラブもいろいろな奉仕活動に参加してがんばっていますが、「十分か」と問われれば、まだまだという感が否めません。会員相互が協力し合って、地域社会とのつながりを大切に、「We Serve」の心を実践して参ります。まだまだ、見た目には「いかつい、近寄りたいたい」イメージがぬぐい切れませんが、性格は非常に穏やかで友好的ないわゆる「伴侶にピッタリ」のクラブではないかと自画自賛しています。今後は、「見た目」と「性格」が一致するような本物の奉仕活動を目指して参ります。

当クラブの紹介が最後になりましたが、北九州ルネッサンスライオンズクラブは、結成が1993年8月で、現在15年目を迎えたクラブです。会員数13名と非常に少ないクラブで、平均年齢が59歳、ライオンズクラブとしては、それほど高齢とは思いませんが、今後、高齢による会員の退会が深刻な問題です。今、当クラブでは、存続の危機という緊張感の中でみんなが会員増強にがんばろうという意識が強くなっています。議論のない「仲良しクラブ」では、いずれ消滅の憂き目に会うのですが、奉仕活動の活性化に関して議論のできるクラブづくりに邁進していきます。

それから、異業種の集まりを強みとして、多方面からの情報を収集し、奉仕活動の拡大と活性化に役立てていきたいと思っています。

ライオンズクラブのモットーは、「We Serve」です。心のかもつた奉仕の実践には、地域社会と一体となった活動が不可欠との心を大切に、これからクラブの活性化を目指していきたいと考えています。今後ともよろしくお祈りします。

1R・4Z 北九州戸畑ライオンズクラブ

会長 L 太田 正孝▶

幹事 L 竹内 裕重

会計 L 黨 泰嗣



会長提言 「みんなの総力で50周年を成功させよう!!」

会長方針

1. 相互理解の精神と協調で50周年式典を成功させよう
2. 明るく楽しい例会づくり
3. 素晴らしい仲間を増やそう

2008年夏期 YCE 派遣生に思う

スウェーデン国 Caroline Illis 女性 (21歳) 7月10日~27日 (18日間) の受入れでした。彼女の趣味と興味は、言語、漫画/アニメ、料理、写真、ファッションでした。

会話はスウェーデン語、英語、フランス語 (只今勉強中)、日本語 (いろは) は全部読めますが、意味がよくわからない

のも有りました、受入れ期間中は日本語と英語の単語で過ごしましたが、日常生活の支障は有りませんが、肌理細かい会話が出来ない為お互いに理解出来ない事も有りました。

彼女は交流希望国に第一希望に日本選んで居ただけに、食事は刺身、寿司、梅干、味噌汁、全てOKでした。納豆は挑戦しましたが食べられませんでした。映画「花より男子」を見たいと言うことで行き、音楽は日本人歌手、うただひかる、嵐 (男子5人グループ) のCDを自分で買ったようです。結婚式場にて着物体験で着物を着て歩き方は上手でした。

ホストファミリーとしての感想は、来

日前にE-mailで3回程交換していたので日本をある程度理解していたと思います。彼女は日本の文化、21歳の女性らしく日本の歌に興味を示していました、彼女は日本をよく勉強して来ていました。私達が英会話を熟知していたら、もう少し日本を理解していただけたかな~と思います? 来日中の夏の暑さをE-mailで36℃位と知らせていたが想像がつかず、大変驚いていたようです。

彼女は礼儀正しく素直なおしゃれな素晴らしい女性だったと思います。

ユースが日本で得た体験を自国で役立て、より素晴らしい女性に成長する事を願っています。



1R・4Z 北九州若松ライオンズクラブ

会長 L 三原 弘▶

幹事 L 吉田 光慶

会計 L 山田 利行



会長提言 「和」

会長方針

- 創立 50 周年記念式典に向けて全力
- 会員増強並びに退会防止
- 楽しい例会

今期、北九州若松 LC は創立 50 周年の式典を迎えます。20 数名のクラブとなった今、たいしたことは出来ませんが、全員で総力を挙げて準備に没頭しています。

記念誌を編集しながら感じたことは、創立当時の数年の間に 3 つのクラブをエクステーションし、また、われわれクラブからガバナーを誕生させるエネルギーとその若さに感服します。

この先輩に習い、また、その DNA を引き継ぎ活力あるクラブを目指したいと思います。

若松の玄関口にある若戸大橋のロータリーに 45 周年事業として「あじさいの園」という花壇を造りましたが、夏になると雑草との格闘が始まります。早朝から黙々と汗を拭きながら草を引き抜くライオンメンバーの後姿を見るに付けて、本当に良い同士に恵まれたと感謝しています。

事業の大きい小さいでなくて、心一つにして何かをすることが大事だと思います。きっと市民を慰める立派な花が咲く事でしょう。



1R・4Z 北九州高塔ライオンズクラブ

会長 L 苅谷 勇夫▶

幹事 L 栗原 敏幸

会計 L 平嶋 浩



会長提言 感謝『夢そしてロマン』

会長方針

- ①達成感と喜びの為の発言と実行性
- ②友愛と相互理解の為の寛容の精神
- ③ライオンと呼ばれる人になる為の招致指導
- ④目標 25%の為の会員増強

北九州高塔ライオンズクラブ会員数は現在 18 名です。

地区名誉顧問の L 岡本房一を含め 70 歳以上の会員が 5 名、それ以外の会員はすべて 40 歳代の若き会員で占められています。

若き会員の中で一人だけ 60 歳の若

老者がいます。

このライオンが上下間をうまく取りまとめてやってくれるので非常に助かっています。実行性のある若き会員に主導権を託して活発に活動していただく様、運営方針もすべて若返るよう努めています。

地域広報活動は先日（7 / 17）若松洞海湾花火大会（7 / 18）開催の為のゴミ箱を 120 個設置しました。翌朝（7 / 19）の早朝 6 : 00 より清掃ボランティアも行いました。

地域の環境美化運動と市民が楽しく見物できた事に対して、クラブとして

の PR が十分に出来たと満足しています。

我々の最大目的であるボランティア活動に対しては、行政の手の届かない所で少しでも地域の役に立つ奉仕活動があれば取り組んでいきたいと考えております。

最近の例会は笑い声のたえない明るい、楽しい例会に変身しました。

特に若い会員のつながりはゴルフです。ゴルフを通じて会員の結束をはかり、アクティビティも見事にこなして行きたいと考えております。



1R・4Z 北九州洞海ライオンズクラブ

会長 L 宮崎 敏久

会長提言 「成長」

幹事 L 金田 和也

会計 L 稲田美由紀

- ・ 企業人としての成長
- ・ ご奉仕活動の成長
- ・ 会員の個人個人の精神の成長



1R・4Z 遠賀ライオンズクラブ

会長 L 入田 賢一▶

幹事 L 中村 君子

会計 L 中杉 太



会長提言 「充実」

現在、わがクラブも会員減に悩まされております。入会時の情熱と誇りを失い例会出席回数の少ない会員が退会していく現状を私なりに考えてみました。まず、例会について「例会の意義の徹底」「例会の慢性化防止」に考慮しなければいけないと思っています。また、同好会（釣り・ゴルフ・マー جان）の活発な活動による退会防止に努め充実した会員の絆を作っていきたいと思ひます。充実したクラブ運営を行うために、

会員委員長並び各会員の協力のもとに会員獲得に努めてまいります。会員増強5名をクラブ目標に掲げましたが、嬉しいことに既に2名の新会員が入会されました。アクティビティにおいては、毎年、1) 遠賀郡スポーツ少年団遠賀ライオンズクラブ旗争奪戦 2) 12回の献血活動（遠賀4町） 3) 波津ビーチバレー協賛 4) 遠賀川河川敷コスモスの町作り参加、他地域に密着した活動を行っております。今期は姉妹CLの那覇

北LCの皆さんが例会訪問されることになっておりますし、充実した一年になると思ひます。わがクラブは1R内で唯一、市外クラブで遠賀川河口に位置し、海に面した田園地帯にあり、会員は田舎人特有の素朴な人情にあふれ、会員同士の信頼も厚く地域とともに歩み続けており、今後もウィサーブの精神のもとに活動してまいりたいと思ひます。



釣り同好会



コスモス種まき



遠賀郡スポーツ少年団
遠賀ライオンズクラブ旗争奪戦

1R・5Z 北九州八幡ライオンズクラブ

会長 L 花田 宏▶
 幹事 L 北崎 勉
 会計 L 高崎 元徳



会長提言 「新入会員歓迎年」

会長方針

会員の融和

今年、我がクラブは創立 50 周年を迎える。来年 3 月 28 日（土）八幡の千草ホテルで記念式典を行うことが決定している。当日は姉妹クラブの台湾台甲ライオンズクラブからの参加が予定されている。半世紀の伝統を誇りとし、将来の百周年に向けて逞しく成長して行きたいと思っている。毎年行われる恒例の社会奉仕活動は当然実行して行くが、今年の最大目標は 50 周年式典を成功裡に終えることである。先ず意義ある記念事業を行うことを重点とし、出来るだけ簡素に厳粛に記念式典を行いたい。奉仕の原点を見つめ、前例にとらわれず、惰性を正して行きた

いと思っている。奉仕が単なる弱者救済でなく、他を生かすことが自分を生かすことであることを認識し、奉仕活動を続けたいと思っている。



1R・5Z 北九州西ライオンズクラブ

会長 L 古川 直樹▶
 幹事 L 馬場 秀晃
 会計 L 越智 幸男



会長提言 「力を入れずに出しましょう」

会長提言【力を入れずに出しましょう】について、ふれさせていただきます。

「力を入れる」と「力を出す」同じように聞こえる言葉も少しニュアンスは違います。

「力を入れる」…何か自分事・エゴイズムの響き・そして何かしらリキミを感じます。肩に力が入っています。逆に力を抜くと人はリラックスします。心が穏やかになります。人に優しくなれます。この優しい気持ち（愛）こそが「奉仕」の原点だと思います。

「力を出す」…人に対して、地域に対して、社会に対して、自分の事はさて置き、見返りを求めず、です。力は内に溜め込むのではなく、外に出すのです。

優しい心を持ち、人のために力

を出せる人。「ライオンと呼ばれる人」だと思います。そのような人々が単独でなく信念の下に団結し、ライオンズクラブを結成し「われわれ」[We]となりモットーを掲げました。We serve です。

どうぞお一人お一人肩に力を入れず、知性を磨き、笑顔を絶やさず、人に優しい気持ちをもって、奉仕に力を出しましょう。

(2008. 7. 1 例会 会長挨拶より抜粋)



1R・5Z 北九州帆柱ライオンズクラブ

会長 L 古閑鉄次郎▶

幹事 L 御手洗 誠

会計 L 仲吉 良爾



会長提言 「温故知新」

会長方針

地域密着型奉仕活動の活性化

今年の会長提言は「温故知新」という言葉にしました。これは今までの帆柱ライオンズクラブ44年の歴代会長の努力もさることながら、昔からの多くの会員たちの知恵から学ぶことにより、新しいクラブの活力が生まれるのではないかと感じております。

一例としては日本最古のレオクラブである「八幡レオクラブ」を長年育成してきたことや、例会や労力アクトのときの出席率が目立ってよいということ等から良き伝統が生きていることを感じております。

クラブの運営は言うまでもなく人の“和”であり、その“和”が大きな“輪”に発展して心が通じ合うものだと思います。

例会を出来るだけ楽しいものにして、“出席したい例会”にするべく、努力したいと思っています。これが退会者を防止し、魅力あるクラブとして入会者も増してくるのではないかと確信します。

三役やテーマー、テールツイスターとも一致団結してまずは楽しい例会作り、ひいては会員増強に持って行きたい所存です。

幸い本年度は第1回から新人会員をお迎えし戴帽式を行うことができ、幸先いいスタートが切れたと思っています。

この追い風を会長が音頭を取り会員委員会を中心として“増員推進チーム”を結成してこれまで掛け声倒れになっていた課題に取り組みたいと思っています。又重点項目として、本年は福岡県献血運動推進の県知事感謝状を受賞したことを期に、他の優秀クラブに学び献血活動を

もう一度見直して先人から受け継いだ、ライオンズクラブの基本アクトを推進してゆきたいです。

以上のことを念頭におきながら、わがクラブの奉仕の基本である、地域に密着した献血活動、盲導犬育成募金、チャリティーバザーなどの活動を活性化して、地域や行政と連動した活動を通して更に存在感を示していくよう努力いたしたいと感じています。



チャリティーバザー



清掃



島添会長のお隣が安部浩次まち協会長

1R・5Z 北九州黒崎ライオンズクラブ

会長 L 柴田 賀江▶

幹事 L 和田 信幸

会計 L 大山 修



会長提言 「魅力あるクラブ創り」

会長方針

- 1) 良い出会いは宝もの
- 2) 個々の魅力再発見
- 3) 健康への習慣作り
- 4) 地域に根ざしたアクティビティ活動

会長に就任させていただくにあたり、私は十数年前の入会当時のことを思い出していました。会員も50名位を数え、威厳のある大先輩の中で自分の居場所はあるかしら…と思うこともありましたが、親切で細やかなご指導や力添えをいただき、いつの間にかクラブの中に溶け込んでいくことができました。

以来、尊敬する先輩や多くの友人を得て日々の糧となり、今に至りましたことをあらためて感謝し、これに報いる決意で任務に臨みたいと思っています。

私たちクラブは現在28名ですが、各々が才能に恵まれ、個性を認め合って団結する楽しいクラブであることに誇りを持っています。

「人」という字はお互いの支え合いで

すが、お互いの良き所を見つめ合い、認め合ってはじめて会員としての存在感が高まり、誇りを持った活動ができると思っています。

本年度は「魅力あるクラブ創り」を目標にしましたが、その一環として誕生祝品は、一人ひとりの長所を全員で発見し、言葉を綴った装飾パネルを贈っています。まさに「友の美点を見守り、自らの良き、所を友に贈る」の精神で活性化を目指しています。

また、継続事業の一つ、「長崎街道曲里松並木を愛する会」では、去る8月

12日、星琳高校や留学生、地域住民と共に今年、国内外で起きた多くの災害被災者の御霊を供養するため、沢山の竹灯を飾りました。松並木街道を幻想世界に誘い、女性コーラスの清らかな歌声を響かせて「黒崎宿灯りフェスタ」を盛り上げました。

事業の継続には多少の課題はありますが、みんなの心を一つにして、明るく魅力あるクラブ運営に努め、地域の人々を巻き込んだ質の高いアクティビティこそ、会員増強につながるものと思っています。



黒崎宿灯りフェスタ



学園祭献血会

1R・5Z 北九州くきなみライオンズクラブ

会長 L 坂田 篤実▶

幹事 L 瀧口 智之

会計 L 長崎 栄子



会長提言 「笑顔」 We Serve with a Smile

会長方針

楽しい例会 楽しい奉仕

「笑顔」というシンプルな会長提言にさせていただきました。

私は、笑顔のある所には、笑顔(Happy)が続々と集まって来ると信じています。それと同じ様に、笑顔のあふれる楽しいクラブには、笑顔のあふれる、すばらしい人達が続々と集まって来て、さらにその輪が広がっていくはずで

せつかく例会に出て来たのに。せつかくアクトに参加したのに。そんな苦虫をかみつぶした様な顔をしてたんじゃ、何も楽しくありません。どうせなら笑顔で楽しみましょう。

あなたが楽しめば、きっとまわりの人もみんな楽しくなってくるにきまっています。

We Serve with a Smile.



イモ畑草刈り作業 (八幡西特別支援学校)



イモ掘り (八幡西特別支援学校)



親子レクリエーション交流会 (あゆみの会)

ライオンズ用語解説①

国際会長と国際理事

国際協会は、国際会長、前会長、第1副会長、第2副会長及び全世界から選出された33名の国際理事によって運営される。日本からは過去に1名の国際会長と48名の国際理事が選出されている。国際会長は、ライオンズクラブ国際協会全ての大会及び理事会の会議を主宰する。国際理事会は協会の最高執行機関。

337 複合地区

1国または1地域が多数の地区に分割されている時、これらを総合して複合地区を作り、複合地区を形成する各地区は準地区となる。337複合地区は九州・沖縄全域。準地区の地区ガバナーはガバナー協議会を組織し、その運営にあたる。2008.4時点では、クラブ数434、会員数15,431名である。ちなみに日本全国では330から337までの8地区があり、2008.4時点では、クラブ数3,383、会員数116,047名である。

337- A地区

337複合地区の一部分を形成する1地区(準地区)。福岡県全域及び壱岐・対馬。2008.4時点では、クラブ数118、会員数4,821名である。

地区ガバナー

国際協会の役員。地区におけるライオンズクラブ国際協会の代表にして、地区キャビネット(内閣)構成員を指導する地区運営の責任者。任期は国際大会の閉会時から次の国際大会の閉会時迄の一年間で、連続再選は許されない。

キャビネット役員

地区ガバナー、前地区ガバナー、副地区ガバナー、RC、ZC、キャビネット幹事、キャビネット会計その他規定された地区委員長等。

R(リジョン)とZ(ゾーン)

地区ガバナーは、地区管理のため、地区をいくつかのRに分け、さらにそのRを4ないし8のクラブから成るZに分けて運営している。

RC(リジョンチェアパーソン)とZC(ゾーンチェアパーソン)

RCは、毎年地区ガバナーが任命するか否かを決定する。任命された場合RCは地区ガバナーの指導監督を受け、責任者としてRの運営に当たると共に、R内の各ZC等の監督をする。ZCは、地区ガバナー及び(又は)RCの指導監督を受け、責任者としてZの運営に当たる。地区ガバナー諮問委員会の委員長にして議長。

2R・1Z 福岡西ライオンズクラブ

会長 L 関山 豊光

幹事 L 森 修二

会計 L 長島 信之

会長提言 「優しさと、おもいやり、そして行動力」

会長方針

優しさと、おもいやりのある奉仕活動、40周年記念例会に向けての行動力

結成 1969年2月11日(チャーターメンバー35名) 在籍1名90歳

今期40周年記念例会を2009年4月4日に控えて第41代会長の大役を受け、緊張感を覚えながらもクラブ運営に当たることの重大さに身

の引き締まる思いがします。

今期のアクティビティとしましては、40周年と言うこともあり中身の充実したものにしようと考えています。

- 一、重度身障害者「翼」福祉作業所
- 一、重度身体障害者「あったかホーム」
- 一、オイスカ西日本研修センター
- 一、福岡難病団体連絡会
- 一、自閉症児者作業所「知求工房アビリティ」

姉妹クラブとしては

1984年5月締結 大韓民国釜山文化ライオンズクラブ(今年6月25周年)

1985年5月締結 中華民国台北市石牌国際獅子舎

1991年5月締結 広島平和ライオンズクラブ

今期姉妹クラブとの友情を深め又奉仕活動を重点に温かく和やかな例会運営を目指します。



会計L長島 会長L関山 幹事L森



大韓民国釜山文化ライオンズクラブ 25周年記念式典に訪問して

2R・1Z 福岡北ライオンズクラブ

会長 L 原 勝▶

幹事 L 山下 洋史

会計 L 星川 隆二



会長提言 「心から元気で、明るく、笑顔の奉仕」

『We Serve』この言葉の意味深さ…奉仕する側とされる側において、やはり我々ライオン自身が心から元気で、明るく、笑顔で奉仕しなければ本当に『愛』が相手の心に伝わらないのではないのでしょうか。

◆なにも体が元気でなければ、と言う事ではありません。病気や老化そんな時だからこそ心が元気であれば、自然に明るくなれるし…(病は気から)

◆なにも辛い時に明るく振舞えと言う事ではありません。ライオンズ入会時の一本の灯り(ローソク)を思い出し

て下さい。自分自身の心の灯りを暗くしてはいけません。心だけは明るくしていれば、自然に笑顔が出てきます。

◆なにも悲しい時に笑顔を出せと言う事ではありません。悲しい時こそ心に笑顔があれば、自然と元気が出てきますよね。

今期会長の提言とさせて頂いた事をライオニズムの精神誠意に置き換え、心が伝わる奉仕活動、アクティビティに関しても、地域・人だけに関わらず【生きているもの】に共存し関連するものにと考えております。

今期のガバナー意向に基づく、例会開催時間の変更はまさしく『運営の変化』ではないかと確信しております。

入会者より退会者が多いLC現状の中、まず退会者を防ぐ事を先決に、LC内部の雰囲気と入会して頂き易い環境作りは今期は重点を置き、例会を昼間と夜間で交互に開催する事に致しました。

何卒皆様方には心からの打解け合う協力とご支援を賜りながら最善を尽くして行きますので、宜しく御願い致します。



献血



弁論大会



例会風景

2R・1Z 福岡大濠ライオンズクラブ

会長 L 岩田 晃佳▶

幹事 L 小松 豊

会計 L 永峰 嘉博



会長提言 「改革」

我が大濠ライオンズクラブでの今期のアクティビティは前年同様、石丸青少年育成の為にパトロール支援を行います。これは世の中が進むにつれ治安も悪くなり犯罪も増え続けています。

また、パトロール中に民家の火事を誰よりも早く発見し早急な対応で被害が出ずにすんだ事も有ると報告を受けています。

その為に地域の安全や青少年育成の為に地域の方々がボランティアでパトロール等を行っていますが、その支援を大濠では引き続き行います。

また、和白清松園での英会話教室です。毎週、日曜日に2名の会員とボランティアで協力して頂いてる外国人が和白清松園まで出向き英語の授業を行っています。

この授業を受けているのは、ほとんどが小学生ですが、英語を習うのは学校だけで本当の外国人から直接習う事の機会が少ない施設の子供に教えようと発足しました。

今期で4年目になりますが、子供達の一生懸命な気持ちと外国人の気持ちが一つになり、ますます英語の習得にも磨きが懸かっているのではないかと日々思っています。

そして、これが本当のボランティアだと気づかれさせられました。お金を出す、支援もありますが、このような周りの方々と協力して行う行為はライオンズクラブでなくても誰でも出来る事ではないかと信じています。

大濠ライオンズクラブがきっかけを作り、一日も早くこの様な奉仕の精神を広げていければ何よりだと思

います。

また、我がクラブでは今期の提言として「改革」としました。ライオンズクラブとして行わなければならない事を忘れてると言うより、薄れてきている気がしました。

本来のボランティア精神は忘れてはいないのですが、少し勢いが無くなって来た気がします。ですので今期はもう一度本来のボランティア精神に則って頑張りたいと思います。

2R・1Z 福岡黒田ライオンズクラブ

会長 L 田中 雅美▶

幹事 L 松本 一範

会計 L 安武 國昭



会長提言 「楽しいクラブ、楽しい奉仕」

年間努力目標

- ◎委員会活動の活性化
- ◎会員増強及び維持
- ◎奉仕活動は全員参加

我が福岡黒田ライオンズクラブは、ライオニズムの崇高な理念のもと、地域社会に根ざした奉仕活動を重ねてまいりました。

本来、その奉仕活動とは楽しいものであるはずですが、奉仕が辛く感じられることも、時と場合によってはあるかもしれません。しかしながら、奉仕活動が実を結んだとき、成果が出たとき、辛さは喜びに変わるはずですが、だから奉仕とは楽しい行為なのです。そして、その奉仕活動を支えるのが確固たるクラブの存在ですから、楽しい奉仕活動をする基盤は、楽しいクラブの運営にあるのです。

この関係はもちろん逆の関係にもあります。楽しいクラブがあるから、奉仕が楽しくなるのです。

「楽しさ」とはもちろん表面的な楽しさではありません。そこに集った仲間たちが目的に向かって心をひとつにすることの楽しさです。心と心がつながっていく楽しさです。今期はこのように楽しいクラブ運営を基礎とした楽しい奉仕活動を目指して行きたいと思います。



2R・1Z 福岡桜ライオンズクラブ

会長 L 伊藤 敦子▶



幹事 L 児嶋美希子

会計 L 原田 則子

会長提言 「愛と和で楽しい奉仕」

会長方針

20年の歴史を踏まえ、会員一丸となって、ライオンズのモットーであります“*We Serve*”を愛と和を持って実践いたしましょう。

福岡桜ライオンズクラブは本年は20周年を迎えます。チャーターメンバーの心と奉仕を引継ぎ81歳から34歳までの会員52人で頑張っ

て参りたいと思います。

結成20周年記念事業として

青少年健全育成・国際親善を目標とした【チューリッヒ青年シンフォニーオーケストラ公演】を10月16日(木)PM6:00より福岡シンフォニーホールにて開催いたします。

スイス チューリッヒ音楽大学の学生によりヴェートーヴェン作曲【皇帝】・ドヴォルザーク作曲【新世界】オネゲル作曲【パシフィック231】を演奏されます。

共演で九州女子高等学校の津軽三味線クラブが日本一の演奏をさせていただきます。

観客は福岡市近郊の高校生・大学生・一般の方を無料【但し入場整理券が必要です】ご招待いたします。ライオンズの皆様是非クラブ事務局にお申し出下さい。

資金獲得事業として

青少年健全育成を目的として“和太鼓TAO”のチャリティーコンサートを12月16日(火)PM6:00福岡サンパレスにて入場料4,000円自由席に



て開催いたします。

世界観客動員数250万人を突破。気迫の演奏をお聞きいただきたいと思

います。数百人の学生さんをご招待の予定です。

是非ご観覧いただきますようお願い申し上げます。

20周年記念例会は平成21年2月17日(火)ホテルオークラにて開催致

します。ライオンズの皆様のご出席を心よりお待ち申し上げます。



2R・1Z 福岡ノーマライゼーションライオンズクラブ

会長 L 三嶋 清忠▶



幹事 L 福地 周一

会計 L 大松 隆

会長提言 「心は公なり(義)」

会長方針

ともに学ぶ、思わず笑顔が出る例会

障がい者、健常者が、相互理解の精神をつちかい、発展させ、これまでは奉仕を受ける側であった障がい者及び関係者自らが、奉仕する側にまわり、障がい者と健常者がともに暮らせるノーマライゼーション社会の実現を試みた私達のクラブです。

人生の目的がなければ根無し草のような人生になるのと同じように、社会にも確たるビジョンが必要です。どこに向かい、何をを目指すのか、ライオンズクラブは社会奉仕を目的とした団体です。善意の心で、WE SERVEの精神のもと頑張っ

てまいります。今期アクティビティの予定は、福岡市障害者スポーツ大会への支援、

障がい者の皆様をライジング福岡バスケット観戦への招待、ミュージカルへの招待、日韓親善障害者ソフトボール大会への支援等を行ってまいります。

例会は、毎回楽しい例会になっています。

利害をすてて条理にしたがい、人道・公共のためにつくってまいります。



2R・1Z 福岡博愛ライオンズクラブ

会長 L 廣田 一孝▶

幹事 L 田中 英治

会計 L 和田 耕司



会長提言 「We Serve の実践は例会出席から」

会長方針

- ①楽しく明るい例会を皆で盛り上げよう
- ②役割の集約によるクラブ運営の促進
- ③我々はグローバル的な規模で優れた実績を積むライオンズの一人だという誇りと自信を持とう

ライオンズクラブの今後の対策としての提言

叔父の紹介でライオンズクラブへ入会して2年近くになるろうとしているがライオンズクラブがどのようなものかわかりはじめた。

世界のいたる所でクラブの実績なるものが存在し多くの人々に感謝されているようである。例えばアフガニスタンの為に尽くしながら拉致されわずか31歳の若さで命を奪われ

た伊藤和也さんも福岡ペシャワール会から派遣された一人だった。そのペシャワール会もライオンズクラブの一人が指導するクラブである。アジアの片隅での小さな努力が新しい時代の流れを切り開く一つの捨て石となる事を祈るという理念をもって努力を積み重ねてきたわけである。近日の極めて傷ましい事件であるが挫けず世界への貢献を続けていく事である。変わって視点を近辺へ変えると経済不況の為か又はNGO団体が増えたからか、会員数の獲得が難しいようである。地域周辺への宣伝啓蒙を兼ねて周辺地域への治安対策へ乗り出してはどうだろう。人口増加の陰で老人社会のひずみ等弱い者が犯罪被害者となり易いようである。自分達の近辺はまず自分達で守るという意志で自警団の組織化や見

回り隊の発案等を考える。また朝夕の子供達の登下校時に子供達に声かけ運動等をクラブ員が率先し指導することはどうだろう。向こう三軒両隣りからはじめて社会の足元を照らすのも一つの方法であると思う。



2R・1Z 福岡大樹ライオンズクラブ

会長 L 和田 泰子

幹事 L ボブホン柿本

会計 L 小畑 聡

会長提言 「友情・親睦・理解」

会長方針

運営基本方針

1. アクティビティ ①もちもち福祉プラザ支援 ②こども未来福岡支援 ③CSF II 資金活動 ④献血活動
2. 資金獲得事業 ①チャリティボウリング大会 ②チャリティディナーショー ③独演会チケット販売
3. 会員拡大 10名
4. 例会の充実 ①会員相互の親睦 ②クラブのアクティビティについての理解を深める。 ③クラブのあり方について話し合いを充実させる。 ④出席率の向上を図る。
5. 委員会単位での活動の活性化

私ども福岡大樹ライオンズクラブも3期目を迎えました。結成時の生みの苦しみ、その後の予想外のトラブル等、難問山積の中、第1期、第2期の三役の方々をはじめクラブ会員の努力でこの3期目を迎えました。

この間の活動は、チャリティディナーショーには、ライオンズクラブ内外、とくに会員以外からも多数参加いただき200名を超える大盛会となり、事業資金獲得の大きな力になっただけでなく、ライオンズクラブの活動を知っていただく機会ともなりました。また、チャリティゴルフやチャリティ独演会のチケット販売など、事業資金として多くの浄財が寄せられました。

こうしてよせられた事業資金によって、当初の計画していた、①福岡市の障害者福祉施設もちもち福祉プラザ支援、②福岡市の「こども未来基金」への支援、③福岡市立能古島小学校・中学校へのクッション型防災頭巾の寄付、④街頭献血や自衛隊の協力を得た献血活動などアクティビティを積極的に取り組んできました。

3期目の目標としては、こうした従来のアクティビティを引き継ぎながら、さらに会の活動の充実を図ってい

きたいと思っています。

また、会員それぞれが、ライオンズクラブの活動について理解を深めること、会の中でお互いを良く知り、仲良く助け合って奉仕活動を続けていくことを目指しています。



2R・2Z 福岡舞鶴ライオンズクラブ

会長 L 岩本 啓太▶



幹事 L 島田 光子

会計 L 志間 弘昭

会長提言 「心の奉仕～ We serve of true heart～」

会長方針

寛容、友愛、慈悲、思いやりの心を奉仕へ

福岡舞鶴ライオンズクラブへ縁があり入会して早7年、入会したのがまだつい最近のような気がしています。ほとんどの会員の方が先輩であり、私などはまだまだ新米会員といえます。そういう中で、今期会長に就任いたしました。入会以来、計画委員長、幹事などを経験しましたが、今何が一番必要かといえば「活性化」ではないかと思えます。組織も生き物である以上、新陳代謝が求められています。時代は変わり、時代は要求しています。ライオンズの基本理念である「奉仕」も時代と共にそのあり方が問われているように感じます。

会員の減少は、すでに私が入会したときから言われていました。そして、高齢化社会、昨今の厳しい社会・経済環境の中で、伝統を継承しつつも無駄を省き、合理的に時代に合ったクラブ運営が強く求められていると思います。

今期、会長提言を「心の奉仕」としました。「奉仕」の原点に立ち返り、会員それぞれが、無理なく、出来る範囲で「心」からの奉仕を目指そうという主旨です。

その上で、今期目標の一つとして、会員増強を掲げました。このことが、歴々の先輩会員の方々から築き上げてこられたクラブを継承し、活性化することへつながると確信します。

会員一人一人が、このことを実感し、共感できるよう努力する所存であります。



2R・2Z 福岡城東ライオンズクラブ

会長 L 入江 隆生▶



幹事 L 木下 右二

会計 L 児島千久男

会長提言 「奉仕がもたらす 人の輪・和」

会長方針

クラブの活性化

我がクラブは2年前に会員数が40名を割ってしまいました。そこで、会員委員長統括のもと「会員増強委員会」を設置しました。

その構成は会員全員を6グループに編成し、各グループが1名以上の新会員の確保を義務づけました。その結果、この2年間で18名（一昨年～12名、昨年～6名）の新会員を増員することができ、現在の会員数は52名です。また現在の会員の平均年齢は61.6歳です。年齢的にはバランスのとれた構成になっています。2年前の平均年齢が64.5歳であったことから見ると、この間に随分若返ったこととなります。

また在籍年数の状況を見ますと、

2年前の平均在籍年数は15.8年で、現在の在籍年数は12.1年です。

当クラブはここ1、2年で新会員が大幅に増員し、新鮮で活力あるクラブ運営ができており喜ばしいことです。

若くて新しい会員の皆様は、先輩ライオンから多くを知識や規範を学んでいただき、また先輩ライオンは新会員を指導育成いただき、お互い会員同士が切磋琢磨し、うまく機能・融和して次世代を担うクラブとして発展していくことを切望致します。



2R・2Z 福岡玄海ライオンズクラブ

会長 L 新木 猛
 幹事 L 二場 安之
 会計 L 河原正太郎

会長提言 「伝統を継承し、未来へと続く奉仕」

21年目を迎える福岡玄海ライオンズクラブは、昨年ナンバーワン・ブルーフラッグを頂くことができました。これも歴代の会長を始め、会員の皆様のご尽力の賜物です。この伝統を未来へと続けていきます。

ミャンマーでのサイクロン、中国四川省での大地震、世界各地で頻発する天変地異、食糧危機、世界経済の後退と囁かれる中、日本のライオンズクラブへの期待も増すことと思えます。

人類が最初で最後に出来るのが、慈愛であり We serve の原点に戻り One person is everyone. Everyone is one. 一人がみんなの為に、みんなが一人の為に、「一本の光」がいく千にも重なりあえば巨大な光源となり闇をも照らす、人を救えるのは、人である。

「奉仕とは？」原点に戻り、諸先輩方の築き上げた伝統を重んじ今「感じる」今「出来る事」を若い力でチャレンジしていきたい。

「善に従うこと流るるが如し」つまり「たがいに良いおこないをすすめて、これを実行するように努めるのは、友だちどうしの大切な道である。」

奉仕活動を通じ「信頼」「友情」「英知」「忍耐」を身につけて、ライオンズの仲間が良かったと語れるような一年間を目指しますので、会員の皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

「今期また消防自動車2台をカンボジアへ贈る一海外支援事業を続けて19年、今やクラブの伝統的なアクティビティ」
 2R 2Z ZC
 L 重松 史郎



今や我がクラブの伝統的な事業となった消防自動車を海外へ寄贈するアクティビティ。今回は「篠栗町」と「粕屋町」から各一台、償却済みの消防自動車を頂きました。これまでスリランカ、フィリピンと、もう16台（消防車以外の車両も入れる）の車両を贈って来ました。そして今回はどこへ贈るか……当然、毎回のこと理事会で決めることになりました。いくつかの候補国の中で、結局、カンボジアへ贈ることになりました。そして今回も LCIF の申請をして資金をいただき出来るだけ、よりよい充実した内容の支援を行なうことにしました。LCIF の基金を申請するには、もちろん現地のライオンズクラブを介してすることになります。つまり、必ず現地のライオンズクラブの協調支援が必須となっているからです。

初めての慣れない国との交信の中で現地の状況を探りながら、スケジュールをたてていきます。

カンボジアは1953年、フランス統治の時代を経て独立したものの、隣国で行われていたベトナム戦争やクーデターな

どに見舞われ、なかなか国内の情勢は整いませんでした。さらに、1975年にはポル・ポト政権が成立して、内戦が激化。ポル・ポト軍によってプノンペンの住民は全て農村部に移住させられ、一時はゴーストタウンと化してしまいました。ポル・ポトによる社会主義政権の誕生と内戦の影響で街は荒廃の一途をたどり、首都としての機能は一切失われたとまでいわれていました。その後、国連が紛争の解決に乗り出して、1993年に新生カンボジア王国が誕生。街は再建に向かって、その活気を取り戻しつつあるようです。現在、カンボジアの首都、プノンペンは人口100万人を擁する政治、経済における中心地となっています。

このプノンペン市へ現地のライオンズクラブ（プノンペンセントラルLC）を通じて消防車を贈ることになりました。それで、まずは、このクラブとの打ち合わせに入りました。どんなものが必要か注意事項は何か。先方のライオンズクラブと始終打ち合わせが始まりました。

海外に向けての事業の難しい問題点は関税の捉え方の相違です。カンボジアもそうですが日本からの援助として贈呈するのにもかかわらず関税をかけようとする政府の方針が、我々には到底理解できないのですが、今回も又かという感じで、この問題に直面してしまいました。

福岡から現地の港に消防自動車が入ってからがいつも大変です。今回この消防自動車に対してどうしても関税を課けるということになりました。日本から輸送する時は、何時でも『商業品ではありません』という証明書を書いて送るのですが、必ず現地で課税されてしまいます。この事は、スリランカ、フィリピンでもそうでした。現地のライオンズクラブもかなり努力しましたが結局、課税されてしまいました。今回のカンボジアの場合は、現在、政府に免税制度自体がなく輸入品については必ず税金がかかるという仕組みになっていたからです。そこで現地のライオンズクラブはこの関税を支払ってくれる法人、支援団体を探して関税支払い資金を援助してもらうことになりました。理解が出来ない政策です。でも何とか彼らの努力で支払ってもらい荷揚げすることが出来ました。

この2台の消防自動車は、先方の切なる願いでカンボジアのプノンペン市にある、『カンボジア王国首相官房室のボディガード局』に寄贈することになりました。そして話し合いの結果、2008年6月30日プノンペンの官房庁舎内で贈呈式を行なうことに決定。日本からは我がクラブのメンバー、と子クラブである「福岡花



ライオンズクラブ」のメンバーも大勢参加していただき贈呈式を行ないました。贈呈式の当日、この将軍の部屋で我々も説明を受けました。このボディガード局というのは国王の安全を守るための警護隊であり、軍隊や警察とは完全に独立したすべてに優位な権限をもっている部隊だと説明を受け親衛隊だと理解しました。式典は庁舎の中で開かれ、将軍と主だった幹部の隊員50人がセレモニーを主催してくれました。プノンペン市内にほとんど消防自動車は一台もないと聞かされ、皆で驚いたのですが、それは本当のようです。珍しそうに周りの人達が消防自動車を見ていました。ライオンズクラブ国際協会の LCIF 本部から広報映画隊がこの贈呈式の様子を取材に来ており、かなりの量の撮影をすることになりました。

気温40℃近い熱射の中での撮影に入り、隊員も我々メンバーも刺すような暑さの中で撮影に入りました。素晴らしいライオンズ広報映画が出来たものと思っております。

この映画の中で一番撮影したいシーンは、消防車の放水するシーンだったとのことでした。でも、放水する消防車の操作がわからなかったので、結局、停車したままサイレンを鳴らすだけになってしまいました。そこでサイレンを鳴らして市内を一周して撮影をするプランも挙がりましたが、そうすると、プノンペン市内の住民がまだ覚めやらぬ内戦の悪夢をまた思い出してビックリするかもしれないから止ようと心配して、当局から断念したいと申し入れがありこれも中止となってしまいました。

現地に行ってみて消防自動車の放水の操作が出来ないと、防火用水がないので簡単に放水が出来ないという原始的な問題が浮上しました。消防車の放水の仕方が分からなくてはどうすることも出来ないし、改めてこの対応をどうするか次の問題となりました。現在、皆で問題解決について検討中です。

海外支援については、手続きの煩雑さだけではなく、いろんな事が発生します。国民性の違い、文化観、社会通念、宗教観の違い、いずれも時に触れて問題が生じてきます。支援する心と、貰う者の倫理観。感覚の違いからどうしても理解が薄くなってしまったりします。国際間の交流は心を広く理解力をもってしないと出来ないものだと思われ、最近つくづく感じさせられます。

でも、ライオンズクラブはインターナショナルです。これからも皆で邁進します。

2R・2Z 福岡誠ライオンズクラブ

会長 L 亀岡 正茂▶

幹事 L 石橋 幸吉

会計 L 高田 崇子



会長提言 「誠に集い、誠に学び、誠に奉仕を。」

会長方針

過去に捕らわれない新しいクラブの運営の展開

現在日本のライオンズクラブの会員数は、最盛期の17万から現在11万を切っています。

いろんな提案：質疑問答が多くのライオンから出されていますがどれも「決定打」の欠けるのが現実です。

私ども福岡誠ライオンズクラブも前期大量の退会者を出し「会の存続の危機に貧して」います。

このような「非常に厳しい会の運営を迫られる中」私は今期の会長を拝命いたしました。

まさに「火中の栗を拾う」状況でした。

私は会長提言に「過去に捕らわれない新しいクラブの運営の展開」を第一に掲げました。

ライオンズクラブでは「ロバート議事法」による「一度決議した案件は再度審議しない」と有りますが、やはり「現実が第一です」「理想では現実を越えられません」

1. 一部例会を昼に振り替える
2. 他のライオンズクラブとの合同例会を開催する
3. 「優秀なゲストの招聘」を通じ勉強会を催す

これらを通じ「誠ライオンズ」に入会して良かったと会員が自覚する事が大事です。

たまたまゾーンは違いますが例会日：場所が同じ「鴻臚館ライオンズ」との合同例会を7/23水曜日に行いましたら「普通の例会の倍の会員」との親近感溢れる例会で「みんなよかった!!」と言って下さりました。

「例会日：場所」が同じ事が幸いでした。

以上のことから会員が少ないクラブは



「例会がおもしろくありません」。

アクトにしても「積極的な攻撃」が出れないのも事実です。

キャビネットはエクステンションを進めますが「私はこれに異論を述べます。合同するのも大事」です。

勿論「クラブには各々の魅力」が有りますが「ライオンズの大道につく」のも大事と考えます。

次回「合同例会」は「日本銀行：福岡支店長」の卓話を受諾して頂きました。

「忘年会はビッグなものにしたい」と考えております。

福岡誠ライオンズクラブは変わります。多くの会の参加を歓迎致します。



2R・2Z 福岡シニアライオンズクラブ

会長 L 津田恵美子▶

幹事 L 永井 光清

会計 L 古川美代子



会長提言 「原点に立ち返り 新たなる出発 (We serve with a smile)」

会長方針

例会は楽しく 奉仕は笑顔で全員参加

全く予期せぬことで、無理と恥を承知で今期(11期)福岡シニアLCの会長を引き受ける事になりました。前会長(L宮崎)が、最大イベントである10周年記念式典を立派に成し遂げられその後続く会長職の重責を今ひしひしと感じています。歴代会長と会員の皆様が一緒に活動してこられた事を教えていただきながら来年6月に向け、無事にゴールができるよう精一杯頑張っていきたいと思えます。

今期、我がクラブは、25人体制で始まりました。

若いL 27歳~先輩L 81歳と幅がありますが、味と魅力のある美男美女のライオンばかりです。

ここで新たな気持ちで原点に立ち返り、今一度シニアLCを足元から見つめ直しWe serve with a smile精神でシニアらしく計画を立てて、できることから一つ一つ実行していくつもりです。

まず①例会 出席率100%を目標に一

人一人の会員が会員としての自覚を持ち、楽しく和やかな雰囲気の中、意義のある例会にしていきたいと考えています。

②奉仕 (アクティビティ)の全員参加

- ・LCIF 支援
- ・青少年育成支援 (保育園(2ヶ所)、地区子供会)
- ・高齢者、障害者関係 (労力的支援、金銭的支援)
- ・街頭献血運動、清掃活動

③会員増強

高齢化が進む中、全国的に会員の減少が続いているので、退会者の防止対策を理事会、例会で毎回話し合うようにして

います。

上記に述べたように、今期もこのアクティビティを継続しながら、現実を見つめて正しい情報をキャッチし、的確な判断で地域に密着した活動をしていきたいと思えます。

またスポンサークラブ、兄弟クラブ、他クラブとの友好も大切にしていきたいと思えます。

行き届かない所や不手際な所が沢山あるかと思いますが、会員の皆様の強い協力と全国ライオンズクラブの皆様のご指導とご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



インドの子ども大使



2R・2Z 福岡花ライオンズクラブ

会長 L 高津 英子▶

幹事 L 井手千鶴子

会計 L 新郷 桂子



会長提言 「感動・感謝・和の奉仕」

会長方針

継続事業の継承とさらなる充実を図ります。例会100%参加を目標に、会員の方に楽しいと思っただけの例会運営を心がけます。

福岡花ライオンズクラブは、9年前に結成され、「私達は奉仕する」という目的を持って集まった人達です。私たちは、心を一つにして協力し、楽しく奉仕活動を行なっています。中でも、「中・高校生弁論大会」は結成以来、ずっと続けてきた継続アクティビティの一つです。少子・高齢化が進む中、将来を担う子供達が、何を思い、何を期待し、何に生きがいを感じているのかなど、子供達の口から直接聞いて、大人は何をすべきかを考えることを目的として「弁論大会」を始めました。今年で9回目をむかえます。この弁論大会で優秀な成績を収められた方々で「若き弁士達の集い」とネーミングした一つのネットワークを作りました。弁士達が、後世のリーダーになられ、素晴

らしい社会を築いて下さることを願って応援しています。また、毎年、弁論大会の最優秀賞を受賞された中・高校生を2名ずつ副賞として、韓国の学生と交流する研修旅行か、日本文化を学ぶ研修旅行に招待しています。

他には、失明の危機にさらされている世界中の人々を救うキャンペーン（CSF II）に参加し「ブルーフラグ」を頂きました。また、老人ホーム、子供の家、乳児院、更正保護施設など社会福祉への支

援、YCEなどの青少年育成事業への支援などに頑張っています。

これらの支援を行なうための事業資金を獲得するため、今回、私達は12月2日（火）に、前原市のザ・クイーンズヒルゴルフクラブにて、チャリティゴルフ大会を開催いたします。

今後とも、私達は、グローバルな視野で、福岡花ライオンズクラブの花を咲かせていきたいと思ひます。



子供の家



ブルーフラグ

2R・2Z 福岡フィフティライオンズクラブ

会長 L 林 勤▶

幹事 L 舩元 光二

会計 L 福岡賀代子



会長提言 「共創」—感動を皆で創り、全員で共有—

会長方針

6委員会の企画／実践による全員参画のクラブ運営

クラブ運営方針

当クラブの7代に亘る歴代執行役員各位の多大なるご尽力に敬意と感謝を抱きながら8期目の会長提言に「共創」を掲げました。クラブにおける活動に全員で感動を創出し、これを全員で共有することを目指します。

先ずは、労働奉仕に全員が参画することでライオニズムを等しく共有し、これを礎として例会の運営に変化と充実感を創出し、会員同志の相互理解を更に深めたいと思ひます。

組織は会員個人の総和以上の価値を生み出すことにその魅力があります。個人と個人の相乗効果を創出で

きるのが組織です。

当クラブは運営関連が4委員会、事業関連が2委員会、計6種類の委員会で組織されています。会員全員がいずれかの委員会に所属しています。そして、6人の委員長がそれぞれに職責・職務を担っています。6つの委員会が共同体・協働体として相乗効果を発揮するために各委員長同士がコミュニケーションの推進に更に尽力していただくことを願ひしていきます。これにより全員がクラブへの参画意識を自覚することができ、更なる絆の強化に結びつくものと確信します。

各委員長に配付したキャビネット作成の「研修会資料」を参考にし、当クラブにとって今、何をやるべきか、あるいは他の委員会とどう協働すべきかの「発信力」、そして会

員各位はそれにどう協力すべきかの「受信力」を高揚していただくことを願ひしてまいります。

コミュニケーションのターミナルとして5役一同、心を一つにして各委員会の企画／実践がより適確に推進するよう会員全員に対する「意味づけ力」を養い、会員と組織の「共感の接点」を創りあげるよう精進して参ります。

2R・3Z 福岡鶴城ライオンズクラブ

会長 L 八木 誠治

幹事 L 川崎 幹

会計 L 佐伯 憲二

会長提言 「万象楽和平」

会長方針

「万象」とは、宇宙を含めた、この世に存在する全てのものを表し、「楽」とは楽しいことで愛することにも譬えられる。「和平」とは穏やかでなごみがあること。

我々全てのライオンズ会員が目指す「We serve」の精神も含めた究極の世界であり、穏やかで楽しいクラブを目指す。《構想》

We serve! 「伝承・創造・飛躍」

今期の方針は諸先輩が築き上げられた歴史あるクラブの伝統を継承しつつ、その中から時代にマッチした新しいものを創造し、直近の40周年はもとより将来に向かっての飛躍の年としたいと思っています。

具体的なアクティビティについては前期の長期構想委員会での決議に従い児童アイススケート等、継続するアクティビティの実行、他は在り方を含めた見直しを会員の皆様と議論し、将来に向かって飛躍する糧としたいと思っています。

1. 会員の純増を目指します。
2. 伝統を大切に、鶴城らしくを全面に、諸先輩の方々がかこれまで築きあげられ

たもの(運営・事業)を再確認し、推進していきたいと思ひます。(伝承)

3. 鶴城に相応しい事は積極的に取り入れます。(創造)
4. 以上を基に40周年に向かって邁進します。(飛躍)

運営委員会について

1. 鶴城かわら版の充実を図る為、今期も広告を募集したいと思ひます。
2. 新会員の為に指導力・研修委員会を開催したいと思ひます。
3. 長期構想委員会で決定したことは推進していきたいと思ひます。
4. 計画委員会と相談しながら楽しい例会・特別例会を目指したいと思ひます。

事業委員会について

1. 今年は環境問題を主としたサミットが日本で開催されますので、今期も前期同様に植樹をして少しでも環境に良い運動を推進したいと考えています。
2. YCEの派遣生は今年度も我がクラブより1~2名(レオクラブ会員含む)を推薦したいと思ひます。(※今期よりYE→YCEとなりました。)
3. LCIFは視力ファーストIIの継続(5

年間)が有るので、それに充当したいと思ひています。

4. 留学生会との交流を推進したいと思ひます。
5. レオ会員の純増を推進し、青少年育成を目指したいと思ひます。
6. 今期のアクティビティは前期の長期構想委員会で纏められた構想に従い、継続のアクティビティは全て行い、他の会員皆様のご意見を聞きながら予算との兼ね合いを見て実行していきたいと思ひます。

特別委員会について

1. 特別委員会は40周年に向けての準備期間ととらえ、「長期構想委員会」と又、楽しいクラブ、会員相互の親睦を図る為に「レクリエーション委員会」の二つの委員会を設置したいと思ひます。

以上の構想で一年間邁進する決意でいます。何卒、会員各位のご協力、ご支援をお願い致します。

2R・3Z 福岡筑前ライオンズクラブ

会長 L 吉田 重信▶

幹事 L 脇坂 秀市

会計 L 山岡 巖



会長提言 「共生・共育・共学」

会長方針

会員の増強といかに退会者を防止するかが今年度の方針です。

今期会長を拝命し、伝統ある福岡筑前ライオンズクラブの運営責任者として重圧を感じております。

会長提言にもありますように(共に生きる)今年は、オイル高に伴い生活必需品も値上がりしています。

こんな時代こそクラブ会員が力を合わせて共に生き残る事が大切だと思ひます。

(共に育つ)ライオンズクラブは青少年の健全育成を方針の1つに掲げてありますが、まさにそのとおりだと思ひます。

(共に学ぶ)当クラブは昨年「30年のあゆみ」を作成しました。

これをもとにして新会員の研修を行っていただきましたが、非常にわかりやすく学ぶことができたと思ひます。

会員増強が非常に難しい時期ですが、方針でもありますように新会員

のかたに一人でも多く入会していただく為にクラブ会員全員で取り組みます。

例会は出席するのが楽しくなる場所でありたいと願っております。



福岡筑前ライオンズクラブ第733回例会

2R・3Z 福岡赤坂ライオンズクラブ

会長 L 鳥越 朝夫▶

幹事 L 北原 克司

会計 L 平野 拓矢



会長提言 「みんなで考える 奉仕活動」

会長方針

活動のプロセスを大切に全員参加で例会を楽しく

私が福岡赤坂 LC に入会した 10 年前と比べて会員が少なくなり、高齢者の方々と若いメンバーで活動しておりますが、以前は三役等の強力な指導でややもすれば独断的な感じを受けたものですが、近年入会の皆様は大変しっかりした考えを持っておられるように思われます。

これからの奉仕活動について新会員からも提案してもらえるような例会づくりや委員会の開催、また活動のヒントになるような卓話の用意等をし、皆さんと何でも話し合っけて決めていくようなクラブ活動のプロセスを大切に、せっかく意欲を持って入会された人たちの参加意

欲の実現をはかるように努力したいと考えます。

こういった点から、例会は儀式的な要素と報告会としての部分はできる限り簡素化し、月 2 回の例会のあり方（ホテルでの開催、内容、方法等）も見直して、入会希望者や会員が楽しく過ごせる会にする等を考えて、会員間のコミュニケーションを大切にはかることができるように考えていきたいと思ひます。

皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。



2R・3Z 福岡文化ライオンズクラブ

会長 L 黒田 眞二▶

幹事 L 矢根志津子

会計 L 濱田 秀



会長提言 「心に残る奉仕、皆は一人の為に、一人は皆の為に We Serve」

会長指針

1. 他のクラブとの合同例会やゲスト等々を呼んでの賑やかな例会
2. 若い人や女性が入会しやすい環境を整え会員増強を図る
3. つばさ支援事業の拡充を図る

私は福岡文化ライオンズクラブに入会してはや 11 年目にして会長という重職をおおせつかり責任の重さを痛感いたしております。

この 10 年の間、いろいろな奉仕活動に参加して参りました、金銭アクト、労力アクト色々なものがありましたが、私の当初からの課題として社交ダンスを通じて社会に貢献できないものか、そしてライオンズクラブの奉仕活動に役立てることが出来ないものかと模索しながらのライオンズクラブの活動をしてまいりました。そうした中、まず手始めに考えたことが私の所属する教師協会や任意団体を巻き込むこと

によりその教師協会、任意団体が計画する行事をチャリティーイベントとして行うことにより福岡文化ライオンズクラブが 10 周年事業として「夢・未来を子どもたちとともに」をモットーに立ち上げた「つばさ育成奨励会」を幅広く一般の方々にも知って頂こうと計画し実行しました。今ではその教師協会や任意団体が行うイベントのある毎につばさ育成奨励会指定ドネーションという形で実行されております。

そして又、一人でも多くの方々に社交ダンスを通じてこのライオンズクラブの奉仕活動を知って頂く事を目的に社交ダンス同好会を発足いたしました。この同好会はどなたでも参加できる会であり、クラブ同士の垣根をなくしあらゆるライオンズクラブの事業があればダンス同好会として協力参加できるようになることを望んでおります。又、大人だけにはとどまらず「つばさ育成奨励会」に所属している福岡

市乳児院、児童養護施設の子ども達と社交ダンスを通じて音楽を聴くことの楽しさ、体を動かすことの楽しさを知ってもらおう事により青少年育成の面においても役立てていけるのではないかと考えております。

会長提言にもありますように「心に残る奉仕 皆は一人の為に、一人は皆の為に We Serve」をもとに一人が何百、何千と集まれば大きな力となり、たった一人の力でも皆の為に役立てる事が出来ると確信しております。

最後にライオンズクラブの精神である We Serve の掛け声のもと奉仕活動に取り組んで参りたいと思ひます、今後とも皆様の尚一層のご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

2R・3Z 福岡大名ライオンズクラブ

会長 L 岡野 暢徳▶

幹事 L 有田 泰志

会計 L 石橋 康政



会長提言 「調和致祥」

「クラブ『会史』の発行に感動」

結成 25 周年記念行事をめざした計画維持の為、今期の会長を引継ぐ事となり、第 11 代会長より 12 年振りの再登板となりました。

2008 年 2 月、第 22 代会長 L 徳永修一郎は、提言に基づき他に類のない素晴らしい「会史」を発行された事は福岡大名ライオンズクラブの品格を高め、新旧会員の認識を新たにすという偉業を成し遂げました。このことはクラブの安泰を願い、争い事のない運営をはかりたいと考える幹部会員に感動を与えました。

結成以来 22 年間、特別功労名誉会員故 L 梅田敏秀初代会長のご指導により、歴代会長はその功績を継承してきましたが 2006 年クラブ分裂の危機があり、その修復に 2 年の

歳月を費やしました。クラブの半数以上が 3 年以内の新会員で「会史」により過去の事実を知り、身近に感じて仲間意識に目覚め、例会出席率の向上に役立ちました。今期の会長提言は「調和致祥」会員相互の和を保ち、奉仕活動に汗をかき、互いに知恵を出し合って取組み、その喜びを分かち合うことであります。ライオンズクラブの発展は、単一クラブを大切にすることが基本であります。会員は常に平等であり、新会員も伸び伸びと意見を出せる環境づくりが不可欠です。仲間と楽しく語らえるクラブは「会員増強」を求めなくても自発的に招請したくなると思います。しかし、会員増強と退会防止はライオンズクラブの大きな課題です。磐石の目標をたて努力したいと思えます。



2R・3Z 福岡平和ライオンズクラブ

会長 L 実淵 啓二▶

幹事 L 川谷 克義

会計 L 浜田 泰祐



会長提言 『改革』(今一度スマートに生まれ変わろう)

この度、2 度目の会長職を突如仰せつかり、その重要性和重大さを理解して、また新たな気持ちで、「ライオンズクラブとは」を深く考えました。

ライオンズクラブも時の流れと共に変革の時期を迎えている気がします。

ここ最近、マイナス面が先行し、

人員は減り、新会員獲得も活発に実行できてないのが現状だとおもいます。

この状況を踏まえて、私自身、モチベーションを見直して、実行計画を立て、メンバー全員の協力の下に確実に進めていきたいと思っています。そして 25 周年に向けて、盛り上がっていかうと思っています。

す。

〈今期方針〉

1. 会員増強実行計画立案
2. リクルートプロジェクトチーム 結成
3. 毎月のモニター例会の開催

～サブテーマ～

1. すべて楽しく
2. イベントは「派手に」



盲導犬協会支援街頭募金活動風景



チャリティダンスパーティー風景

2R・3Z 福岡黎明ライオンズクラブ

会長 L 穂坂 博史▶

幹事 L 大村 修

会計 L 井上 福男



会長提言 「厳しさと愛」



2R・3Z 福岡ベイシティ21ライオンズクラブ

会長 L 赤司 昭子▶

幹事 L 金堀 博雄

会計 L 岩本 宏憲



会長提言 「絆を強め 楽しく&奉仕」



2R・4Z 若杉福岡ライオンズクラブ

会長 L 佐道 完之▶

幹事 L 藪内アヤ子

会計 L 佐藤 来



会長提言 「楽しい例会 喜びの奉仕」

会長方針

今期クラブ結成 35 周年を迎えますが、対外的な記念式典は執り行わない事となりました。しかしながら、35 期の記念となるような事業が実施できるように会員各位と相談しながら考えていきたいと思ひます。それには多数の例会出席が不可欠で、テール・ツイスタータイムや同伴持ち出し例会を充実させ、楽しい例会を心がけ、結果より良い事業が行えれば、会員各位にとって奉仕することが、喜びへとつながるように努力したいと思ひます。

「前期アクティビティ資金獲得優秀賞を受賞して」

平成 20 年 5 月 28 日（水）久山カントリー倶楽部にてチャリティーゴルフ大会を開催致しました。第

19 回目の大会であり、当クラブの資金獲得の唯一のアクティビティであります。しかしながら、大会登録が 200 名を超える事もありますが、ここ数年は 160～180 名の登録数と相当数の減少となっています。色々な理由が考えられますが、まず当クラブの会員数の減少であり、又高齢化による当クラブの参加者数が少なくなり、非常に苦しいアクティビティになりつつあるのは間違いない事です。協賛金、チャリティーホール等で資金獲得をする訳ですが、収益金は地元の福祉団体に寄付しています。当初は 3 団体で金額も多かったのですが、最近では 2 団体で金額も少なくなっています。それでも先方から大変喜ばれました。これも参加して頂いた皆様のおかげであり心のこもった奉仕が出来た事

を会員一同感謝しております。

今期も資金獲得のチャリティーゴルフ大会を開催する予定で団体の方々も期待しておられる事と思ひますが、更なるクラブの飛躍を願ひ、何か良い方法をチャリティーゴルフ以外のアクティビティでも考えていかなければならないと思ひています。



2R・4Z 壱岐ライオンズクラブ

会長 L 高尾 幸英▶

幹事 L 橋口 壽典

会計 L 常住 義浩



会長提言 「共生」

2008 年度会長を仰せ付かることになりました。二度目の会長経験ということもあり、あまり肩に力を入れず普段着での活動を心がけたいと思ひます。

スローガン

＝共生＝

を掲げさせて頂きました。

仏教の曹洞宗ですが、修証義の中に「同事」という教えがあります。立場が変わると、受け取り方も様々です。家族や友人など他を思いやる事がどんなに難しいか。しかし川の水が海に流れるがごとく分け隔てのない世界が現れるということです。自他共ひとつの世界が思いやり、共に生きる姿となるということです。

会員増強も困難なとき、まず現会員間の友愛と寛容で楽しい魅力あるクラブ運営に努めると共に我々ライオンズクラブの会員が本来日本人として持つ

ている美しい心（品格）を表現し心豊かな人としての模範になりうるよう奉仕活動をしたいと考えております。

壱岐ライオンズクラブは少数ではありますが精鋭でこの一年間努力致しますので、各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

【年間アクティビティ】

★青少年健全育成事業（発足以来の継続事業）

- ・小学生バレーボール大会
- ・小学生ソフトボール大会
- ・少年軟式野球大会
- ・少年剣道大会



2R・4Z 花鶴福岡ライオンズクラブ

会長 L 白川 和大▶

幹事 L 山下知賀子
会計 L 真武 祐一

山下、会長経験のある会計のL.真武と共に全力投球で重責を務めたいと思います。どうぞ、この一年宜しくお願い致します。

会長提言 「30年目の絆」～心を一つに

会長方針

全員との融和と他クラブとの友好

この度、花鶴福岡ライオンズクラブの会長を務める事になり、責務の重大さに身の引き締まる思いがしております。

私共、花鶴福岡ライオンズクラブは、何よりも地域に密着をモットーにチャリティーゴルフ大会、年3回の献血活動、古賀市少年の船への支援、ライオンズ旗争奪少年剣道大会、などいろんな面で地域に根ざした奉仕活動を展開して参りました。

来年 我がクラブは、結成30周年を迎えます。私は今期会長の提言として『30年目の絆』～心を一つに とかかかけておりますが、会員一人ひとりがこころを一つにして力を結集して、初心にかえり30周年記

念式典が成功するようにと念じております。

最後に、本年度、我がクラブ結成以来、初の女性幹事でありませ



古賀市少年の船「海がめの放流」



第30回ライオンズ旗争奪少年剣道大会



第23回チャリティーゴルフ大会



2008.8.18 新宮町共催献血奉仕活動

2R・4Z かすや南ライオンズクラブ

会長 L 尾ノ上順治▶

幹事 L 石田 清二
会計 L 桑原マサエ

会長提言 「類は友を呼ぶ」

会長テーマ

「類は友を呼ぶ」会員相互の融和

クラブの特色

地域に密着した奉仕活動を基本にしています。

アクティビティーとして①博多祇園山笠をもらいうけ、3町の福祉施設及びホール等に展示奉納し、広く町民の皆様にPRしています。

②クラブの重要アクトとして、毎年YE派遣をする事です。

クラブ所在地の中にある、須恵高等学校・宇美商業高等学校の2校に、派遣生の募集を依頼に行きます。

かすや南ライオンズクラブ 第7代会長を拝命し、早1ヶ月が過ぎました。

当クラブは、糟屋郡東部に位置し、志免町・須恵町・宇美町の3町で広報活動、アクティビティーをしてお

ります。

まず、7月山笠奉納事業で始まり、恵比寿流れの舁き山を7月15日早朝に引き取りに行き、志免町は「シーメイト」須恵町は「アザレアホール」宇美町は「うみハピネス」に一年間飾り、今年は須恵町アザレアホールに奉納する事が出来ました。

会員各位、ライオンレディーの皆様のご協力に感謝申し上げます。

8月は納涼例会、能古島沖でのサンセットクルージングが計画され、クラブの目標である会員相互の融和、またライオンレディー等ご家族との更なる親睦を深めたいと思います。

今後は現会員の皆様と

の更なる親交を深め、会員の減少を抑えると共に、ライオンズクラブ会員として、真の奉仕活動、知識の向上と地区の発展、会員の融和精神で会員増強を図りたいと思います。

微力ではありますが、ご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



2R・4Z 宗像ライオンズクラブ

会長 L 薙野多笑子▶

幹事 L 三谷 弘子

会計 L 野口 武志



会長提言 「前進」

会長方針

経験豊かな会員と奉仕の精神に賛同し入会された若い会員との間で、意見交換を通して更なる前進をめざす。会員間の融和と協調を計る。

「地域と共に歩く広報活動」

リーン、リーンと電話の呼音。「学校からの連絡網です。」電話の向こうで何か慌しい様子。

「本日4時に集団下校になりました。各家庭で迎えに来られる方は是非お願いします。」という内容。

何事がおこったのかと思うと、小学校にメールが届き、「下校中の各家庭で迎えに来られる方は是非お願いします。」という内容。何事がおこったのかと思うと、小学校にメールが届き、「下校中の生意気な小学生を殺す。〇〇日に何人、〇〇日に何人、秋葉原みたいに殺す。」という予告だったそうで、学校、警察で緊急体制をとった午後のような。我家に2人の小学生がいるための連絡網であった。後に聞くと大事件にならず、どうも悪戯で終わったらしい。

この町に宗像ライオンズクラブがある。ここは北九州と福岡の丁度中間点にある。昼の人口と夜の人口が違うという純然たるベッドタウンである。ところが、数年前、この静かな地に新聞紙上を賑した出来事があった。人間ではなく、この街を猪が群れをつくって走り回った事で有名になり、遠くにいる友人から「すごい田舎に住んでいるのね。」と笑われた事を思い出した。猪が走る位で大した事件もなく、秋葉原なんて他人事と思っていたのが、現実に関今市民におそいかかってきた。タイミングがいいというか、我が宗像ライオンズクラブでは、悪から子供を守ろうと、下校時に合わせて青色灯パトロー

ルを始めたばかりであった。

一人歩きの児童には歩幅に合わせる様にゆっくり並走してあげたり、巡回して警備員さんからは、小さな事件が以前より随分少なくなったと喜ばれたり、又は、逆に赤色パトロール車から「ありがとう。」と頭を下げられたり、これ程有意義な奉仕活動はないと思う。

その後も、又、落書きで殺人予告があり、今、宗像の市民は「それ、出勤だ。」と言わんばかりの体制ができています。同じ志を持った人々が市民を守ろうと「青色パト」があちこちで走り回っています。「青い眼・赤い眼」が宗像ではキラキラ光り輝いています。



ライオンズ用語解説②

- クラブ** ライオンズクラブは単なる社交クラブでもなく、また慈善団体でもない。各ライオンズクラブは国際協会を構成する一単位で、クラブ会員の力を結集して諸般のアクティビティを実行する社会奉仕団体である。
- クラブ役員** 会長、前会長、副会長（複数）、幹事、会計、ライオン・テマー、テール・ツイスター、会員理事及び全ての理事。ライオン・テマーは、クラブ諸備品の整備、保管、会場設営などの職責がある。クラブによっては例会の司会進行も兼ねる。テール・ツイスターは、例会やその他の会合で種々のアイデアによって会合を盛り上げ、会員間の親睦を図る。会員にファイブ（会員より徴収する金銭）を課す権限が与えられている。その他ドネーション（内祝・弔意・見舞等に対する謝礼その他の意をもって会員が自発的に行う寄付金）にも深く関わっている。
- エクステンション** ライオニズムを拡張するという意味で、具体的には国の内外に新しいクラブを結成することをいう。
- チャーター** 国際理事会は、新たに結成されたクラブを国際協会の一員としてチャーター（認証）し、その証としての認証状を交付する。その認証状伝達式がチャーター・ナイトである。又クラブ結成の際の創立会員はチャーター・メンバーとなる。
- スポンサー** 新会員をクラブに推薦すること。又スポンサークラブとは、新たに結成されたクラブの親クラブの意。
- アクティビティ** ライオンズクラブが、その地域社会等に対して行うあらゆる奉仕活動のこと。
- CSF II（視力ファーストIIキャンペーン）** 2008年から2023年の15年間に渡るライオンズの視力保護事業の為に資金獲得運動。
- YE** 16歳から21歳迄の青少年男女を世界各国のライオンズクラブ間で交換し合い、4～6週間に及ぶ休暇期間をホスト家庭で過ごさせることによって相互理解、国際親善に役立っている。

3R・12 直方ライオンズクラブ

会長 L 藤田 政俊▶

幹事 L 中尾 佳徳
会計 L 斉藤 修一



会長提言 「環境にやさしく・地域にやさしく」

会長方針

1. 未来へ残そう豊かな地球
2. 地域再発見運動の推進
3. 51年目からの変革

今年度計画のアクティビティ

- ・献血事業を昨年度の実績を超える2,000人を目標とする。

- ・事務のペーパーレス化の推進をする。
- ・楽しい例会や、旅行を計画し出席率の向上を図る。

直方クラブの活動の3本柱

1. 様々な憂慮されている地球環境の事柄の改善のために、資源の節約やエコロジーなどささやかですが、一人一人の力を結集して貢献していきます。
2. 地域のかげがえのない人材や文化財などの掘り起こしを行い、地域の未来へ向かっての環境作りを行います。
3. クラブの様々な活動を対外的な広報誌の発行や、ITをフルに活用した情報発信により、多くの人々に理解と支援をいただく啓発に努めます。



7月納涼例会（納涼遊覧船中にて）

3R・12 中間ライオンズクラブ

会長 L 花田 匡英▶

幹事 L 福島 保弘
会計 L 尾仲 龍一



会長提言 「数は力・継続は力・奉仕は愛」

会長方針

会員増強・退会防止

中間ライオンズクラブ第48代会長の花田匡英です。若輩者ですが、会員の皆様の御助力・ご協力で一年間、精一杯頑張る所存です。今年度の会長提言の『数は力・継続は力・奉仕は愛』の中で『数は力』は会員拡大の意味を込めていれました。昨年度の6月の理事会・例会で承認を頂き、新年度より特別委員会として会員拡大プロジェクト委員会を設置しました。この委員会には、会員増強担当委員長と退会防止担当委員長を据えました。その下に副委員長、委員は全会員と中間ライオンズクラブ全員が会員拡大プロジェクトチームとして組織的に取り組み成果を上げたいと考えています。また、今年

度事業として市民の憩いの場である垣生（はぶ）公園の植樹です。

この公園は春になると市内・外から桜を楽しみに大勢の人々が集まるところですが、古木が多く将来を見据えての植樹でこの事業には市内の各種団体に協力を要請し、市内参加型の1つのイベントとして計画しています。一年間を通して楽しいクラブ活動を行う為、例会ではテーブルタイムの充実を計りメタボリックに関する卓話やヨガなども取り入れたいと考えています。来年の

6月に今年度のライオンズクラブは楽しかったと多くの会員の方に思っていただけのように努力します。一年間、よろしくお願ひ申し上げます。



3R・1Z 宮若ライオンズクラブ

会長 L 荒牧 慶一▶

幹事 L 藤井 満伸

会計 L 荒牧 政紀



会長提言 「共鳴・共感・協調」

運営指針

喜びを分かちあえる奉仕活動

本年度は「喜びを分かちあえる奉仕活動」をクラブ運営の指針に掲げ、協調を図り、共鳴・共感のできる奉仕活動を推進いたします。なお、本年度の会員増強は、《入会者15名・クラブ会員数55名達成（6月末40名）》を目標に掲げております。奉仕事業としてのメインは30数年継続しています植樹事業は本年度も継続いたします。

1. 会議所青年部、市内ボランティア団体との交流をはかる。
2. 寄付金・助成金を削減し、事業費支出の見直しを図る。
3. クラブ内の融和を図るための事業・行事を企画し実行する。
4. 奉仕事業を実施する際には必ず

委員会を開催する。

5. 三役会（必要ならば五役・七役会）を毎月開催する。



植樹（自然環境の促進事業）



環境美化、薬害防止等を広報し
犬鳴川下り大会を協賛する

3R・1Z 鞍手ライオンズクラブ

会長 L 楠田 一介▶

幹事 L 神森 正茂

会計 L 宮崎 實男



会長提言 「広げよう奉仕の輪」

会長方針

他団体の交流を深め奉仕の輪を広げる

我がクラブも会員減少が続いている中、少人数でもクラブを活性するにはどうしたらいいか考えております。

ライオンズの「We Serve」は「みんなと一緒に」という意味で、みんながやる気になるには共通意識を作り上げて土台を固める事が重要だと思います。

最も効果的な運営を行っているクラブが、必ずしも規模の大きなクラブとは限りません。つまり量ではなく質が奉仕活動を成功に導き、調和の取れた楽しいクラブを作る鍵となります。

我々メンバーは地域の何に、どれだけの時間と労力を費やすかという事が大事だと思います。

私の提言の「広げよう奉仕の輪」は、クラブが池に石を投げたら水の輪が広がるように、地域の団体、例えば商工

会議所、農協青年部、各中学校、町役場職員組合等に呼びかけて、奉仕活動を広げたいと思います。

ドイツ人 ゲーテのことば

「優しさは、社会をひとつにつなぐ金の鎖である。」

ライオンズ風に言うと、



「奉仕活動は、社会をひとつにつなぐ金の鎖である。」となります。

活動方針

1. 25周年事業の成功
2. 青少年の健全育成
3. 地域への奉仕活動の拡大
4. 会員増強と組織の活性化



3R・2Z 行橋ライオンズクラブ

会長 L 進 澄代▶
 幹事 L 木戸 和昭
 会計 L 小林 進



会長提言 「変化への挑戦」

会長方針

私たちのクラブは今期 50 周年を迎え、その記念すべき年に初の女性会長として就任致しました。クラブにとっても、私にとっても挑戦があります。長きに渡る諸先輩の英知を頂きつつ、時代の流れと共に変化していかなければならないものもあります。女性の視点で元気なクラブ運営をして参りたいと思います。例会は厳粛に、懇親会は楽しくをモットーに致します。

アクティビティ

- * 青少年平和・作文コンテスト開催
 地域の子供達と平和について考え、大人も一緒に体感したいと思えます。
- * 行橋夏祭り「こすもっぺ」参加
 20 周年を迎える祭りに「市民総

おどり」で参加し PR します。

- * 献血推進
 今期 1500 人を目標とし、企業や自衛隊に協力要請し地域密着型で PR も兼ねて活動します。
- * 環境保全



7 月第一例会

EM だんご投入（継続事業）、駅前清掃、「環境保全コンテスト」参加、温暖化防止卓話等計画しています。
 * 9 月 11 日に「チャリティーゴルフ」を開催します。

献血



3R・2Z 田川ライオンズクラブ

会長 L 岩本 秀和▶
 幹事 L 中寺 鴻三
 会計 L 村上 弘治



会長提言 「一人の百歩より百人の一步」

会長方針

- 1) 地域に密着したクラブ活動
- 2) 地域に優しい環境保全
- 3) 青少年の健全育成
- 4) 会員増強と維持
- 5) 薬物乱用防止対策の強化

私たちライオンズは、ウィ・サーブをモットーとして集まった団体であります。

私たちが住む町が、明るく笑い声の間こえる社会になるようにしたいと思います。その為にも、多くの仲間と一緒に手を取り、地域の隅々を照らすようなアクト事業に取り組み、クラブ活性化に努め退会の防止また会員の増強に向かって前進して行きたいと思えます。

《事業計画》

- ① 哀川翔チャリティトークショー（平成 20 年 8 月 24 日）
- ② 献血事業 田川市 武徳殿駐車場…

- 平成 20 年 9 月 18 日
- 平成 21 年 3 月 19 日
- 香春町 なごみの杜…
- 平成 20 年 8 月 11 日
- 平成 20 年 12 月 15 日
- 平成 21 年 3 月 30 日

- ③ 第 9 回田川 LC 旗争奪少年野球大会（平成 20 年 9 月 20 日）
- ④ TAGAWA コールマインフェスティバル（平成 20 年 11 月 1 日～2 日）
- ⑤ 馬山 LC 交流（平成 20 年 12 月）
- ⑥ 薬物乱用ダメ・ゼッタイ運動
- ⑦ 香春町図書贈呈



献血

- ⑧ ライオンズ桜並木（田川市運動公園）
- ⑨ 植樹
- ⑩ 田川市・香春町 全新入学生黄色い帽子贈呈（平成 21 年 4 月）



植樹



田川 LC 旗争奪少年野球大会

3R・2Z 豊前ライオンズクラブ

会長 L 恒成 政生▶

幹事 L 谷崎 勝

会計 L 宮崎 芳憲



会長提言 「和顔愛語で、ウィサーブ!!」

会長方針

- ・楽しい例会
- ・魅力ある奉仕活動
- ・地域に密着した施設設備の充実

にこやかな顔と、優しい言葉の実践こそが奉仕の原点であり会員相互の親睦と友愛を育むことで楽しい例会が維持できると信じています。

昨年度は4名の新入会員を迎えることが出来ましたが、今年度も是非複数名の入会を実現したいと思います。入会して本当に良かったと思えるためにも年齢の差を越えてお互いの得意分野を尊重し合い、思いやりの心で明日の奉仕に向けて努めてまいります。

今年度の基本方針

1. 楽しい例会

移動例会や会員の3分間スピー

チ、ゲスト卓話等を開催し出席率の向上を目指す。

2. 献血運動の推進

今年度も5回の献血運動を予定しており、今回クラブ元会長L・鞘野が65回の快挙を成し遂げ、最多採血者として表彰を検討している。

3. 地域に密着した施設設備の充実

豊前市の中心部に時計塔の設置を検討している。

4. 青少年健全育成

例年豊前市が、プロ野球選手を招

いて行われる「野球教室」に協賛し青少年の健全育成を支援する。

5. 清掃活動

6. 障害者支援活動は例年通り開催する。



献血推進運動



移動例会

3R・2Z 川崎福岡ライオンズクラブ

会長 L 村上 良一▶

幹事 L 丸山 和壽

会計 L 西本 泰博



会長提言 『今こそルネッサンス』45年の歴史と伝統

会長方針

- 1) 上田川の統合とエリアの拡大
- 2) 100%例会の実現
- 3) 地域行政との関わり
- 4) 45周年事業の成功

歴史的に区切りのある時期に会長職を賜り、身の引き締まる思いであります。

私の役目で今期の事業で第一に掲げなければならないのは45周年の披露の成功だと思います。

ただ、盛大に行うというより、先輩諸兄が築き上げた、45周年の歴史と伝統をゾーンレベルで披露したいと考えています。今、ひとつは会員拡大です。

35名前後でなかなか新事業は出来ません。事業予算は継続事業で一杯です。どうしても40名～50名

位が必要と考えます。歴史ある川崎福岡ライオンズクラブの伝統と歴史を守りながら、あえて、上田川の統合とエリア拡大の時期と考えています。

その為のクラブ名の変更を提案します。

クラブ名変更は期首より取り組んで頂き、出来れば45周年式典の場で発表したいと思います。



ライオンズ通りクリーン活動



献血活動

3R・2Z 下田川ライオンズクラブ

会長 L 久富 好幸

会長提言 「感謝・感動・心の奉仕」

幹事 L 辰島 正治

会計 L 久富 義信

会長方針

- ①会員維持・会員増強
- ②活気ある奉仕活動
- ③地域社会への貢献と PR
- ④青少年健全育成活動

クラブ特色として下田川2ヶ町による34名の少数のクラブですが会員年齢が若くまとまりがよく、楽しく例会や奉仕活動が出来ること。

地域における広報活動、アクティビティ

今期10月25日下田川ライオンズクラブ単独による、下田川ライオンズクラブチャリティショーを行います。

(五月みどり、お笑いものまねタレント、日本舞踊など)

チケット¥3,000 - で500枚用

意し利益を地域に寄付する。

下田川ライオンズクラブそしてライオンズクラブを地域の方々に十分PRできると思います。



3R・2Z 苅田ライオンズクラブ

会長 L 村上 純孝▶

会長提言 「深めよう絆、伝えよう奉仕の心」

幹事 L 川原 実徳

会計 L 小川 久典



会長方針

- ・地域と共に歩む奉仕
- ・青少年の健全育成
- ・クラブの活性化と会員間の交流を深めよう

今は、どこのクラブでも同様の課題ですが、当苅田ライオンズクラブでも、どうすれば例会の出席者を増やし、退会者を出さず、新規会員を入れるかという大きな問題をかかえています。それには、まず、趣味や事業などの交流を通じ、お互い会員としての絆を深め、皆が楽しみながら地域社会に奉仕していけるような雰囲気づくりをしたいと思っています。そして例会も、会員諸兄の参加する機会を出来るだけ多く作るために、昼の例会と夜の例会を取り入れ、夜の例会には2次会までセットし、

より深く親睦が図れるようにしていきたいと思っています。そうすれば、事業活動にも、会員同士お互いに、より協力し合えるようになるのではないのでしょうか。

今期はライオン・テマー、テール・ツイスターに入会2年目の若い女性会員になっていただき、例会も華やいだものになってまいりました。

ライオンレディの方々にも、イベント、事業などを通じ、出来るだけ多くの参加の機会をつくり、華のある楽しいクラブにしていきたいと思っています。

主な奉仕活動としては、献血奉仕やアルミ缶のプルタブ収集、古新聞の収集などを通じ、地域社会と一体となった活動を心掛けていきたいと思っています。



7月七夕例会の風景

3R・3Z 山田ライオンズクラブ

会長 L 宮原 由光▶

幹事 L 大塚 秀樹

会計 L 田中 渉



会長提言 「思いやりの心で奉仕活動」

会長方針

1. 会員の増強、目標として40名以上確保すること。
2. アイバンク協会にクラブで登録すること。
3. 愛の献血、採血人数を当クラブ過去最高410名を上回る500名を目指すこと。
4. 継続事業、ホタルの里作りをすること。
5. 当クラブが植樹したところの維持管理をすること。
6. 地域の幹線道路等のゴミ拾いを月1回すること。

当クラブは、1960年に北九州クラブのスポンサーで発足し、今年は結成48期目になります。

2年後の50周年記念事業に向け、特別委員会を設け式典等の準備を今年度から進めていき、よりよい周年行事が行えるようにしたい。

会員増強については、近年退会や入会を繰り返し36から38名と定着する中、クラブ維持を考えると50名位いればクラブとして安定した運営ができると先輩達

のアドバイスを頂き、今年度はとりあえず40名以上確保することを目指したい。

私は、2006年に日本アイバンク協会認定サポーターに幹事と一緒に認定され、昨年度役員も認定される中、当クラブは、献眼運動が発足した当初大半の会員が登録した経緯があり、その掘り起こしとクラブとして全員の登録を目指していきたい。

献血奉仕活動については、年2回実施しているが、6月実施の献血参加者が200名であったので、今年度は、当クラブ過去最高410名を上回る500名を目指していきたい。

継続事業の「ホタルの里作り」については、昨年度ようやく多くのホタルを確認でき喜びに浸っているところであります。

今年度は地元地域の皆様と一緒に「蛭まつり実行委員会」を立ち上げ地域の皆様と街作りに貢献していきたい。

当クラブが植樹した場所の確認と草取り等の維持管理及び幹線道路等のゴミを月1回実施し、地域の皆様と一緒に街の美化運動につなげていきたい。

以上のことを会長方針として掲げましたけれど、何分にも入会して4年目でありながら、私は今年度の会長を仰せつかり、何をすればよいのか不安でなりません。

会員皆様からの暖かいアドバイスを頂き、勉強と思い職務を全うしてまいりますので、どうかよろしくお願い致します。



ゴヒナ取り作業



献血

3R・3Z 飯塚ライオンズクラブ

会長 L 坂口 裕幸▶

幹事 L 林田 博貴

会計 L 阿部 敬次



会長提言 「獅子の真価」

飯塚ライオンズクラブは、122名のメンバーを有し、二年後には50周年の節目を迎える伝統あるクラブです。今日まで地域に対して、様々な奉仕活動を提供してまいりましたが、時代の流れの中で、ボランティア活動も様変わりしています。各分野で専門的知識を持ったボランティア団体が社会的弱者をしっかりとサポートしている現状があります。言い換えればライオンズの奉仕活動の場が縮小してきていると認識しなければならないと考えます。と同時に地域社会で注目を浴びる事業が出来ているのかを検証する時がきていると思います。

今期飯塚ライオンズクラブは、「獅子の真価」を会長提言とし、運営と事業の見直しを図り実践しております。ロバート議事法を用いた会議、

献血事業の新たな手法の実践、新規事業では、「チャリティーボウリング大会」を2ヶ月間開催し、ライオンズのPRも兼ねた試みを行っております。

いずれにしても、今期一年は地域

におけるライオンズの存在価値を検証し、再構築することをメンバー共通の課題として、極めて道徳的且つ発展的なクラブを目指すことを重点目標として邁進しております。



3R・3Z 稲築ライオンズクラブ

会長 L 永水 恭典▶

幹事 L 桜井 雅子

会計 L 西川 良二



会長提言 「郷土愛・奉仕愛・家族愛」

会長方針

会員相互の親睦を深め、研修等を実施することにより、視野を広め資質の向上及び士気の高揚を図り、クラブ運営の充実、安定の為の努力として会員の増員と更なる奉仕活動の推進に資するよう目指します。

稲築ライオンズクラブは「地域に密着した奉仕」を念頭においての継続事業を主としている。

下記掲載のアクティビティは 8/3 (日) に挙行了した戦没者遺族会との合同事業である。



LC を代表して忠魂碑前祭壇に戦没者の英霊に冥福を祈る会長 L. 永水恭典

「忠魂碑及び稲築L, Ls 花壇周辺清掃作業」

2008年8月3日(日)



忠魂碑周辺に造った稲築L, Ls 花壇を清掃する会員等



作業後、住職・戦没者遺族・ライオンズ会員と一緒にのスナップ写真。今年も良い「お盆」が迎えられそうです。

3R・3Z 嘉穂ライオンズクラブ

会長 L 江藤 政勝▶

幹事 L 羽井 修二

会計 L 山下 信治



会長提言 「明るく奉仕」

会長方針

嘉穂ライオンズクラブも例外にもれず会員が減りつづけています。今年は、いかに退会を出さずに行くかが最大のテーマとされておりま。そこで提言として、「明るく奉仕」とさせていただきます。和気あいあいとして会を明るく運営していきたいと思ひます。そうすれば会

員増強にも繋がって行くと思ひてい

今年度の事業としては、愛の献血、遠賀川源流の地元としての取り組み、コスモス・紫陽花村の支援等、又、空きカン拾いをして参りますのでご協力の程宜しくお願い致します。



3R・3Z 穂波ライオンズクラブ

会長 L 東小野邦弘▶



幹事 L 城石 恒紀

会計 L 諫山 武美

会長提言 「一味同心・そして・We Serve!!」

会長方針

1. 会員増強並びに退会防止
2. 出席率の向上
3. クラブのPRの推進

化して行くと思います。

この一年間、会員が心ひとつにして奉仕活動をやっていきたいと思えます。

当クラブは、毎月各1回薬害防止キャンペーン及び交通指導キャンペーンを広報車にて穂波地区を巡回して居ます。

例会では毎回初めに握手タイム。終わりに30秒体操等を行って会員同志の和の向上になる様行っています。又、第一例会には誕生日のお祝いとして食事券を贈っておりますが家族の方から大変好評の様です。

クラブのPRの推進として積極的に社会奉仕に精進して、地域の方にライオンズクラブの名称を今以上に認識及び理解を高めて行けば会員増強へとつながり、又、クラブも活性



2008年7月12日
誕生日お祝い(食事券)



2008年7月12日
薬害防止街頭キャンペーン広報活動(ライオン号)

3R・3Z 桂川ライオンズクラブ

会長 L 中嶋 政信▶



幹事 L 大塚 盛利

会計 L 神崎 一洋

会長提言 1. 会員増強 2. 地域に密着した奉仕活動

2008年7月より2009年6月までの間、桂川ライオンズクラブ29代目会長に就任する事に成り、二度目の会長とはいえ身に引き締まる思いでいっぱいです。28年前42名の

チャーターメンバーで結成されました。現在では、28名3分の1名程の会員減となり、何かとクラブ運営にも支障をきたしております。今期は、何が何でも会員増強しかありま

せん。会員一丸となりこの危機を乗り越え地域に根ざした活動を行っていきます。



3R・3Z 筑穂ライオンズクラブ

会長 L 貞島 忠道▶

幹事 L 長岡 寛二

会計 L 奈良迫 忠



会長提言 「愛の奉仕を故郷へ」

私達筑穂 LC は旧筑穂町の素晴らしい自然と歴史的資産を多数抱える地域に存在します。

本年度の主な事業は地域が誇る特産品「筑前茜染」を保存し育成する事を目標の据え、地元有志と共に「筑前茜染保存会」が発足し、その染色方法などを学び、支援して故郷再生と位置付けて活動しています。

長崎街道の筑前六宿の飯塚宿で近來「伊藤伝右衛門邸」は脚光を浴びておりますが、当「内野宿」も旧宿場町並保存、伝統郷土料理の知覚を通しての故郷再生活活性化の一環としてライオンズとしての意義を体言する存在でありたいと思います。

小クラブ故の限られた予算の中での奉仕活動は一点集中事業、一点豪華になるのは止む得ないと割り切り実行するべきと思います。

地域の皆様のお陰で今年 25 周年を迎えるまでに成長させて頂きました。育てて頂いたこの地域に奉仕させて頂くという謙虚な気持ちで更に一層努力を重ねながら奉仕活動に邁進していきたいと思ひます。

幸いな事に当クラブには一騎当千の仲間が多数居ます。

まずこの歴史的にも自然的にも誇るべき故郷の地に愛情込めた奉仕を継続しながら親の恩、故郷への恩、ご先祖様の恩に気付かせて頂き、今まで生を受けた恩返し奉仕活動を通じて人間として本当に生きる道を探っていきたくと思ひます。

ご期待下さい



3R・3Z 庄内ライオンズクラブ

会長 L 玉井 敬一▶

幹事 L 神崎陸奥夫

会計 L 笹栗 稔宏



会長提言 「責任と実行」

花と緑の街づくり庄内
一通学路花壇の整備作業を通して一

2007 - 2008 年度の活動目標の一つに「花と緑の街づくり庄内」を掲げていました。庄内の中心部を通過する、新設工事の国道 200 号バイパス沿いに「春は花、秋は紅葉」を植樹する計画でしたが、国交省へのボランティアサポート申請に手間取っていたころ、飯塚市役所庄内支所から、庄内小学校前の通学道路花壇の整備作業に力を貸していただきたいとの要請を受けました。四月の理事会・例会での承認を得て、クラブ三役は学校に向き、校長 森隆先生と協議、生活体験学習の一環として児童の参加を快諾していただきました。具体的作業の経過は以下の通りであります。

(1) 準備作業 6月5日(木) 10時～11時

ライオンズ 14名、5年生児童 9名参加、残渣・雑草除去、土耕、施肥、整地を行いました。

(2) 植付作業 6月13日(金) 10時～12時

ライオンズ 15名、地元ボランティア 20数名、5年生児童全員参加。11の区域

に分け、庄内クラブは下から三区域を受け持ちました。小学生は配置図を用意しており、効率よく、孫と祖父の如く和気あいあいのうちに作業は進みました。

(3) 除草作業 7月28日(月) 6時30分～7時



6月5日(木) 準備作業：薄日射す中で残渣や雑草抜き取り作業中の庄内小の5年生とライオン



6月13日(金) 庄内小学校校庭にて、5年生児童の前に「一緒に花苗を植えましょう」と作業前の挨拶をするL・柴田多平太(左)と見守るL・玉井敬一(右)

ライオンズ 11名参加

まもなく学校は2学期を迎えます。花壇いっぱい彩りも鮮やかに咲き誇る花々は、登下校の児童を優しく見守ってくれる事だと思ひます。



6月13日花苗の植付作業(ポットから苗を抜きすばやく根を土の中に、みるみる作業は進んでいく)

3R・3Z 飯塚竜王ライオンズクラブ

会長 L 高木 信雄▶

幹事 L 吉田鹿之助

会計 L 藤井 典彰



会長提言 「信頼」

この度は、飯塚竜王ライオンズクラブの会長推薦を受け、有難くお受け致しました。

私は会長提言として、「信頼」を掲げ会員全員を信頼してクラブ運営に当たりたいと思っています。3R3Zの中で一番若いクラブですが今期ZCの誕生は我がクラブの名誉と思っています。

今迄、先輩方のお骨折りで築かれた、各種行事や献血、餅つき、チャリティーオークションなど、より一層発展させた

いと思っております。

この為に、各役員、委員長はじめ会員各位の絶大なご協力をお願い致します。

また会員増強も課題として大きく取り上げたいと思っております。

これより一年間クラブ運営地域社会への奉仕へと頑張っていく所存でございます。

会員の皆様の暖かいご指導ご鞭撻御協力の程宜しくお願い致します。



竜王クラブ旗授与



餃子製作中



中国領事館に留学生代表とクラブ3役で売上げ金持参



子供山笠審査

ロバート議事法

(提出された問題に対して、ある一定の方向或いは結論を示す。)

■ 概要

1876年にアメリカ陸軍のヘンリー・ロバート将軍が英米議会の運営規則を基に民間団体に適応できる。会議運営のルールブックとして作成したのが、ロバート・ルールズ・オブ・オーダーである。

日本には、1956年、服部礼次郎氏によって導入された。

現在では、国連を始めとする多くの公式会議で採用され、以下を配慮して成立している。

1. 多数者の権利
2. 少数者の権利
3. 個人の権利
4. 不在者の権利

■ 手法

議題の進行順序は以下となっている。

1. 議案の提案
 2. 議案に対する質問
 3. 討議に入る
 4. 修正又は再修正があれば討議に入る
 5. 議長判断によって採決に入る
- 又、会議中の発言は下記の3つに分けられ、発言の際はこの3種類の区別を明確にしなければならない。

・動議・意見・質問

特に動議の際には何の動議を提出するのかわかせる必要がある。よく使われる代表的な動議には、以下がある。

- ・修正動議・採決要求動議・休憩動議
- ・棚上げ動議

■ 効果

スムーズな問題解決の会議が期待できる。

■ 所要時間

2時間以内

■ 参加人数

50名程度が理想

■ 注意点

議事法を活用していく上で次の4つの原則があげられる。

1. 一時一件の原則
 2. 一時不再議の原則
- 一つの事で議決を得た場合は、それを蒸し返して再度議論をしないという議会運営の基礎です。
3. 多数決の原則
 4. 定足数の原則
- 会議で必要と思われる発言のルールは次のようなものがある。

1. 議長に発言許可権があり、議長の指名に従って発言しなければならない。
2. 動議提出者は最初に発言する権利を有する。
3. 各構成員は同一議題について2回発言することができ、10分を超えて発言することはできない。
4. 議長は討議の際、各方面にわたって

交互に発言が行われるように努力しなければならない。

5. 発言は検討中の議題の内容に関するものに限られる。

■ 会議を成功させる為の6項目

1. 1つの議題で同じ意見を2度言わない。
2. 協議事項について提案者は提案理由を説明する。(前準備の完璧を期す)
3. 1回の発言は3~5分スピーチにまとめる心掛けをもつ。
4. 討議の場では意見であるか、質問であるか、動議であるかをまずはっきり言う。
5. 賛否を採決する場合は過半数とする、但し特に重要な問題、あるいは前に採用されたものの修正には2/3の賛成を必要とする。
6. 賛否同数は議長の決裁とする。



4R・1Z 福岡ライオンズクラブ

会長 L 竹田 奉正▶

幹事 L 関戸 秀子

会計 L 中村 幸久



会長提言 「信頼と友愛」

会長方針

会員の減少を阻止し増強を図る

福岡ライオンズクラブの54期の会長を拝命いたしました竹田奉正と申します。

歴史のある福岡ライオンズクラブの会長になり身に余る光栄と会長職を全う出来るのか不安が多くあります。

しかしながら、会長職を引き受けたからには何としても会員を含め、他のライオンズクラブの方々にご迷惑を掛けないよう頑張る所存です。

今年度の課題は当クラブを始め他のクラブの共通の問題でもあると思われる会員の減少を阻止し増強を図る事と致しました。

我がクラブは過去にない40名を切る会員数となり従来の年間事業計画を遂行できない状況になりつつあります。

ガソリンの高騰に始まり食料品など生活必需品の値上げが相次ぎ経済情勢は悪化している中で会員の負担金がこれ以上

増加することはどうしても避けなければならないと思います。この課題は簡単ではないと十分認識をしていますが会員を挙げて取り組んでいきます。

今期のアクティビティは継続事業で年少少女俳句表彰式、盲導犬協会への寄付、昨年度から実施しているミャンマー孤児教育施設支援活動が掲げられます。さらにミャンマーへ救急車の贈与を実施致しました。今後も各クラブとタイアップした街頭献血などの事業を推進してまいります。

最近のニュースは親子、兄弟、近隣住民とのコミュニケーション不足による人間同志の関係が崩れ、以前では考えられない親、子の殺人や関係の無い人の無作為の殺人事件ばかりで日本は今後どうなるのか先が思いやられる時代になりました。

世の中の風潮とした自分だけよければ良いと思うことからそうさせているような気がします。

もちろん、そのような環境にしたこと

は我々の責任でもあると思います。

私は親を思う気持ち、子を育てる思い、よき友達を得る、他人を労わること、先生を敬う気持ちなどの教育が必要と感じています。

育成の資金提供だけでなく従来と異なる子供達と会話をする機会を持つなどの青少年の健全育成活動をしていくことも考える時期と思います。

当クラブも色々な機会を通じて子供達の育成の事業を展開していけば少しでも寄与できるものと信じています。

ライオンズの会員の皆様と一緒に推進していきたいと思っております。

そのような気持ちを込めて会長提言は会員相互の信頼と友愛を深めるとして「信頼と友愛」と致しました。

全ライオンズクラブのますますの発展と会員の皆様の健勝とご活躍を祈念申し上げます。

4R・1Z 福岡第一ライオンズクラブ

会長 L 藤川 正幸▶

幹事 L 難波光太郎

会計 L 森寶 修司



会長提言 「愉しく健康で社会奉仕」

会長方針

クラブ運営はあくまでボランティアでの社会奉仕であるから長続きするようそれぞれのライオンが健康で愉しく運営することに心がける方針です。

私たちのクラブは現在63名、本年5月には30周年記念事業を盛会のうちに終了しました。

今期の会長方針は「愉しく健康で社会奉仕」ということで、スローガンに沿う運営を心がけて参ります。愉快の「愉しい」というのは、楽の「楽しい」というよりも少し深い意味があるようです。「心が和らぐ・健やか」という癒しの精神が字に込められているように思います。本クラブも平均年齢が64歳とかなり高齢化してきました。私たちは毎日齢を重

ねます。今日が一番若い日です。「健康第一」と心得て、一日一日を健やかに大切にしていきたいものです。

私たち三役は入会して20年以上の年月が経過しました。他の多くのベテランや新入会員もLCメンバーとして、ともに社会奉仕の大儀に貢献できる仲間ありがたいものです。お互いを尊重し、助け合いながら毎回愉しい例会にしていきたい、と念願しています。なお、メンバーは、それぞれが立派な社会人でありますから、例会内では上下の差もありません。加入期間の長短はあっても、お互い尊重しあって会の運営にご協力をお願いしています。すでに今期は、継続事業としてのチャリティ野球観戦、納涼例会での地引綱、うなぎつかみ、花火大会、スイカ割り等、和白白松園の園児の皆さんと

楽しい時間を過ごしました。今期1年間、各会員の皆様と手を携えてともどもに「福岡第一ライオンズ」としての社会奉仕にまい進していく所存です。



4R・1Z 福岡リバティライオンズクラブ

会長 L 土路生信行▶

幹事 L 松原 勉

会計 L 高野 宏



会長提言 「ほがらか」 ～ Hogaraka ～

会長方針

できることから始めよう

今期、福岡リバティ LC の会長をさせて頂くことになりました土路生信行（とろぶのぶゆき）と申します。

私は平成2年6月に福岡中央 LC に入会し10年が過ぎた頃、当時福岡中央 LC の幹事をさせて頂いておりましたが福岡リバティ LC の幹事さんより声をかけられ、翌年福岡リバティ LC に転籍し、現在に至ります。

福岡リバティ LC は現在会員数15名で日本の LC の中でも小さなクラブだと思います。

例会は毎月第2、第4火曜日にリッツ5会場で行っており、メイク・アップは10人弱です。また、理事メンバーと例会メンバーがほとんど

同じですが WE SERVE をモットーに、我々にできることから始めよう、という精神で奉仕活動を行っております。主な活動内容としましては、オイスカの支援、やすらぎ荘募金、チャリティコンサート、献血、街や海岸の清掃、古切手の収集等です。昨年はマレーシアより留学生を迎え、ホームステイ先の会員宅にて日本の文化、生活に触れてもらうこ

とで留学生が日本を知り、又、私共といたしましても異国を知るよいきっかけになりました。

今後は他の LC の例会に参加させて頂くなど、もっと活動の場を広げられたら、と考えております。

そして提言にも掲げましたように『ほがらか』をモットーにこれからも活動していきたいと思ひます。



4R・1Z 福岡くしだライオンズクラブ

会長 L 永井 克憲▶

幹事 L 古川 隆

会計 L 津田 芳文



会長提言 「Happy くしだ」

今期、我が「福岡くしだライオンズクラブ」は、設立25周年を迎えます。

会長提言は「Happy くしだ」。見ても通り、みんなで明るく・楽しく、絆をより強くし、我がクラブを盛り立てて行きたいと思ひ掲げました。

我がクラブは博多総鎮守府櫛田神社

を活動の拠点にして、博多の伝統・文化を継承するための奉仕活動（山笠追い山ならし招待、子供柔道・相撲大会支援、大相撲九州場所招待、子供かるた大会支援、囲碁大会、櫛田神社春期大祭茶会等）を主に子供対象に行っております。毎回、子供たちのキラキラ

した瞳に会員一同癒されながら楽しくアクティビティを行っております。

これからも、提言に掲げた「Happy くしだ」を胸に、クラブ会員同士仲良く・明るく・楽しく地域に密着した奉仕活動を続けていきたいと思ひます。



相撲大会



かるた大会

4R・1Z 福岡鴻臚館ライオンズクラブ

会長 L 松尾 長門▶

幹事 L 阿部 憲三
会計 L 小川喜久雄



会長提言 「会員相互間の融和と奉仕活動に意欲と情熱を」

会長方針

- ①会員増強に努力する。
- ②例会の出席率を向上させるため、積極的にゲストの招聘・合同例会を取り入れ特別例会に趣向を凝らしたい。
- ③新しい奉仕活動に取り組む。

我がクラブは来年度結成 20 年の節目を迎えますが、2 年前のエクステンションによる 9 名の転籍者、物故者があり、これ以上の会員減少はクラブの財政基盤を根底から揺るがす事になりかねないと懸念しているところです。

ライオンズを真に理解できる資質を持った人を新会員として迎えるべきで安易に会員獲得に走ってはならないと思いますが安定基盤を築く為会員増強に特に力を入れねばと思

います。また、退会者への歯止めともなる例会出席率の向上を図るため明るく楽しく参加できる例会となる様会員相互間の親睦の場も増やしなが融和を図っていききたいと思います。例会ゲストとしては様々な分野での専門家の卓話に加え肩の凝らない楽しいお話の出来る方の招聘と合同例会の開催も考えています。

現在クラブの継続単独アクトとして海浜清掃、オイスカ研修センターへの支援、大相撲九州場所へ小学生の招待などあり更に青少年育成事業の一環として第 18 回目となる幼児相撲大会を多数の団体・企業の後援、協賛も頂きながら日本国技振興会と共同主催しています。

今期は奉仕活動資金の獲得も視野に入れながら新しい奉仕活動を計画、クラブ活性化の一因となればと

願っています。

単独が原因である奉仕活動も、成果が上がる様であれば友好的なクラブとの協同アクトも考えているところです。

4R・1Z 福岡城南ライオンズクラブ

会長 L 井手 雅人▶

幹事 L 濱 真二郎
会計 L 熊本 祐治



会長提言 「友愛」

会長方針

- 一. 全員参加の奉仕活動
- 二. 会員増強

私たちの城南ライオンズクラブは、今期で 4 年目のクラブです。

会員数 20 名でスタートしたましました。現在も 20 名で活動しています。新しい会員が多くライオンズ活動

を理解していただくため、例会、奉仕活動等全員参加を呼びかけております。出席率 80%~100%です。

例会では、全員一言発言していただくように時間を取っています。

発言内容は、自由で「趣味」「ライオンズの事での質問」「社会問題」「家庭の事」等多彩に渡り発言されています。又、他会員より一言に対

し質問等も出るようになり、いっそう親密な関係が保たれているようになってきました。

非常に嬉しい事だと思っています。

今期は、会長提言として「友愛」をあげています。ライオンズ活動が楽しく意味深いものになりますように願っています。



博多どんたく道案内と清掃活動



玄界島島民と中津江村村民との交流大相撲招待

4R・2Z 福岡中央ライオンズクラブ

会長 L 曾根田 馨▶

幹事 L 大西 宏治

会計 L 山崎 幸徳



会長提言 「原点回帰」

45年間の長きに亘る「福岡中央ライオンズクラブ」にて、来期46期の会長を拝命するにあたって、ここに来期会長方針を発表いたします。「原点回帰」です。

この会長方針は伝統ある福岡中央ライオンズクラブにおいても、各先輩ライオンの生き方・考え方が、時代とともに変化してきたと感じます。チャーターメンバーの「奉仕の心」をここで強く思い出し、「奉仕とは何か?」「例会参加とは何か?」と、アナログからデジタルへと時代は変化しても「人の心」は変わってはいけないと思います。各ライオン同士が連絡を取り合い、支援し援助して、「この中央ライオンズクラブに入会して善かった。」「こんな自分でも奉仕・援助が出来るんだ」と改心し、人の温かみがあるライオンズ

クラブにしたいと考えております。時には会長として意地を張るとき・注意するときもあります。しかしそれは、先輩ライオン達が、脈々と作り上げてきた「中央ライオンズクラブの伝統」を汚したく無いからです。私も過去何回も注意されました。しかし自分はこの中央ライオンズクラブに入り「人間としてのマナーを勉強しているんだ」と思い直してみると、腹も立ちません。観念をすて、前向きに肯定的に思いやり・温かみのあるクラブへと成長させていきたいと考えております。どうか皆様ご支援・ご鞭撻をお願いいたしまして、方針挨拶といたします。



4R・2Z 福岡南ライオンズクラブ

会長 L 伊藤 興次▶

幹事 L 小西栄一郎

会計 L 富下 雅史



会長提言 「獅子奮迅」

会長方針

奉仕の和を楽しむ

第44代の会長を務めます伊藤と申します。宜しく願い申し上げます!

提言につきましては、苦慮しましたが、44(シシ)と読み替えて四文字熟語で表現致しました。

今期の例会は出来るだけ夜間も取り入れ、出席を促しながら「会員による卓話」や「クラブ内研修会」を実施し、ベテランライオンを軸に少ない中堅及び若いライオンの協力を得て、来るべき50周年に向けたライオンズクラブに発展していけるように和やかで活気のある雰囲気クラブ運営に努めたいと思っています。

又、事業につきましても、奉仕

活動を積極的に行い、事業資金はドネーションに頼らず、チャリティゴルフ等を企画し、収益を図りながら、仲間意識を育て、友好を深め、会員の結束につなげたいと思っておりますので、協力をお願い致します。

特に、わがクラブは「青少年育成」に力を注いでまいっておりますので、今期のアクトも海づり公園での“聾学校の親子つり大会”を始め、美和台JSC15周年記念大会の協賛及び例年通りの継続アクトも行います。

そして、来期は45周年の節目を迎えますので、LCIFの資金活用を申請して盛り上げてまいりたいと考えております。

一年間、会長を楽しませて頂きます。Thank you!



4R・2Z 福岡ふようライオンズクラブ

会長 L 山崎 隆治▶
幹事 L 長坂 慎一
会計 L 樋口 健二



会長提言 「奉仕への共鳴」

会長方針

楽しい例会
地域に根差した活動

会長提言として「奉仕への共鳴」を掲げました。個性豊かな会員の心向きは当然ながら社会奉仕にある、という思いからです。当たり前前の提言ではありますが、奉仕行為には共鳴、感動が伴ってこそ、心を一つにすることができるかと確信しています。そのためにも「何に奉仕するのか」「納得できる貢献事業はなにか」が問われています。

幸い諸先輩が築き上げたアクティビティの継承があります。国際奉仕の視力ファースト運動はもちろん、地域社会への奉仕としては献血活動をはじめ、かち歩き大会や福岡市中央区パーロン大会への支援などで

す。パーロン大会は今年10周年ということで、当会員によるチームを編成、子どもにまじって競技に参加することにしました。初めての挑戦です。

入会5年程度の小生が感じる当クラブの風は、和を尊び、それでいて、自由でおおらか、ちょっぴり粗野、という素人には心地よい肌触りです。これに「地域との協創」が時折、旋風となって表れれば、最高ではないでしょうか。例えば浄財集め。会員だけに頼らず、もっと、もっと地域に溶け込み、一般市民を巻き込むような募金の工夫、そんな支援事業ができないか、今期執行部に課せられた最大のテーマであります。

「奉仕への共鳴」一地域に根差した新たなアクトづくりに向けて模索の日々が続いています。



4R・2Z 福岡天神ライオンズクラブ

会長 L 納戸 敬子▶
幹事 L 香月 征男
会計 L 深澤 正昭



会長提言 「ステップ バイ ステップ」

この度天神ライオンズクラブ会長に就任いたしました。

来年で創立30周年を迎える我福岡天神ライオンズクラブには大先輩の白寿を迎えられた井手ライオンを筆頭に経験豊かな会員の皆様が多くいらっしゃいます。多くの方々の意見を聞きながら一歩一歩着実に前進して「楽しく」「活気ある」例会に持って行きたいと思っています。

私自身入会9年目、最近はライオンズ必携、用語の達人を肌身放さず持ち

歩く様になりました。

当クラブは女性会員が4人います。女性ならではの出来ない奉仕活動、運営等々も行っていきたくと思っています。

その為には会員1人1人の協力が必要です。「step by step」の精神で1年間の任期を微力ながら全うさせて頂く所存です。

年間の努力目標

・委員会を中心に話し合う

当クラブは9の委員会から構成して

いるので各委員長を中心に事を運ぶ。

理事会の前に執行部の五役会を毎月行う。

- ・出席率の向上
年1回100%例会を行う。魅力ある卓話を行う。
- ・会員の増強(目標 5名)
- ・天神花壇を毎月見守る。地域密着の奉仕として重要視する。
- ・事業資金獲得の為、チャリティゴルフ、ボウリング大会
- ・障害者への支援



4R・2Z 博多リバティライオンズクラブ

会長 L 河野 一雄▶

幹事 L 大麻 三夫

会計 L 藤崎 雄二



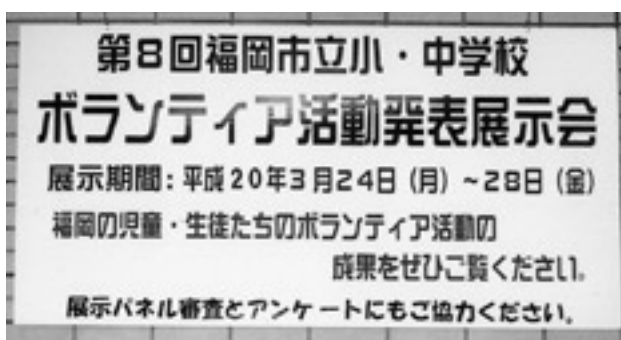
会長提言 「情熱」

博多リバティライオンズクラブは前期に10周年を迎え、11年目の新たな道へと踏み出しました。今期は「情熱」を会長提言とし、これまで10年間活動をしてきたアクティビティの更なる充実へ会員ひとりひとりが情熱を持って取り組んで行こうと考えています。

皆様が御存知の通り、ライオンズクラブは「社会奉仕」を行うことを目的として設立されています。当クラブでは、地域に密着した奉仕活動の実施を目指しており、最大の奉仕活動として毎年3月下旬に「福岡市立小・中学校ボランティア活動パネル展」を実施しています。これは、

児童・生徒へ早くからボランティアへの関心を持ってもらい、ボランティア意識の向上と普及に努めることを目的としています。

また、今期は新会員の増強を図り、活動を活発化できるよう、会長として責務を果たしたいと考えています。



4R・3Z 福岡博多ライオンズクラブ

会長 L 田中 則雄▶

幹事 L 中嶋 厚

会計 L 山口 雅司



会長方針

福岡博多ライオンズクラブの伝統を継承し、全会員が協力し、創造的な発想で地域社会と共に活性化された楽しいクラブ運営を行いたい。

「福岡博多 LC 丸船出に思う」

この度当クラブの第44代会長を務めさせていただくことになりました。L原ガバナーの提言であります「愛」と当クラブの運営方針、そしてライオンズクラブ必携を基に1年間任務を全うすることができますように精一杯頑張る覚悟であります。

当クラブはここ数年会員減少の状況にあります。特に前期は多数の会員減になりました。この状況を真剣に受け止めて是非とも今期は全会員が一丸となり協力により増員と云う結果でありたいと決意を新たにす

おります。ライオンズのモットーであります、奉仕活動については当クラブの活動を継承して行きますが、新たな奉仕活動（労働）例えば現在世界中で問題になっております、地球温暖化対策推進のためにどんなことができるかを探り、地域社会と一体となって取り組んで行きたいと思っています。

例会についても常に例会に出席したくなるような気配り・心配りを忘れず、いつも謙虚な態度でお互の人格を認め合い、平等な発言を保障するようにしなければならないと思うし、古い会員も、新しい会員も楽しくコミュニケーションの場が出来るようにしたいものです。これが楽しい例会であり会員増強に結びつくものと信じます。

我々ライオンズは豊かな心で交わ

り、世の中の多くの「愛」に感謝を捧げ、互に生活している事を忘れず、地域社会に大いに貢献し感動ある楽しい思い出を作る、例会・奉仕そんなライオンズライフでありたいと思っています。

どうかよろしくご指導お願い致します。

4R・3Z 福岡博多東ライオンズクラブ

会長 L 松尾 剛▶
幹事 L 大島 実
会計 L 柴田 擴志



会長提言 「豊かな心で“奉仕のまこと”そして人生に感動を！」

福岡博多東ライオンズクラブでは、10年前よりネパール・ニルマルポカリ村と言う山村に学校を建設し、その運営に携わってまいりました。

とかく海外におけるライオンズクラブの学校建設アクトは、箱を作ればそれで終わり、運営は現地任せになり、なかなかうまくいかない例も多数あるやに聞いていますが、福岡博多東ライオンズクラブではそのようなことがないように「ネパール児童教育振興会」（会長 篠隈光彦ライオン）を立ち上げこの振興会が現地運営を行い、ライオンズクラブはこれをサポートする形で係わってまいりました。

今では、幼稚園から高校生まで約300名の子供達が毎日元気に勉学に励んでいます。

彼らは、先生になる、医者になる、パイロットになるなど大きな夢を持った素直な子供ばかりです。

実際に学校を訪問すると、澄み切った目をした子供たちに熱烈歓迎されたとき

思わず目頭が熱くなるのを感じ、感動したものです。

また福岡博多東ライオンズクラブでは、インターナショナルなライオンズクラブの活動第2弾として地球環境をテーマとした、インドネシア・バタム島にマングローブを植樹する事業を始めました。

この事業はNPO法人を立ち上げ「ライオンズの森」の建設という広大な規模の植樹をすることを目的としています。

それがやがて温暖化の防止、環境に優しい自然を作り出し、その結果魚や、貝

や蟹などが生息するようになれば現地の子供たちの食料として採取することが出来、このことが元気な子供を育てる元になることで、一石二鳥の効果が出ることを期待しています。

このような事業が近い将来きっと感動を与えてくれることとなることを確信しています。

今年の福岡博多東ライオンズクラブ奉仕の精神は「感動を与える」ものであることです。

地域に喜ばれ活性化につながる「We serve」を実行します。



4R・3Z 福岡博多中ライオンズクラブ

会長 L 松澤 康博▶
幹事 L 平井 昌宏
会計 L 竹ヶ原政徳



会長提言 「桜にも野辺の花にも陽は注ぐ」～谷間に光を～

クラブの特色

我がクラブは来期で設立35周年を迎えます。

昔に比べると会員数は減少していますが、会員相互の結束は固く、クラブの伝統を守りながらも、常に和気あいあいと地域社会への貢献と青少年育成事業を主体に奉仕活動をさせて頂いております。又、クラブ活動として、ゴルフ同好会、音楽同好会があり、この楽しい集まりが会員同志の友情の絆を深める大きな要素となっています。

会長方針

私は入会して20年になりますが、一貫して知的障がい者のために何か手伝える事はないかと心掛け、又、行政、他のボランティア団体の手が届かないところ、光の当たらない施設・団体の為に奉仕活動をさせて頂く事を継続してまいりました。

今期は会員と共に『谷間に光を』をスローガンに活動してまいります。

各委員会の活性化

今期は各委員会に会議を出来るだけ多く開催するようお願いし、その為に必要な予算も考慮しております。担当理事、三役も適時参加し、新しい事業活動が立案される事を期待します。

委員会活動(抜粋)

会員委員会

会員増強を大きな柱としますが、会員としての社会的意義、例会の出席、会費の完納等、

責任と義務を充分説明し、会員数だけでなく、会員の質を重要視したい。

会則財務委員会

- ・現在の会則、付則の見直し、入会金、年会費の妥当性の検討
- ・新会員のための研修会の開催
- ・クラブの運営、活動方針を含めた中長期計画作成のための特別委員会設置

計画委員会

- ・例会場以外での例会開催による経費削減(合同事務局での年数回の例会)
- ・話題性があり、会員が興味を引く卓話講師や内容
- ・納涼例会や忘年例会における事業資金獲得の検討
- ・中洲まつり出店事業計画

PR委員会

- ・ホームページの更新
- ・会報誌(一年のあゆみ)の発行



YCE委員会

- ・'08夏季YCE留学生の派遣及び受け入れ
- ・12月第9回福岡博多中ライオンズクラブ杯、福岡市小学生バレーボール大会開催予定

社会奉仕委員会

- ・8月「つばさ学園」野球観戦招待
- ・11月チャリティゴルフコンペ
- ・10月、2月重度身体障害者通所作業所「あつたかホーム」支援
- ・チャリティボウリング招待
- ・LCIF 献金協力
- ・該当献血キャンペーン(成人の日、5月、8月)
- ・使用済み切手、ハガキ、プリペイドカード収集

私達、福岡博多中LCの会員は奉仕活動を会員互いに協力し、実践の場で学びながら感動を共有し、楽しいクラブにしていく事を目標としています。



4R・3Z 福岡那の津ライオンズクラブ

会長 L 浅井 美行▶



幹事 L 山口十三夫

会計 L 森 健一

会長提言 「明日へ繋ごう」～31年目の新たな旅立ち～

会長方針

我々のクラブは、今年、結成31年目をスタートしました。

これ迄の30年間、「チャーターメンバー」さんを初め、「先輩会員の方々」の、並々ならぬご尽力があったればこそでありますので、「那の津」の良さ伝統を受け継ぐ為にも、これ迄以上に、新旧会員の融和を図らねばならないと考えます。

従いまして、今期は、特に、①例会出席率の向上。②「卓話」で先輩会員の経験談を聞く機会を多く設ける。③例会内外での懇親の場を多く提供する。を常に考えて行く事とする。

今期のアクティビティ予定

前期に当クラブ結成30周年記念事業を行ったので、今期は、これ迄継続してきた事業を引き続き実施して行く予定です。

①「福岡育児院」への支援活動

勉学に燃える少年少女達の希望を叶える為に、今期も、育英資金の積立を含め、支援を継続する。

②アジア太平洋子ども会議への支援活動

アジア太平洋各国の少年少女達との活発な交流を支える為、今期も、支援を継続する。

③「師範塾」への支援活動

子供達を教える、先生方の支えとなれるよう、今期も、支援を継続する。

最後に、前期に実施しました「30周年記念事業」の内容をお知らせします。



「福岡育児院」での子供達との食事会

①モニュメント「ゴリラの彫刻」を福岡市動物園に寄贈（中村信喬先生作）

②「金印レプリカ」の贈呈 小さな博物館運動の一環として実施

③「資力ファーストⅡキャンペーン」への献金

④「福岡育児院」への通常支援と育英基金の特別積み立てを実施

尚、最後になりましたが、本年3月に行いました「30周年記念式典」には、大勢の関係者の皆様にご出席を賜り、滞りなく執り行う事が出来ました。改めまして、厚く御礼申し上げます。



福岡市動物園に寄贈した「ゴリラの彫刻」

4R・3Z 福岡イーストライオンズクラブ

会長 L 藤本 顕憲▶



幹事 L 大音 重親

会計 L 馬渡 郁生

会長提言 「小さいながらも愉快的仲間がウィ・サーブ」

第21期運営方針を進める上で総合計画を策定し21世紀にふさわしい豊かで、明るく、元気な活力のあるクラブにするため邁進し、運営方針はクラブの歴史と伝統のもとに進めます。そのため下記の施策について皆様方の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

①会員増強 クラブ会員の減少はクラブの行先が危惧されます。200%例会を開催し30名を目標とします。

②環境保全の推進

環境汚染と自然破壊が進んでいる中で我がクラブは15年前から長谷ダム周辺の桜の植樹を進めてきました。今期クラブ創立25年に向けて桜並木の総点検と整備をします。

③盲導犬育成の支援します。

④東区図書館・和白図書館への図書

の寄贈をいたします。

(地域の子供達を育てるため)

⑤会員の親睦と融和を計るため2ヶ月に1度は持ち出例会を実施いたします。

(会員・その家族・企業関係者)



4R・3Z 福岡博多シティライオンズクラブ

会長 L 坂本 庄一▶

幹事 L 楠本 紳二

会計 L 森 健一



会長提言 「会員相互の理解と協力」

福岡博多シティライオンズクラブに入会してはや16年になりました。

福岡博多シティライオンズクラブが、ホストクラブの福岡博多東ライオンズクラブからエクステンションで発足し、チャーターメンバーとして入会できたことが、昨日の出来事のように思われます。

16年間の月日で、ライオンテーパー、テールツイスター、会計、幹事などを経験し、会長提言にしております「会員相互の理解と協力」が、いかに大事であるかということを、今改めて痛感しています。

アクティビティは、継続事業として、

- 更正施設「おおほり苑」の支援
- 青少年育成の為の事業として、経済的に支援が必要な母子家庭の頑張っている高校生に YCE 派遣

生として海外生活を体験してもらう。

○奨学金制度を作り、高校卒業まで、経済的に支援するなどを行っております。

また、今年も120名程の参加のチャリティゴルフを計画しております。

最後になりましたが、新会員を増やす努力と、楽しい例会作りを残りの10ヶ月間、頑張っていきたいと思っております。



4R・3Z 福岡那の香ライオンズクラブ

会長 L 藤林 幸枝▶

幹事 L 荒地 潤子

会計 L 宇野由紀子

会長提言 「輪(和)になって 心豊かに 社会奉仕」
～一人では出来ないことを皆の力で～

会長方針

全員参加の 明るく元気な 奉仕活動

福岡那の香 LC は前期10周年事業を無事に終え、11年目を迎えるにあたって10年間の歩みを基に、明るく元気なクラブ運営を目指していきます。

まず、第一に例会への出席を呼びかけ、会員同士の輪を築き、お互いを思いやり、心を豊かにし奉仕が出来る事をモットーとします。

当クラブは、発足時より青少年育成支援に力を注いで参りました。10年間「ネパールの子供教育」へ支援させて頂き十分な成果を得たものと思っております。

今期は、地域へ根ざすアクティビティとして「小学生ソフトバレーボール大会」を継続事業として、取り組んでいきます。この大会は、小学生とファ

ミリーの組み合わせを取り入れ、家族(二世帯・三世帯)の微笑ましい絆を見る・感じる事が出来る大会(二大会の実施)と感じています。

また、その他のアクティビティ(献血・YCE 支援等)を含め会員の全員参加を目指し、今期の提言としております、一人では出来ないことを皆の力で

実践して参る所存であります。

なお、事業資金獲得事業としてチャリティディナーショー(ゴルフ)を例年実行し、今期もディナーショーを予定しております。さまざまなアクティビティへ全員参加の取り組みの結果が会員の維持と増強又ライオンズのPRへとなる事を願っております。



4R・4Z つくしライオンズクラブ

会長 L 重松隆之介▶

幹事 L 福元 孝蔵
会計 L 荒木 績



会長提言 「感謝のきもち・やさしい心」

会長方針

地域社会への奉仕活動
会員増強
元気なクラブ活動

この度、第47代会長に就任致しました。諸先輩方が培ってこられたつくしライオンズクラブの伝統を絶やすことなく、“感謝のきもち”をもって後々により良い形でバトンを引き継ぐことこそが何よりの使命であると感じております。

難しい時世の中、当クラブも会員の減少の危機に面しておりますが、現在の正・優待会員合わせた47名を維持し、ライオンズクラブの運営の髄とも言うべき例会を、全員が参加したいと思えるような和やかかつ活気溢れるものになりたいと思っております。会員同士の交流を通し、様々

な業種に就いておられる方や、世代の異なる方との相互理解を深める貴重な機会とも言える例会は、地域に根ざす奉仕の精神を掲げる私共にとっては大変意義のあるものです。延いては、魅力的なクラブを作り、会員の増強にも繋がると考えております。また今期も例年のアクティビティであるチャリティ事業や献血を通し、“やさしい心”をもって地域社会への奉仕活動を展開していきたいと思っております。

入会9年目と若輩ではございますが、会員の方々のお力添えを頂きながらこの1年精一杯努めさせていただきます。



4R・4Z つしまライオンズクラブ

会長 L 戸田 秀峰▶

幹事 L 佐伯 達也
会計 L 井野 貴之



会長提言 「和と奉仕」

この度、第42代会長を務めさせて頂くことに成りました。

ライオンズ精神に則り精一杯頑張る覚悟です。

当クラブ会員は、毎年減ることが予想されますが、今期は是非ともクラブを維持していきたく思います。

茶道ではよく『和』という言葉を使いますが、『和』とは平和の『和』ですが、「調和のとれた『和』でなければ成らない。」と言うことを言っています。『和』の心は人間同士の正しいコミュニケーションの原点で有ると同時に、人間愛そのものでも

有るのです。我々ライオンズは豊かな心で人々に交わり、世の中が明るく暮らせる様に多くの恩愛に感謝を捧げ、互いに人々によって生かされていることを知り、地域社会に貢献するよう努力しましょう。



1000 回例会

4R・4Z 糸島ライオンズクラブ

会長 L 占部 幹彦▶

幹事 L 大神 秀次

会計 L 阿部 淳一



会長提言 「温故知新」

＊ ＊創意工夫のあるクラブ運営と奉仕活動＊ ＊

1. 基本方針

今年度、糸島ライオンズクラブも創立40周年を迎えることとなりました。

歴代会長をはじめ、会員皆様のご尽力により、現在のクラブの充実・発展があるものと深く感謝致しております。

これまでに、築き上げられた歴史と伝統に誇りを持ち、責任の重大さを痛感すると共に、今後の更なる発展へ情熱と決意を持って邁進致します。

充実した、活気あふれるクラブを目指すには、私たちの原点である「奉仕の精神」を再認識し、地域に根ざした魅力ある活動を展開していく事が大切であると考え

ます。

そのことにより、会員ひとり一人の充実感・連帯感も生れるものと信じます。今年度一年を通して、奉仕と友愛の精神に基づき、地域の人々に喜びと感動を与えることができるクラブ運営を目指します。

2. 運営方針

[活気あふれる例会運営]

魅力ある例会を企画するとともに、スリーピング会員への呼びかけ等を通じ、出席率の向上を図り、活気あふれる例会を目指します。

[地域に根ざした奉仕活動]

地域の人々に参加を呼びかけ、喜びと感動を与えることができる充実した奉仕活動を目指します。

[ライオンズクラブのPR活動]

ホームページを含め、あらゆる機会を通して、地域の方々に糸島ライオンズクラブの取り組みに対する理解と協力を推進します。

[40周年記念]

記念事業及び記念式典の成功に向け、全員参加を目指し、クラブ一丸となって取り組みます。



4R・4Z つくし中央ライオンズクラブ

会長 L 田中 功▶



会長提言 「持続」

会長方針

- 1 会員の維持
- 1 規律ある例会
- 1 青少年の健全育成

2008年度 つくし中央ライオンズクラブ会長の田中 功でございます。

私はつくし中央 LC35 年度会長テーマ提言を（持続）という言葉に致しました。

（運営方針）は

- 1 会員の維持
- 1 規律ある例会
- 1 青少年の健全育成

3つの方針を掲げることに致しました。①の会員維持に対しましては増強なくして維持はたもてません。増強はなくてはならないということです。

②規律ある例会 これに対しましては我々3役とテーマ計画委員会各委員長と密に話し合い1つ1つの例会を規律

ある意義ある例会にしたいということでございます。

③青少年の健全育成に対しましては、我々35周年の大きなテーマであります。

春日、那珂川の小学校13校に対し漢委奴国王の金印のレプリカを贈呈し子供たちに弥生時代から現在の福岡県、日本の国がこのようなして出来た現在があるということを勉強して頂き、各小学校に小さな博物館を作ってほしいということです。

また、私、会長のテーマ（持続）これは日本の人口最大のピーク時が2004年度12,780万人現在12,700万人、2050年には1億を切るであろうこの少子化社会の中、ライオンズ会員の絶対数が減少するのではないか、このようなことを考えると今から先のアクティビティに対しましてはふやすのではなしに現状維持、持続をさせたい



幹事 L 玉井 秀明 会計 L 大村 哲也

ということです。

（クラブの特色）につきましては、会員数53名、平均年齢55歳と若い活気あるクラブであり、奉仕に対し（各）委員会が一致団結をし、献血に対しても年間1600名～1800名の400ml献血の奉仕をおこなっているクラブです。

今期、私どもつくし中央 LC は35周年の期でもありますが、これを期に、より一層の努力をし、一年身を引き締め頑張っていく所存でございます。

宜しく願いいたします。

4R・4Z 太宰府ライオンズクラブ

会長 L 上田 節子▶



幹事 L 水城 好則
会計 L 山本 泰浩

会長提言 「まずは、出来る事から楽しくみんなで」

会長方針

各委員会の積極的かつ自主的な活動
地域アクティビティを通しての会員
招請

入会2年目に、幹事という大役を
任せて頂き、また今期は、今年12
月で5年目の未熟な私に、第28代
目会長を任じて頂きとても光栄に
思っております。

この5年の間には、言葉には出来
ないくらい多くの有意義な経験をさ
せて頂き諸先輩・メンバーの方々に
とても感謝致しております。

そんな思いを今期は私らしく出来
る事からみんなで、楽しくライオン
ズムを実践してまいりたいと思いま
す。

それには、各委員会メンバーが自
ら積極的に委員会として、何かひと

つ「We Serve」の精神で活動し、
地域へのアクティビティを通して、
会員増強に繋げていきたいと思いま
す。

その為には、太宰府ライオンズク
ラブの継続事業である資金獲得事業
です。その一つが「太宰府市少年の
船への資金支援の資金獲得事業」を
行う為の太宰府市政庁祭りでのチャ
リティバザーです。

また、もう一つの資金獲得事業は、
「太宰府市立の4中学校吹奏楽への
楽器の購入代金又は、修理代金の資
金支援の資金獲得」を行う為のチャ
リティダンスパーティーです。

それには、会員一人ひとりが、しっ
かりと事業の目的を受け止め単に
商品やチケットを販売するのではな
く、ご来場・ご購入下さった皆様方
や、地域の方々からライオンズクラ

ブ活動へのご理解とご協力を頂くこ
とにより、人の輪を揚げまた、様々
な活動・地域へのアクティビティを
通して、ライオンズムを実践する事
で、会員増強に繋げていきたいと思
います。

最後に、例会を基本に一例会毎、
工夫を凝らし新鮮で楽しい環境・雰
囲気作りに努め、参加の呼掛けや
ライオンズクラブのいちメンバーで
あるという情熱と誇りを持って、柔
軟な中にも筋を通して途中で折れて
しまうことなく頑張りたいと思いま
す。

4R・4Z 大野城ライオンズクラブ

会長 L 原 吉助▶



幹事 L 待鳥 一美
会計 L 御船 正美

会長提言 「クラブ変化の挑戦」

会長方針

- ①会員増強
- ②クラブの活性化
- ③クラブ相互の融和

大野城ライオンズクラブも結成
20周年記念式典も終え今期22年目
を迎え少々気の緩みもただあるかも
知れません。

今期は気持ちを新たに（変化と挑
戦）を提言材料に頑張る所存です。

会員増強は、每期同じテーマです
が、何か一つの目標を求め力を合わ
せ会員一人一人が熱心に誇りを持っ
て勧誘し、入会を求めたら達成可能
かと望んでおります。

尚、今期は委員会活動を主力に実
行する様に伝達しております。

今期アクティビティの一環として
11月の大野城市商工会主催の産業

展に参加出店し、事業収益の一部で
アクティビティに貢献したいと考
えています。

内容は、クラブの計画委員会にて
企画し、会員全員にて一致団結し、
目標に向かって特産品の販売に努め
るつもりです。

年明けて4月には、地域のPRと
クラブ内の活性そして和、地域に感
謝されるクラブ主催のボウリング大
会を企画し、当クラブボウリング部
会の協力を頂き多くの参加者に呼び
かけを実行し、実現成功させたいと
願っております。

これから当クラブの会員の絆を基
に一步前進し、例会出席率の向上に
役立つ様心掛け頑張る参りたいと
思っております。

会員各位の皆様のご協力を切に
お願い致します。

4R・4Z 伊都福岡ライオンズクラブ

会長 L 旭 環治▶

幹事 L 力丸 安博

会計 L 波左間浩文



会長提言 「ライオニズムの向上とアクティビティ」

会長方針

ライオンとしての自覚向上、例会出席率の向上、委員会の活性化（例会、委員会での勉強会等を通して友情の輪を広げ献血活動等の更なる充実を計る）

今期予定のアクティビティについて

年2回の献血活動（場所：福岡舞鶴高等学校グラウンド）

献血は、当クラブの主とし力を入れている事業です。

今期は、9月16日と来年2月20日を予定しております。ともに血液の不足する時期を考慮して実施しています。献血開始から10年も過ぎると年齢により献血が出来なくなる方もいたり、だんだん若い方の献血人口も減りつつあります。その為毎年2月には、福岡舞鶴高等学校の

3年生を対象に献血について講演を実施し、その後献血にもご協力頂いています。また、婦人部にも夏にはとろろてん・冷奴の配膳、冬はぜんざいの手作りなどご協力頂いております。9月は献血車7台で動員900名を目指し、地域案内看板設置、各企業への呼びかけなど会員一丸となって頑張っております。

ライオンズ奉仕デー

例年は、地域環境整備（海岸清掃、違反広告物撤去作業）を実施してきましたが、新規事業として地区運営方針にもございました「地球温暖化対策の推進」に沿った奉仕を実施する予定です。

地球温暖化対策においては各様々な対応をされてあるかと思えます。

クラブとしては「ゴーヤ（にがうり）」を窓辺に日除けの為に育て地

球と体にやさしい運動を展開します。効用としては、ゴーヤの緑のカーテンにより室温の上昇をおさえ、エアコン使用量を抑制し、それにより二酸化炭素の排出量が抑えられるそうです。

地域の皆様にゴーヤの苗を配布し地域の皆様と共に実施できたらと考えております。

第11回チャリティゴルフ

11月12日（水）にザ・クイーンズヒルゴルフクラブにて

知的障害者「第一野の花学園」支援予定としております。

その他青少年育成のため福岡県少年補導員連絡協議会賛助会員の継続、少年野球の支援等を予定しております。



5R・1Z 久留米ライオンズクラブ

会長 L 江頭 渡▶

幹事 L 平山 重登

会計 L 栗原 俊隆



会長提言 「地域密着の奉仕活動」

当クラブは今年結成53周年の歴史があります。諸先輩方の奉仕の精神で築いてこられたと思います。

私は、今年の7月より第54代目の会長に就任いたしました。ライオンズとの出会いは、平成8年7月に先輩の西村ライオンにスポンサーしていただき入会して満12年目になります。

諸先輩のご指導・ご鞭撻を受けながら会長としてスタート致し、身の引き締まる思いで全力で傾注してまいる所存でございます。

当クラブの主なアクティビティを紹介させていただきます。平成20年7月25日第19回池町川清掃作業は、池町川という市中を流れる川で以前はドブ川で悪臭もありました。市行政が中心となり、我がライオンズも一緒に清掃整備を行い、現在ではハヤ・フナ・鯉等が泳ぐ清流と変わりました。

今では市内の小学校(日吉・篠山)の生徒・先生・父兄の方にも参加していただき、市民の方にも親しまれています。今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。また、久留米市民の

一大イベント「久留米水の祭典」が8月3日～5日の三日間行なわれていますが、8月4日のメインストリートでのパレードに、久留米ちとせライオンズクラブさんと合同で、お茶の接待サービスを行ないました。終了後クラブ間の親睦を図るため、今年は高牟礼ライオンズクラブと3クラブ合同で、有意義な反省会を行ないました。さらに8月5日朝7時より、メインストリートの清掃を行ないました。

最後に、先輩ライオンズの皆さんが市民の健康推進を図るため「一日一万歩」を目標に始めたウォーキング、コースは水天宮～百年公園の4キロですが、毎年恒例により、今年で28回目を迎えます。今後共、市民の皆様の健康づくり推進の一助にと会員全員で頑張っていこうと思っております。

今年の提言として「地域密着の奉仕活動」を掲げましたが、ライオンズ単独の活動ではなく、池町川清掃を例にしましても、市職員および地域の小学生・先生・父兄の方達と一緒にアクティビティを行なう事が大切だと思います。また地域の行事にも積極的に参加し、親睦を深め地域

の方から喜んでいただき愛されるライオンズクラブでありたいと思います。

地域密着の奉仕活動が、地域に認められ会員増強につながると確信しています。



池町川清掃



市民百歩大会

5R・1Z 甘木ライオンズクラブ

会長 L 熊本 準一▶

幹事 L 岩下 繁隆

会計 L 早川 洋子



会長提言 「初心で奉仕」

本年度は次のことを中心にクラブ事業を実施してまいります。

1. パーフェクトマンズリー

「例会でメンバー全員の顔を合わせよう！」をスローガンに、9月と2月をパーフェクトマンズリーと定め例会出席100%を目指す。

2. チャリティゴルフの開催

10月23日、夜須高原カントリークラブにて「チャリティゴルフ」を開催し、収益金を福祉施設へ贈呈する。

3. 新春講演会開催

1月22日に大野勝彦氏(やまびこ塾主宰)をお迎えして、ピーポート甘木中ホールで新春講演会を開催。住民の方へ甘木ライオンズクラブの活動を周知する。

さらに、蛍の住める環境づくりを進め、蛍(幼虫)や餌となる「ごひな」

を放流し川岸の清掃を行います。

また、第42回福岡県献血運動推進大会において、福岡県知事感謝状を受賞しましたので、従前にも増して献血運動を推進します。

初心に戻り、奉仕活動に邁進したいと思っております。

会員各位のご協力をお願い申し上げます。



蛍の住める環境づくり「ごひな」とり



献血活動 ジャスコ甘木店

5R・1Z 浮羽ライオンズクラブ

会長 L 中山 俊治▶

幹事 L 本田 智

会計 L 水城 敏彦



会長提言 「CHANGE」

私達ライオンズクラブは世の中の変化に対応して変化しなければ生き残る事はできないのではないかと考えています。

我が浮羽 LC も 45 周年が過ぎ 50 周年に向かって流れています。先輩ライオンが残してくれた素晴らしい業績をそのまま受け継いでいます。例会・理事会・レオクラブ・奉仕作業・韓国瑞山 LC 姉妹クラブ表敬訪問・青少年育成ミュージックフェス



ティバル etc 良いところがいっぱいありますが、世界の変化に対応しているだろうか・地域の人々に認知されているだろうか。疑問が残ります。

まず例会を少し「CHANGE」したいと思っています。魅力ある例会にして会員のためになるようなものにしていきたいと思っています。

今期の例会には毎回情報アワーで情報指導力開発委員長 L 野口秀



和による 10 ~ 15 分の複合地区研修会資料「ライオンズとは」の冊子で卓話を行います。ライオンズの原点を考えることも大切にしています。これから先はライオンズクラブの原点を考え新しい発想で我がクラブが発展していくことを確信しています。又、第 2 例会が夜の例会となります。夜の例会が良いのか分かりませんが 1 年間やってみたいと思います。



第 23 回 ミュージックフェスティバル 2008.2.3

5R・1Z 久留米りんどうライオンズクラブ

会長 L 鶴 清彦▶

幹事 L 立石 市二

会計 L 城戸 芳巳



会長提言 「協調・対話・参加」

もっと近づこう もっと話そう もっとふれあおう

○スポーツを通じて青少年の健全育成○退会防止に全力。会員純増で活力あるクラブ運営○国際協調・LCIF への協力

地域社会、福祉への貢献、青少年健全育成を軸に継続事業であります 17 回を迎える久留米市近圏サッカー選手権大会、久留米市少年サッカー教室を行い、特にりんどう杯車いすバスケットボール九州大会は、今回は 25 回目を迎えます。会員一同ポスター 400 枚、招待券付きのチラシ 3,000 枚を作製し、協賛企業と共に協力し合って 9 月 14・15 日に向かって進めております。広報活動は小学校、中学校、養護学校生徒への応援依頼、又市政久留米、カルキャッチ久留米、くーみんテレビで一般市民への観戦依頼をお願いし、取材報道は西日本新聞社に依頼しております。25 年に及ぶりんどう杯車いすバスケットボール九州大会

の歴史は、青少年の健全育成に大いに貢献できたのではないかと思います。

選手の皆さんが体の不自由を克服され、生き生きとプレーする姿を目の当たりに見て、勇気と感動を持って帰ってくることを願っております。



今回 25 周年記念大会と言う事で、屋外で冷たいビールなどで選手の歓迎会を計画しております。



5R・1Z 浮羽みのうライオンズクラブ

会長 L 権藤 英昭▶

幹事 L 米倉邦比古

会計 L 秦 敏郎



会長提言 「継続と信頼」

この度、浮羽みのうライオンズクラブ第27代会長を仰せつかりました。今、その責務の重大さに経験不足の私が務まるか不安ですが、会員の皆様のご協力とご指導を得て精一杯頑張らせて頂きます。さて、今年度の提言は『継続と信頼』と致しました。先輩諸氏が築かれた浮羽みのうライオンズクラブに対する信頼を

汚すことなく更なる地域から信頼を得るには何かを考え決めました。ライオンズに対する期待にどう対応していくか、会員の皆様と考え、行動していきたいと思えます。当クラブは、青少年育成事業の一環として学童野球大会を開催しており、毎年白熱した大会となっています。また献血を年3回行い地域に根差した継続

事業として行っています。その他、老人福祉施設や身障者施設へのクリスマスケーキ配布など、先輩諸氏が築かれた事業を継続していくことが信頼に繋がると考えています。この一年数々の事業がありますので、皆様のご指導ご協力をよろしくお願い致します。



5R・1Z 久留米有馬ライオンズクラブ

会長 L 野口 憲三▶

幹事 L 吉川 久夫

会計 L 山下 健一



会長提言 「夢」

会長方針

- ・ 明るい例会
- ・ 全員参加による奉仕活動
- ・ 皆と共に会員増強

私たちの久留米有馬ライオンズクラブは1987年6月15日に久留米りんどうライオンズクラブのスポンサーにより結成会を開催いたしました。日本で2,847番目、久留米市に於いて、5番目のクラブとして誕生いたしました。

初代会長L永田栄二の活力ある“*We Serve*”に徹した立派なクラブを作りたいという情熱が脈々と流れ引き継がれています。特に歴代会長より承継されている『例会出席がライオンズクラブの原点である』と云う認識を全会員が持ち、出席率100%を維持し続けています。

22代会長L野口憲三は提言【夢】を掲げて、会長方針（楽しい例会）（全員参加のアクティビティ）（皆と共に会員増強）とあります。特に当クラブのアクティビティは初代会長より続いている全会員が時間の許す限り参加し、奉仕活動を盛り

上げています。青少年健全育成を目的とした資金獲得のチャリティゴルフから始まり、少年ジュニアサッカー、少年野球大会等は他にあまり例が無い小学校低学年の大会として各関係者より良い評価を得ています。その他小中学生を対象とした、少年剣道大会は165チーム、少年少女825人が参加する筑後地区最大の剣道大会へと成長しております。又、愛の献血活動は特に血液が不足する2月に行い参加者258名、採血者207名にもなりません。6月には継続事業と成りつつある盲

導犬育成募金活動があります。今年も櫛原中学校の生徒会の皆さんや九州盲導犬協会から2名、盲導犬2頭が参加協力して頂き、171,931円の募金金額を達成できました。会員の皆様の職場やお店の店頭で設置協力頂いている募金箱の合計は255,051円と合わせて九州盲導犬協会に寄付をいたしました。

今年度も各アクティビティに、会員増強に、又、楽しい例会に会員一同参加していきます。



剣道大会



盲導犬

5R・2Z 八女ライオンズクラブ

会長 L 坂田 徹裕▶
 幹事 L 大塚 高典
 会計 L 末次 祐介



会長提言 「融和と団結」

☆クラブの特色

八女クラブは、昨年結成 50 周年を迎え、新たな気持ちで原点に立ち帰ってみたいと思っています。今期委員会構成は、若手の会員を委員長に、副委員長を経験豊かな会長経験者をお願いし、活発な委員会活動が始まりました。

☆今期の ACT

9月9日 第23回青少年健全育成
 非行化防止チャリティゴルフ大会
 10月19日(日) 障がい者・高齢者福祉事業～チャリティ福祉バザー～
 12月・5月 愛の献血
 12月20日(土) 障がい者・高齢者福祉事業～クリスマスパーティ～

他 児童文庫拡充、青少年育成後援、YE 来日生受入等

☆例会状況

第1・3水曜日 八女商工会議所ホールにて開催
 他 家族例会3回(納涼・忘年・最終)
 早朝例会3回
 筑後・黒木LC 合同例会



クリスマスパーティ



バザー



支援バザー

5R・2Z 黒木ライオンズクラブ

会長 L 坂田 寛喜▶
 幹事 L 草場 良晴
 会計 L ノ瀬五郎



会長提言 「協心」(全員参画・楽しむ・尽くす)

会長方針

当クラブは、毎年会員の退会が続く、減少傾向に歯止めが掛からず、現在、会員数 28 名まで落ち込んでおり、本年は、最低 30 名まで増やす会員増強の取り組みを行なっていきたくて思っております。そのためには、会員同士がさらに心を合わせて助け合っていくことで、楽しみながら活動に参画していける魅力あるクラブづくりに取り組んでいます。

間中の(輝翔館・黒木中学校生徒会と共同作業)清掃活動、薬物乱用防止キャンペーン活動等への参加の呼

びかけ活動に取り組んでいますが、今後も更に充実した取り組み内容にしていきたいと考えております。



当クラブは、人口約 13,000 人の小さな町の中のクラブで、活動の主な取り組みは、例年、青少年の健全育成を願い取り組んでおります。小学生駅伝大会や少年剣道大会への協賛もその一環ですが、年々力を入れ始めたのは、中学生、高校生等の共同の活動等で、例えば大藤まつり期



5R・2Z 久留米中央ライオンズクラブ

会長 L 中村 雅輝▶

幹事 L 久富 清司

会計 L 堀江 利治



会長提言 「会員増強 魅力あるクラブづくり」

本年度は当クラブも発足から45周年を迎えます。あと5年で50周年となり、夫婦ならば金婚式となります。

間近に金婚式を迎える当クラブでは、長年にわたってライオンズの活動を続け、貴重な経験と知恵を持つ、ベテランのライオンが多数在籍されております。

50周年までの5年間こそが、経験豊富なライオンから、クラブの伝統と格式と英知を若きライオンが学び、更なるクラブの繁栄と成長を遂げる時期だと考えます。

その為にも、若いライオンが更なる魅力を感じ、同時に多くの人たちが進んで入会を希望するようなクラブへの変革の時期と考え、本年度の会長提言を「会員増強 魅力あるクラブづくり」として日々の運営を行

なっていきたいと考えております。

主なアクティビティ

青少年関係…スポーツ大会の後援
ジュニアテニス大会 少年野球大会

小学生バレーボール大会

小学生剣道大会

福祉関係…盲導犬育成街頭募金

自閉症児・者親の会餅つき大会

献血活動…年2回の献血会

地域社会奉仕…水の祭典ドリンクサービス

地域美化清掃活動

暴力追放活動



盲導犬育成街頭募金活動 市長も参加

本年度も「We Serve」の精神でライオンの誇りを胸に、アクティビティへの参加を行い、地域に根付いた活動を行なっていきたいと考えます。



献血会 採血風景



自閉症児・者親の会餅つき大会

5R・2Z 小郡ライオンズクラブ

会長 L 永利 智俊▶

幹事 L 木村 淳

会計 L 大淵 雅史



会長提言 「人と人を結ぶ奉仕の輪」(ありがとうと感謝の心を持って)

会長方針

- ①出席率の向上
- ②委員会活動の活性化(アクティビティ)
- ③ドネーションの見直し(寄付金)

小郡ライオンズクラブは、本年3月に結成35周年を迎えることができました。

本年度も、今まで以上のアクティビティを実施していく予定です。

当クラブの代表的なアクティビティとして、毎年4月29日に行う宝満川一斉清掃があります。

これは、平成9年、田籠会長の時に初めて実施され今年で12回目を迎えた行事です。

年々様々な団体、そして市民の参加が増え、今ではゴールデンウィーク前の風物詩ともいえるものになっております。事前の打ち合わせ・準備や当日も早朝からの集合と大変な事も多いの

ですがきれいになった川を見ると全ての苦勞が吹き飛びます。また、参加者の増加に伴い回収されるゴミも増えるものと思っておりましたが、最近は回収されるゴミの量が減少傾向にあります。これは、市民に川をきれいにしようという気持ちが根付いてきた証であると考えられ大変喜ばしいことです。故郷のきれいな川を守るため今後も市民と力を合わせて頑張っていこうと思

追記 今年も、宝満川で7月に行われ



宝満川一斉清掃1

た花火大会にクラブとして店を出店させて頂きました。

用意した唐揚げ等全て完売という予想外?の嬉しい結果となりました。



宝満川一斉清掃2



花火大会出店

5R・2Z 久留米ちとせライオンズクラブ

会長 L 満岡 悦子▶



幹事 L 御手洗昭房

会計 L 安本 貢男

会長提言 「謙虚に凜として坦々と、継続は力なり」

私達のクラブのアクティビティは、創立以来 青少年育成活動を中心におき、献血キャンペーン、盲導犬育成街頭募金、障害者との合同ハイキング等のアクトを精力的に行なってまいりました。

近年環境問題が地球規模で取り上げられ、それへの関心が高まっていることは、皆さんご承知の通りでございます。

20年2月、第1回植樹をライオンの家族、友人30名、四季の森ふれあい教室の子供達19名で風倒木や手入れのされてない荒廃した市有林の一部を伐採整理し広葉樹の苗(ヤマモミジ、ヤマザクラ)400本を植栽しました。

今後も森林再生の為の植樹に注目し、これからのクラブの活動目標として重きを置き、定着させてゆきたいと考えています。

いと考えています。

本年度は、テレビ、ラジオ、雑誌等でよく知られておりますC.W.ニコル氏を迎えての環境保全についての講演会を開催し(11月22日)、協賛金を募り収益金を植栽費用に活

用することを計画しております。

将来的にも継続事業として取り組んでいける体制を確立し、より良い活動目標となり、他クラブの連帯へと発展し、さらに大規模な事業に成長してゆくことを願っております。



5R・2Z 久留米高牟礼ライオンズクラブ

会長 L 金子 範彦▶



幹事 L 岩橋 栄司

会計 L 松尾 一広

会長提言 「友和を築く」

会長方針

ライオンズ精神の元、会員同士の友情、相互理解を深め、情熱ある奉仕活動を行います。

当クラブは、結成して16年になります。会員数は、27名と少ないですが、会員平均年齢53歳と若く、会員同士の和を大切にクラブです。

会長提言に掲げた「友和を築く」で、会員同士の友情、相互理解を深め、クラブ運営と地域社会の奉仕活動に務めたいと思います。

クラブ運営の中では、会員全員の友和の絆で退会防止に努め、また、会員増強として、ゴルフ部会等にオブザーバーで参加していただき、ライオンズの素晴らしさをアピールしています。

地域社会の奉仕は、主に、地域児童教育文化支援事業に、力を注いでいます。

・農業体験…「じゃがいも」の植付け

から収穫までの作業を小学生に体験してもらいます。

・コンサート…地域の子供たちが音楽を通じて人間性豊かで生き生きとした元気な子供に育つ環境づくりを応援しています。

会員全員気持ちを一つに、地域に密着した活動を一年間務めたいと考えております。

今期のアクティビティ

- 水の祭典奉仕活動(湯茶接待) 8月
- 清掃奉仕事業(水天宮清掃) 8月

○献血事業(地域社会福祉事業) 12月

○小学生農業体験学習事業(地域児童教育文化事業)

じゃがいも植付け 2月

追肥 4月

収穫 6月

○高牟礼ライオンズクラブ杯グラウンドゴルフ大会(地域社会福祉事業)

4月

○コンサート事業(地域児童教育文化事業) 5月

○久留米市少年少女発明クラブ後援



コンサート



グラウンドゴルフ

5R・2Z ちくご菜の花ライオンズクラブ

会長 L 川村 芳子▶

幹事 L 服部 恭子

会計 L 佐々木三紀子



会長提言 「10周年を機にさらなる友情、共に地域向上に奉仕」

会長方針

今期、10周年を迎えます、ちくご菜の花ライオンズクラブの会長方針といたしましては「10周年を機にさらなる友情、共に地域向上に奉仕」といたしました。

クラブの特色は、広域の人たちで構成されています。

地域における広報活動も、その市・町・村に所属する会員がそれぞれに力を出しております。

広報活動の例といたしまして、年2回の広報誌を内外に出し、又、催し物（例えば、チャリティダンスパーティー等）の開催をケーブルテレビ、市の広報誌などに掲載し、チャリティで得た金銭をどの様に使われているかをご理解して頂き、広く参加協力を呼びかけております。

今期のアクティビティは、継続事業として

1. 重度身障者（児）施設への訪問
2. 青少年交換（YCE）事業、派遣と受け入れ
3. 車いすバスケットボール九州大会（久留米りんどうライオンズクラブとの共催）
4. 献血奉仕（年4回）
5. 「視力ファーストⅡ」への献金



献血

6. 留学生への支援と協力

その他、シンナー覚せい剤禍絶滅キャンペーン等に参加しております。

地域の青少年健全育成を柱に、女性らしい、温かみのある、クラブとして地域向上と地に根付いた奉仕活動をして参りたいと思っております。



重度障害者施設訪問

5R・3Z 大牟田ライオンズクラブ

会長 L 大島 建▶

幹事 L 大佐古一夫

会計 L 坂口 高精



会長提言 「建」

会長方針

参加した人たちに感動を与える様な事業が会員増強・退会防止につながる全員参加出来る事業を目指す。

只今、大牟田LCの主催事業として青少年大牟田大蛇山カップバスケットボール大会・青少年弁論大会・チャリティセール・甘木山公園桜まつり等ありますが、今期はあと1つ位増やしたい。特に子供達のバスケット大会は技術もさることながら、きびきびした態度には非常に感激させられました。最初は自分の母校は出場するのだろうか、誰か知っている人はいるのだろうか、軽い気持ちで会場に行ったのですが、思いとは裏腹で、お世話戴いている学校関係者・役所の方々、指導、採点、進行、

配慮は見事でスムーズな進行でした。ぜひ皆様方も会場に行つての観戦、感動は心に残る事業と思います。チャリティセールも夫人部と一緒に値付け・販売と忙しく活躍されておられました。甘木山公園桜まつりも、肥料やりから提灯飾りと場所も良く、眺望もすばらしく最高の会場と思います。

これらの事業の参加して初めてわかる感動は、ライオンズに入会して良かったと思われるはず。これが退会防止・会員増強につながると思います。会員同士も役割分担から段取り、実施打ち上げ迄和やかな時間が過ぎると思います。この和やかな雰囲気を今期進めて行こうと思います。



桜の施肥-1



甘木山公園 桜まつり 提灯取付



桜の施肥-2



大蛇山バスケ

5R・3Z 瀬高ライオンズクラブ

会長 L 高巢 昭▶

幹事 L 金子 和英

会計 L 松尾 弘道



会長提言 「人・愛」

会長方針

青少年健全育成事業
例会出席の向上
楽しい例会

○青少年健全育成事業

今年度の事業と致しましては、青少年健全育成に力を入れていきます。

我がクラブは平成11年から今年で9回目を迎えます。

瀬高LC杯瀬高町少年ソフトボール大会を継続事業として毎年行っております。現在7チーム(約90名)の子供たちが夏休みの期間を利用しナイターリーグで熱戦をしております。

その他、継続事業は、ボーイスカウト・ガールスカウト・美術協会・産業文化祭・障害児クリスマス会・ロードレースへの支援。

只今計画中ですが

「豊かな心・幅広い視野・それぞれの志を持った逞しい青少年の育成」を目

指しているアンビシャス広場に支援をと考えております。

10月にはチャリティゴルフ大会を実施し青少年健全育成事業に充てたいと計画をしております。

○例会出席の向上並びに楽しい例会

ライオンズクラブの基本はやはり例会出席だと思えます。

真心で絆を深めながら楽しい例会、出席率が毎回85%以上を目指し魅力ある例会を作り上げたいと思えます。

○広報活動

例年、キャビネット・5R内クラブ・他に向けての会報を年3回発行していましたが、今回、外部PR用会報を作成する予定です。

歴代会長をはじめ諸先輩方の温かい教えをしっかりと引き継いで、会員の皆様方のご協力を賜りながら、今年度一年間頑張っていきたいと思えますので、宜しくお願い致します。



5R・3Z 大牟田中央ライオンズクラブ

会長 L 金富 光幸▶

幹事 L 木下 康成

会計 L 西山 政満



会長提言 「健康」

会長方針

- ①心に残る国際交流
- ②退会防止と会員増強
- ③青少年の健全育成
- ④出席の向上

クラブの特色として、明るく楽しい「和気藹々」としたクラブ運営を目指しています。

入会2～5年の若い会員が積極的に奉仕活動に参加し「We Serve」の精神を体得され、クラブの中心的存在となっております。

会員増強がクラブ活性に繋がるとして、会員拡大委員会を今年度設置し、業種別または、やむなく退会された方に再度入会を進め、現在8名の候補があがっています。

今年度は台湾新竹市第一獅子会との姉妹クラブ締結40周年を迎えま

す。

新竹市第一獅子会とはお互いに毎年クラブ訪問しており、また交換学生も一週間のホームステイで毎年交互に派遣・受入をしております。来年4月に新竹市第一獅子会をお迎えしてお祝いの式典を催し、更なる親交を深めて心に残る国際交流を進展させます。

青少年の健全育成として、大牟田ジュニア合唱団の育成、市内の中学校吹奏楽部合同演奏会による「ス



台湾新築市第一獅子会 公式訪問受入

プリングバンドフェスティバル」の開催、小・中学生の書道展、中学女子バレーボール大会を主催しています。



中学女子バレーボール大会



小・中学生書道展

5R・3Z 大牟田三池ライオンズクラブ

会長 L 池端 龍男▶

幹事 L 那須 夏枝

会計 L 平嶋 明



会長提言 「和」

会長方針

会員一同、和気藹々のうちに「和を以って尊し」

芸術は爆発だ!! としたのは芸術家の岡本太郎である。それでは、ライオンズは、奉仕は…? 「奉仕は爆発だ!!」

ライオンズマンは芸術家ではないが我々は一年間、事業計画に添い瞬間、瞬間エネルギーに奉仕活動をしています。これを爆発と言わないで何と言おうか?

つい先日、竹北ライオンズクラブ交換学生の入会、大牟田夏祭り総踊り、そして鈴虫配布では爆発させてきたばかりです。

これから先もまだまだ奉仕活動は続きます。

私の提言は「和」を以ってクラブ

運営をしたいと思っています。

ところで、地区ガバナーより、愛(人類愛・郷土愛・家族愛)が提言され、地区運営方針が示されたところですが、我々は日々の諸活動の中から色々学び、奉仕に喜びを爆発とを感じる事ができます。

この事が地域社会と密着した、活性化した健全なクラブ運営へと発展するものと思います。

これからも奉仕 (We Sarve) を爆発させましょう!! ライオンズバンザイ!!



姉妹クラブ・中華民国竹北 LC 交換学生入会 期間 7月24日～28日

5R・3Z 大牟田不知火ライオンズクラブ

会長 L 高石 篤子▶

幹事 L 水町 宇一

会計 L 清原 初彦



会長提言 「和 なごみ」

会長方針

和 なごみある家族愛…笑顔・健康
和 なごみある仲間づくり…出逢い・会員増強
和 なごみある例会づくり…出席率・85%

会長スローガンを「和 なごみ」といたしました。一つの家庭に夫があり妻がいて家庭が構成され社会の基盤が出来、お互いの人権と能力を尊重しあい、その上にまずは健康、それがエネルギーになり、色々期待できる活動が展開されるのではと思います。

私たちのクラブの女性会員は、社会的に立派に活躍されているすばらしい会員が多く、女性の入会に積極的なクラブでもあります。今こそ、クラブの融和、総合理解、クラブ全体の活性化、豊かな人間関係、仲よしクラブの特徴を生かした、楽しい例会作り、退会防止と発展をはかり、原点に戻り、理事役員、会員全体で魅力ある思いやりのある大牟田不知火

ライオンズクラブをめざして努力し、自らが愛するクラブとしていきたいと思えます。

大牟田不知火ライオンズクラブは21年前に、理想のLCを夢みて31名のチャーターメンバーで結成され、郷土八女出身の作家五木寛之先生の「心の風影」という題で記念講演を開催しました。五木先生のH 19年に出版され注目を浴びた「人間の関係」があります。家族も、他人も、人間の関係がすべてであるとあります。昨年5月には20周年事業も無事終わり、11月にはCSF IIチャリティコンサートの開催と会員の協力により成し遂げられたのも、人間関係がうまくいったの事、人間関係がうまく行けば、予期せぬ事も起きない、人間は関係がすべてであることに、クラブの立て直し、見直すのに大きなヒントを示しています。

私はライオンズに入会する時、声高らかに読み上げたライオンズの誓い「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精

神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」に感銘を受けました。これも、私のここに残った文章です。

会員一丸となって、和 なごみある仲間づくり、和 なごみある例会を目指し、笑顔で健康で、自らの仕事・ライオンズの役職の両輪を頑張ります。



5R・4Z 柳川ライオンズクラブ

会長 L 松藤 武徳▶

幹事 L 與田 邦雄

会計 L 田中ヤスヨ



会長提言 「愛、奉仕そして連帯」

会長方針

クラブを活性化するため、奉仕事業の充実とクラブ運営の健全化を推進する。これらを達成することにより会員増強を図る。

会員増強を図るには、現今の経済情勢は余りにもよくない。だが、拱手傍観していてもクラブの未来は描けない。今現役員に求められているのは人事を尽すことにある。

会員増強には、二つの側面がある。一つは地域社会にコミットして新会員を誘引すること、他の一つは、退会防止に努めることである。

新会員の誘引を図るための方策は目ぼしい人を探すこともあるが、重要なことはライオンズクラブは、何をするとところかをよく理解してもらうことである。義理人情、仕事の付

合等だけで入会してもらっても永續をしないことが多々ある。

そこで、クラブ理解のための手立ては、地域社会が欲する事業を地域社会の市民と協働して実践することによりクラブの理解が深まり、これに賛同する市民の入会があり得ると理解すべきである。

退会防止は、クラブ運営の健全化、魅力あるクラブづくりを目指す必要がある。

近時クラブは、ややもすると親睦団体化して奉仕団体としての実体が軽視されがちである。会員が知恵を出し合い、研鑽を積みこの問題に対処してゆく必要がある。



5R・4Z 筑後ライオンズクラブ

会長 L 米倉 博文▶

幹事 L 森安 修

会計 L 山口 雅輝



会長提言 「参加したくなる例会と奉仕」

当クラブも50周年を2年後に控えて、近年を振り返ると、何年も同じアクティビティが続けられ、新しいアクティビティに取り組むことも少なくなり、段々と魅力のないクラブになっていっているのでは？ また厳しい社会環境の中で、会員減少を外部環境のせいにしてはいるのでは？ 結成以来のクラブの活動を振

り返ると先輩ライオンが残した沢山のアクティビティの痕跡、その取り組みの変化の中に求心力が存在し会員増が達成出来てきたのではないだろうか。危機感を持って変化を受け入れ、また地域社会に対して意義ある奉仕を続けていくには、若く優れた人たちの入会が必要だと思います。今年に変革の年にしなければ

という思いを抱いて会長職を引き受け、クラブの各委員長に若い会員を当て、ベテラン会員の指導・協力で活動に変化をつけ、失敗を恐れることなく参加したくなる例会や奉仕活動が出来ればと思っています。

筑後ライオンズクラブ HP
<http://www.wing8.com/chikugolc>



筑後 LC 旗争奪市内少年剣道大会



筑後養護学校卒業生の成人を祝う会



筑後 LC 杯少年サッカー大会

5R・4Z 大川ライオンズクラブ

会長 L 酒見 学▶

幹事 L 小井出章彦
会計 L 宮部 保男



会長提言 「広げよう、住みよい地域社会づくり」

大川ライオンズクラブでは、もうすぐ50周年の節目を迎えようとしています。この歴史あるクラブの会長として就任しましたことに責任の重さを感じて居ります。又、当クラブよりL.山本正廣が副地区ガバナーとして誕生することになり、今後皆様のご協力をお願いする次第です。

さて、私の提言は「広げよう、住みよい地域社会づくり」としました。

ライオンズ活動の原点に立ち戻り、まず大川市を住みよい市にしたい。小さな活動を一つ一つ積み上げて、一年間取り組んでいきたいと思えます。

基本方針としては、一つ目は「会員の増強とクラブの活性化」です。

会員の皆さんの例会参加を推進し、会員同士が顔を合わせることで親睦がはかられ、仲良くなる事がク

ラブを楽しくし活性化につながると思えます。

二つ目に「高齢者に愛の心を」です。

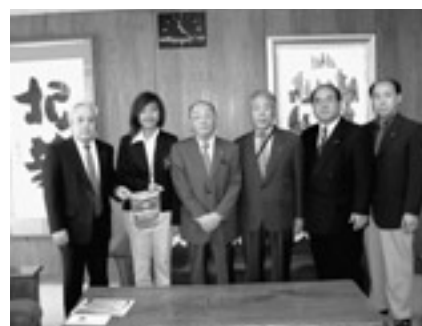
昨今は高齢者の一人暮らしが多くなり、遠くの親戚より近くの隣人と、ささいな事でもやさしい言葉をかけてやりたいものです。

三つ目は「青少年に夢と希望を」です。



昨今の青少年犯罪の多くは驚くべきものがあります。この根底は夢と希望の欠落にあると思えます。当クラブでは毎年YCE事業に積極的に取り組んでいます。

私自身はライオンズに関する知識不足を克服して、この一年間、ウィサーブの精神をもってがんばりたいと思えます。



5R・4Z 大川中央ライオンズクラブ

会長 L 鶴 一誠▶

幹事 L 相浦 俊博
会計 L 貞苺 汎



会長提言 「郷土に愛の奉仕」

会長方針

- 1 青少年育成事業の充実
- 2 クラブ内の改革
- 3 会員増強と退会防止

今期は会長提言として「郷土に愛の奉仕」を掲げました。

全会員がクラブの一員としての誇りを持ち、一丸となって、形だけでない真心のこもった愛の奉仕活動を行なっていきたいと考えております。その為には、会員相互の連帯、例会への積極的な参加を促し、出席率向上に努めてまいります。

又、来年3月7日の結成30周年に向け

全員の心を一つにして、立派な記念式典にしたいと思っております。

地域に密着したアクティビティとして長年献血活動を続けてきましたところ『第44回献血運動推進全国大会』におきまして厚生労働大臣感謝状を頂きました。

又、青少年健全育成事業として毎年親善スポーツ大会の後援として大会資金を援助しています。平成20年度も第11回大川中央ライオンズクラブカップサッカー大会を九州各県から中学生の選抜チームを招いて11月に大野島グラウンドにて開催します。

会員増強については今年度も新会員募集の為にプロジェクトチームを立ち上げる

ことにしました。

楽しい例会と出席の向上ということで卓話をお願いし会員の皆様の協力を仰ぎ200%出席例会を開き会員募集を計りたいと思えます。

退会防止については例会出席85%以上を目標にし欠席者には5役を中心に又スポンサーにもお願いをし欠席者に呼びかけて頂く事にしたいと思います。

与えられた1年間、5役の皆さんと協力し合い楽しいライオンズクラブを運営してまいりますのでよろしく願いいたします。



年に2回の献血活動（大川中央LC）



青少年健全育成募金活動（大川中央LC）



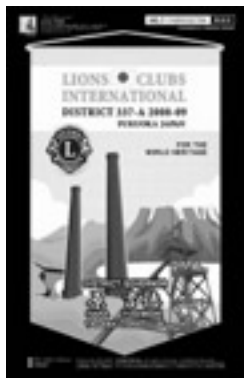
10回目を迎えた
青少年健全育成サッカー大会




We Serve

我々は奉仕する



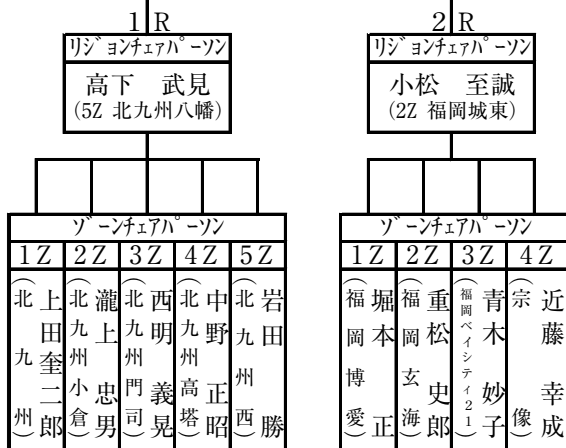


地区ガバナー 原 吉 徳

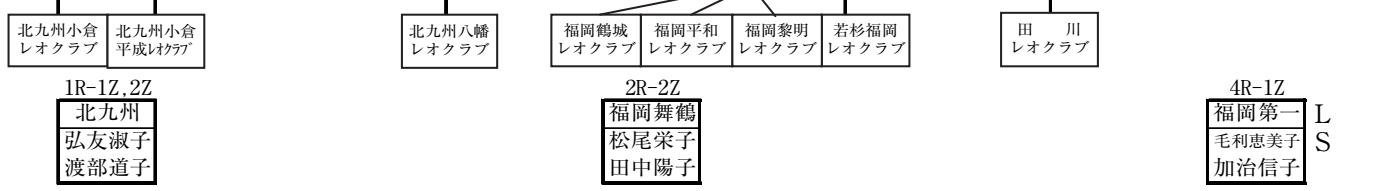
前地区ガバナー 瀧 榮 司 (2R・2Z 福岡717ティ)

地区名誉顧問会

仁田 (4R・1Z 福岡リパティ)	三原 (3R・2Z 福岡リパティ)	坂本 (4R・4Z 福岡三好市)	秦本 (2R・2Z 福岡三好市)	岡本 (1R・4Z 北九州高塔)	林本 (5R・2Z 北九州高塔)	箱田 (2R・4Z 福岡三好市)	増崎 (2R・1Z 福岡三好市)	和田 (1R・4Z 北九州戸畑)	和代 (3R・3Z 北九州戸畑)	澁田 (5R・2Z 北九州戸畑)	榎本 (1R・2Z 北九州小倉)	麻生 (4R・4Z 博多リパティ)	不老 (4R・4Z 北九州小倉)
-------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------

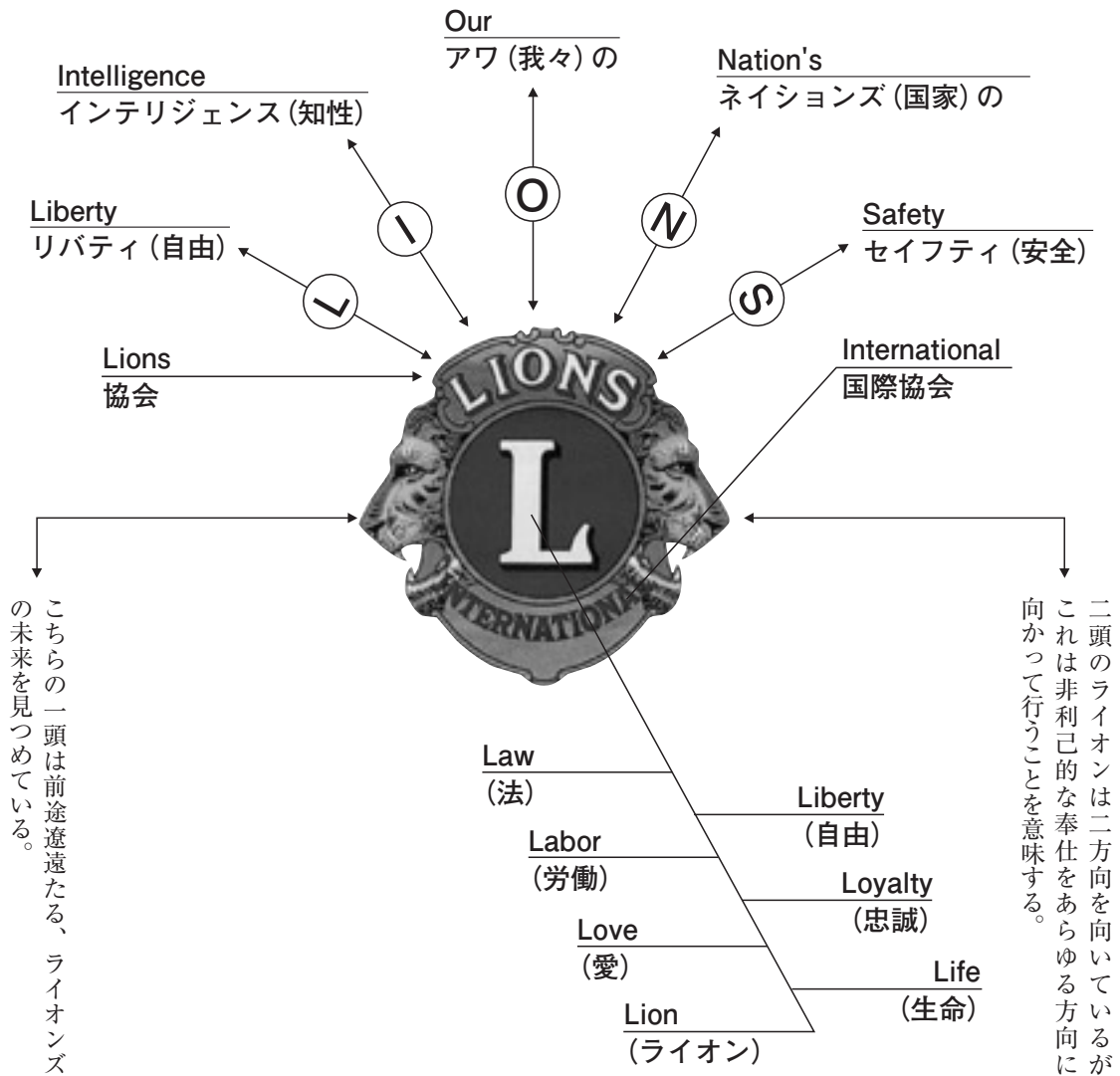


北九州 中野新嗣 濱田輝夫 北九州中央 笛田庸之助 服部武典 北九州紫水 由衛幸男 久留主猛 北九州小笠原 後藤創一 山口 猛	北九州小倉 松井四郎 受川清則 北九州勝山 千代丸茂貴 小川明博 北九州小倉東 小池知博 中村孝也 北九州シニア 三上忠人 山本久雄	北九州門司 遠藤隆二 安藤俊明 北九州東 磯邊雅三 榎木善博 北九州門司みなと 山田永治 森田将昭 北九州門司 末永光好 原田龍太郎	北九州戸畑 太田正孝 花田 宏 北崎 勉 北九州若松 三原 弘 吉田光慶 北九州高塔 古岡鉄次郎 御手洗誠 北九州黒崎 柴田賀江 和田信幸	北九州八幡 花田 宏 北崎 勉 北九州西 古川直樹 馬場秀晃 北九州帆柱 古岡鉄次郎 御手洗誠 北九州黒崎 柴田賀江 和田信幸	福岡西 関山豊光 森 修二 福岡北 原 勝 山下洋史 福岡大濠 岩田晃佳 小松 豊 福岡黒田 田中雅美 松本一範 福岡桜 伊藤敦子 児嶋美希子 福岡NOZ 三嶋清忠 福地周一 福岡博愛 廣田一孝 田中英治 福岡大樹 和田泰子 ボブ・楠本	福岡舞鶴 岩本啓太 島田光子 福岡城東 入江隆生 木下右二 福岡玄海 新木 猛 二場安之 福岡誠 亀岡正茂 石橋幸吉 福岡シニア 津田恵美子 永井光清 福岡花 高津英子 井出千鶴子 福岡黎明 林 勤 舛元光二 福岡フレンズ 立花嗣久 瀬角倫勝	福岡鶴城 八木誠治 川崎 幹 福岡東 吉田重信 脇坂秀市 福岡赤坂 鳥越朝夫 北原克司 福岡文化 黒田眞二 白田清二 福岡大名 岡野暢徳 有田泰志 福岡平和 実渕啓二 川谷克義 福岡黎明 穂坂博史 大村 修 福岡ベイツ21 赤司昭子 金堀博雄	若杉福岡 藤内アヤ子 壱 岐 高尾幸英 橋口壽典 花鶴福岡 百川和夫 山下知賀子 かすや南 尾ノ上順治 百田清二 宗 像 藤野多笑子 三谷弘子	直方 藤田政俊 中尾佳徳 中 間 花田匡英 福岡保弘 宮 若 荒牧慶一 藤井満伸 鞍 手 楠田一介 神森正茂	行橋 進 澄代 木戸和昭 田 川 岩本秀和 中寺鴻三 豊 前 恒成政生 谷崎 勝 川崎福岡 村上良一 丸山和壽	山田 宮原由光 大塚秀樹 飯 塚 坂口裕幸 林田博貴 稲 築 永水恭典 桜井雅子 嘉 穂 江藤政勝 粉井修二	福岡 竹田奉正 関戸秀子 福岡第一 藤川正幸 難波光太郎 福岡リパティ 土路生信行 松原 勉 福岡くしだ 永井克憲 古川 隆	福岡中央 曾根田馨 大西宏治 福岡南 伊藤興次 小西栄一郎 福岡ふよう 山崎隆治 長坂慎一 福岡天神 納戸敬子 香月征男
--	---	---	---	--	---	--	--	--	---	--	---	---	---



ライオンズ・マークについて マークの意味

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety



ライオンズ道徳綱領

- ☆職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。
- ☆事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- ☆事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- ☆世人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- ☆真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- ☆国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。
- ☆不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。
- ☆批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

地区 PR・IT・ザラタ編集委員会



編集委員長

矢野 誠
(嘉穂 LC)

3 R委員

白木 弘美
(直方 LC)

5 R委員

衛藤 嘉幸
(大牟田 LC)

4 R委員

大無田一郎
(福岡天神 LC)

2 R委員

徳永修一郎
(福岡大名 LC)

1 R委員

青柳 正生
(北九州勝山足立 LC)

Lions Clubs International District 337-A JAPAN

THE LIONS TIMES

2008 Vol.167

ザラタ

編集後記

戦後、日本経済の復興を支えてきた石炭産業の最も中心地であった、五木寛之の小説『青春の門』でも全国的に有名な田川地区からガバナーL原 吉徳が誕生しました。

現在、日本は全世界に多大な影響力を持つほどの経済大国となりました。これも石炭産業の支えがあったればこそ現在の豊かな日本があります。

その炭坑のシンボルともいえる煙突、竪坑槽をガバナーL原 吉徳が今期キャビネットのシンボルマークとし全国にそして世界に発信されました。

私も、戦後の食料もままならない混乱の時代に、この筑豊に育ちました。炭坑の最も盛んな時期には何処にでもあった煙突、竪坑、ほた山等、今ではその姿が見られなくなり、産炭地の面影がほとんど無くなりました。

私このシンボルマークを拝見した時、懐かしく感じこの貴重な文化財でもある煙突、竪坑槽を表紙にと思い掲載させていただきました。

内容につきましては、国際会長の紹介、ガバナーL原の紹介、各クラブの紹介など例年通りの内容となりました。

今期2回の発行となりますが、次回の発行には、委員会のメンバー5名の方々とザラタ担当キャビネット副幹事と知恵を絞り、さらなる内容の濃いものを編集したいと思っています。

各クラブには、原稿依頼にご協力いただき有難うございました。

ザラタ編集に関しましてご意見、ご要望がありましたらお聞かせ下さい。

地区 PR・IT・ザラタ委員長 L. 矢野 誠



ライオンズクラブ国際協会 337-A地区
キャビネット事務局

〒820-0004

飯塚市新立岩12-37

のがみプレジデントホテル2F

TEL 0948-52-3580 FAX 0948-52-3590

アドレス: cab337a2008@tempo.ocn.ne.jp